大学番号:国**034**

[平成29年度設置]

計画の区分:学部の学科の設置

注1



新潟大学 理学部 理学科 注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人新潟大学 平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名総務部企画課

ガクシ ショウガイカカリチョウ スズキ マサユキ **戦名・氏名 学事・渉外係長 ・鈴木 誠之**

電話番号 025-262-6026

(夜間) 025-262-6026

F A X 025-262-6248

e — mail planning@adm.niigata-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

• 短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理学部

<理	学科> ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3.	施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・ 48
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 53
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・100
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・101

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 新潟大学

- (2) 大 学 名 新潟大学
- (3) 大学の位置

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を() 書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。
- (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
学長	(タカハシ スガタ) 髙 橋 姿 (平成26年2月)		
学 部 長	(マエノ ミツグ) 前 野 貢 (平成29年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - · なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
	理学	4年	200人	3年次	820人	
理学部				10人		
理学科						
学士 (理学)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成2	9 年度	平成 3	O年度	平成 3	1 年度	平成3	2 年度	平均入学定員	備	考
区分		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	VHI	77
		200人 20	0 -人	人	人	7	Y	7	人			
Α	入学定員	(- [-)	([) 1	() 1	([) 1			
	- K5 -1/ *L	557	(-)	/)	, ,	()	, ,	, ,	, ,			
市	志願者数	[1]	[-]	[]	[]	[]	[]		[]			
33	Σ F → * +	396	(-)	()	, ,	,	,	,	, ,			
Z	受験者数	[1]	[-]	[]						1.08倍		
	1 to -tv ML	227	(-)	,	, ,	, ,	, ,	, ,	, ,			
Ê	合格者数	[0]	[-]	()	[]	() []	() []	() []	[]			
		216	(-)									
В	入学者数	[0]	(-) [-]	()	()	()	() []	() []	()			
	定員超過率 B/A	1. (1 1		1		1			

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については,<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員,入学者数で算出</u>して ください。なお,計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て,小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	9 年度	平成	3 (0年度	平	成3	1年	度	平月	或 3	2年	度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入	学	その他の学期	春季	入学	その他	の学期	春季.	入学	その他	の学期	1/用	75
		215	(-)													
	1 年次	(-)		[]	[]	[]	[]	[]	[]		
		[0]	[-]	()	()	()	()						
	0.47.4			-			_	,	-	,	-	,	-	,		
	2年次			[)	()	[)	[)	[)	L ()		
				(,			,	(,	(,	(,		
	3 年次				/		[]	[]	[]	[]		
							()	()	()	()		
	4 年次				/						[]	[]		
							/				()	()		
		2	15	_		_	_			,	_			_		
	計	[·	-]	L		,]]	L]		
		(-)	()	()	()		

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数

 を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退当	学者数(内訳))	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度	71,122(2)	2,120	退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	7.0% 1.4H	の割合 (a/b)
			平成29年度	1 人	0 人	除籍(死亡)1人	
平成29年度	216 人	1 人	平成30年度	人	人		0.46 %
入学者	210 人	1 \	平成31年度	人	人		0.40 %
			平成32年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		%
			平成32年度	人	人		
平成31年度	人	0 人	平成31年度	人	人		%
入学者	^	٥٨	平成32年度	人	人		70
平成32年度 入学者	Д	0 人	平成32年度	人	Д		%
合 計	216 人	1人					0.46 %

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要は</u>ありません。)
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

<理学部理学科 数学プログラム>

	€4 D		#7 V	į	単位数	ţ	Ę	享任 教	員等	の配記	置	
	科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助 教	助手	備考
教養教	女育に関 受業科目	別紙のとおり					,,,	18				İ
専			1(1)	2			2	3		1		
門		解析学基礎 1	1.2(1)		1		1	3		<u>'</u>		
教	然	解析学基礎 2	1.2②		1		1					
育に	玄	数学基礎 A1	1.2(1)(3)		1		1	3				
関	共通	数学基礎 A2	1.2(2)(4)		1		1	3				
す		数学基礎 B1	1.213		1		2	1				
る 授	門	数学基礎 B2	1.224		1		2	1				
技業	基 礎	統計学基礎 1	1.213		1		1	1				
科	((科	統計学基礎 2	1.224		1		1	1				
目		物理学入門	1-2(1)		2							兼 1 カリキュラムの見直しにより、科目
		物理学基礎 AI	1(1)		2		1					** * を廃止 (29)
		物理学基礎 AII	1③		2		'	1				
		物理学基礎 BI	1.22		2		3	2				兼 2
		物理学基礎 BII	1.24		2		1	2				兼 1
		物理学基礎 C1	1①		1		-	1				
		物理学基礎 C2	12		1			1				
		物理学基礎 C3	13		1			1				
		物理学基礎 C4	14		1			1				
		物理学基礎 D	1.24		2			1				
		化学基礎 A	1.2123		2		1					兼 2 :
		化学基礎 B	1.21234		2		4					
		化学基礎 C	1.224		2		1	1				
							2					
		生物学基礎 A	1.2123		2		4	3				教育上の効果を高めるため、教員を 追加(29)
		生物学基礎 B	$1 \cdot 21 234$		2		3	2				
		地学基礎 A	1.212		2		1		1			
		地学基礎 B	1.23		2		1	1				
		地学基礎 C	1 · 2 ④		2		_	1				兼 1
	理学	総合カアクティブ・ラーニング	12		2		2	3		1		
	学部	専門カアクティブ・ラーニング	12		2		3	3				
	共	基礎英語コミュニケーション	1①		1		1					
	~	実践英語コミュニケーション	13		1		1					* 14
	1	海外研修 海外研修	1·2·3② 1·2·3②		2		1					兼 14 兼 14
	シ	海外英語研修	1 · 2 · 3 ②		4		1					兼 14
	,	安全教育	12		1		1					兼 6
	·	カログラック 物理学基礎実習 a	13		1		•	2				
		物理学基礎実習 b	14		1			2				
		化学基礎実習 a	134		1			2				兼 1
		化学基礎実習 b	134		1			2				兼 1
		生物学基礎実習 a	13		1		2	1				
I		生物学基礎実習 b	1④		1		1	1		1		
I		地学基礎実習 a	1112		1				1			
		地学基礎実習 b	123		1				1			
		数学基礎演習 a	1①		1		1	1				
I		数学基礎演習 b	12		1		1	1				l., _ i
		科学・技術と社会	2①		2		1					兼 5
		科学史	234		2		,					兼 1
		新素材の物性	234		2		1					兼 1
		グリーンケミストリー概説	2①		1		1					兼 6

専	科 ^	、理	インターンシップ特別実習a			I						l	Ī	
門	ΗΙ	学い部	インターンシップ特別演習	1.2.3②		1		1					兼 7	科目名の変更(29)
教	,	サ共	インターンシップ特別実習b										-	
育に	5	7 通	インターンシップ特別演習	1.2.3②		2		1					兼 7	科目名の変更(29)
	理	主	微分積分学IA	13	1	ΙĪ		1					×110 /	
す	学	専	線形代数IA	13	1			1						
る授業		攻	数学演習A	13	1			1	1					
授	共通	科	集合と写像	13	'	1		1	'					
来 お	进コ	Н	微分積分学IB	14	1	l '		1						
	ア		線形代数IB	1(4)										
	科		線形代数ID 数学演習B		1			1	1					
	目			14	1	۰		1	1					
			オペレーションズ・リサーチ	14	_	2		1						
			微分積分学IIA	2①	2				1					
			線形代数IIA	2①	2				1					
			計算機演習A	2①	_	1			1					
			微分積分学IIB	2②	2				1					
			線形代数IIB	2②	2				1					
			計算機演習B	22		1			1					
			解析力学	2①		2			1					
		主専	基礎物理数学	1③		2			1					
		攻	基礎ベクトル解析	14		2			1					
		科	分析化学I	13		2			1					
			無機化学Ⅰ	14		2		1						
			有機化学Ⅰ	14		2		1						
			化学熱力学	1③		2		1						
			生体分子化学Ⅰ	2①		2		1						
			基礎細胞遺伝学	1③		2		1						
			基礎細胞生物学	14		2			2					
			基礎植物学	2①		2		1						
			生命科学のための基礎化学	2①		2		1						
			基礎生物化学	2③		2		1						
			地質学入門a	13		1		•	1					
			地質学入門b	14		1			1					
			フィールド体験実習	1.22~3		1		5	4	1				
			構造地質学入門	14		1		J	1	1				
			地層・古生物学入門	2①		2			1	'				
				_				1	'					
			鉱物・岩石学入門	2②		2		1					* 0	
			環境地質学入門	2②		l '							兼 2	
			地学英語	234		1		1						
			物質反応化学	2②		2			1					
			物質科学C	2①		2			1					
			環境気象学	2①		2			1					
			基礎量子力学	2②		2		1						
			機能形態学A	2②		2			1					
			多様性生物学A	2①		2			1		1			
L			多様性生物学B	22		2		1						
	訓	数	解析学序論A	2③	1			1						
	主専攻専	学プ	代数・幾何学序論A	2③	1				1					
	専		集合と位相人門A	2③	1			1						
	門	グ	微分方程式論A	2③		1			1					
	科目	ラ	代数入門A	2③		2		1						
	目	스	プログラミング概論A	2③		1		1						
		科目	解析学序論B	24	1			1						
			代数・幾何学序論B	2④	1				1					
			集合と位相入門B	2④	1			1						
			微分方程式論B	24		1			1					
			代数入門B	24		2		1						
			プログラミング概論B	24		1		1						
			実解析学A	3 • 4①		2		1						
			位相空間論A	3 • 4①		1		1						
			複素解析学IA	3 • 4①		1		1						
			代数系IA	3 • 4①		i		1						
			幾何学IA	3 • 4①		2		1						
			最適化数学A	3 · 4①		1		1						
I	ı		^{숙도 (현)} (사) (사)	J 71		ı '	ı İ	ı '				ı		∄

専	主	数	数理統計学IA	3 • 4①	Ī	1 1	l 1	l	I I	1	Ī	:		j
門	専	学	数值解析A	3 • 4①		1	'	1						
教	攻	プ	プログラミング演習A	3 • 4①		1		1						
育に	専門	ロ ガ	実解析学B	3 • 42		2	1							
	科	ラ	位相空間論B	3 • 42		1	1							
ず	目	Ĺ	複素解析学IB	3 • 42		1	1							
る		科	代数系IB	3 • 4(2)		1	1							
授		目	幾何学IB	3 • 42		2	1							
関する授業科			最適化数学B	3 • 42		1	1							
1 1			数理統計学IB	3 • 4(2)		1	1							
			数值解析B	3 • 42		1	'	1						
			プログラミング演習B	3 • 42		1		1						
			複素解析学IIA	3 • 43		1	1							
			関数解析学A	3 • 4(3)		1	1							
			代数系IIA	3 • 43		1	'	1						
			幾何学IIA	3 • 4(3)		1	1							
			離散数学A	3 • 43		1	·	1						
			トポロジーA	3 • 43		1		1						
			凸解析学A	3 • 43		1	1							
			数理統計学IIA	3 • 4(3)		1	1							
			確率論A	3 • 43		1	•	1						
			計算数理A	3 • 4(3)		1		1						
			複素解析学IIB	3 • 4(4)		1	1							
			関数解析学B	3 • 4(4)		1	1							
			代数系IIB	3 • 44		1		1						
			幾何学IIB	3 • 4(4)		1	1							
			離散数学B	3 • 44		1		1						
			トポロジーB	3 • 44		1		1						
			凸解析学B	3 • 44		1	1							
			数理統計学IIB	3 • 44		1	1							
			確率論B	3 • 44		1		1				•		
			計算数理B	3 • 44		1		1				•		
			オペレーションズ・リサーチ実習	3 • 44		1	1					•		
			保険数学	3 • 4②		2		1						
			データ解析法	3 • 42		2		1						
			数理解析特別講義	3 • 42		2					兼 1			
			構造数理特別講義	3 • 42		2					兼 1			
			応用数理特別講義	3 • 42		2					兼 1			
			数学講究	41~4	8		8	5						

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合 には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	į	设 置	置 時	寺 σ .	計	画			変	更		状	況	備	考
必	修	選	択	自	由	計	(A)	必	修	選	尺自	自由	計	VĦ	73
	科目		科目		科目		科目		科目	科	B	科目	科目		
	18		132				150		18	13	1		149		
								[]	[Δ][]	[∆1]		

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

番号	授業科目名	単位数	性 配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
	該当なし					

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	物理学入門		2	1.2①	専門	選択	教職課程の一般的包括的科目として 「物理学基礎D」が認定されたため廃止

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目の「物理学入門」は、代替として「物理学基礎D」が教職課程の一般的包括的科目として認 定されており、履修上の影響はない。 なお、学生に対しては、ガイダンス・シラバス等において周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計 設置時の計画の授業科目数の計 (A) = 150 = 0.66 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

<理学部理学科 物理学プログラム>

	1 10		tr	į	単位数	<u></u>	Ę	卓任教	負等	の配制	置	
	科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必修	選 択	自由	教 授	准 教 授	講師	助 教	助手	備考
教養教 る授業	対育に関す ^{美科目}	別紙のとおり										
専	大学学習法	理学スタディ・スキルズ	1①	2			2	3		1		
門教	自	解析学基礎 1	1.2①		1		1					
育	然 系	解析学基礎 2	1.22		1		1					
10	共	数学基礎 A1	1.213		1		1	3				
関す	通	数学基礎 A2	1.224		1		1	3				
る	専 門	数学基礎 B1	1.213		1		2	1				
授	基	数学基礎 B2	1.224		1		2	1				
業科	礎	統計学基礎 1	1.2①③		1		1	1				
目	科目	統計学基礎 2	1.224		1		1	1				**** = / ** ** *
	-	物理学入門	1-21		2							兼 1 カリキュラムの見直しにより、科目 を廃止 (29)
		物理学基礎 AI	1①		2		1					
		物理学基礎 AII	13		2			1				
		物理学基礎 BI	1.2②		2		3	2				兼 2
		物理学基礎 BII	1 · 2 ④		2		1	2				兼 1
		物理学基礎 C1	1①		1			1				
		物理学基礎 C2	12		1			1				
		物理学基礎 C3	13		1			1				
		物理学基礎 C4	14		1			1				
		物理学基礎 D	1.24		2			1				l
		化学基礎 A	1.2123		2		1					兼 2
		化学基礎 B	1.21234		2		4					
		化学基礎 C	1.224		2		1 2	1				
		生物学基礎 A	1.2123		2		1	3				教育上の効果を高めるため、教員を 追加(29)
		生物学基礎 B	1.21234		2		3	2	,			
		地学基礎 A	1.2①②		2		1	1	1			
		地学基礎 B 地学基礎 C	1·2③ 1·2④		2		1	1				
	理	^{地子埜啶 6} 総合カアクティブ・ラーニング	1(2)		2		2	3		1		兼 1 :
	学	専門カアクティブ・ラーニング	12		2		3	3		'		
	· 部 共	基礎英語コミュニケーション	1①		1		1	ľ				
	通	実践英語コミュニケーション	13		1		1					
	べ、	海外研修	1.2.3②		1		1					兼 14
		海外研修	1.2.32		2		1					兼 14
	ッ	海外英語研修	1.2.3②		4		1					兼 14
	ク	安全教育	12		1		1					兼 6 :
	科目	物理学基礎実習 a	13		1			2				
		物理学基礎実習 b	14		1			2				
		化学基礎実習 a	134		1			2				兼 1
		化学基礎実習 b	134		1			2				兼 1
		生物学基礎実習 a	13		1		2	1				
		生物学基礎実習 b	14		1		1	1		1		
		地学基礎実習 a	1①②		1				1			
		地学基礎実習 b	123					4	1			
		数学基礎演習 a	1① 1②		1		1	1				
		数学基礎演習 b 科学・技術と社会	2①		2		1	'				
		科字・技術と社会 科学史	234		2		'					兼 5
		^{科子史} 新素材の物性	234		2		1					兼 1
		新系材の物性 グリーンケミストリー概説	2①		1		1					兼 6 :
		インターンシップ特別実習a	2.0		'							AN V
		インターンシップ特別演習	1.2.3②		1		1					兼7 科目名の変更(29)
		インターンシップ特別実習b インターンシップ特別演習	1.2.32		2		1					兼 7 <mark>科目名の変更(29</mark>)

投票料目の名称 作文 使 収 で で で で で で で で で		利日			#1 W		単位数	t	Ę	 手任教	員等	の配詞	置	
### 200		科目 区分		授業科目の名称	配 当年 次					教				一 備 考
	専	理	王寅	解析力学	2①		2							
日本の大学が表現の	判数	学部	攻	基礎物理数学	13		2			1				
世	育	共	目		14					1				
### 130		. —	他	微分積分学IA	13		1		1					
3 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	日日		亩				1		1					
日日	á	科	攻				1			1				
日日	授	目												
日 日	│ 耒 科		Н		_		1 .							
# ハレーションズ・リサーチ 19 20 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目				_		1							
競り振り学11A														
解析代数IIA 2① 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									'	1				
計画機関係														
# から														
# 粉代説旧					_		1			1 .				
計算機構図B										1				
対称化字1 1/3 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					_									
精徳化学 1(金) 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
									1					
生体分子化学 2① 2 1 2 1 2 2 4 1 2 2 4 1 2 2 4 1 4 2 2 4 1 4 1				有機化学Ⅰ	14		2		1					
基礎制能造伝字 13 2 1 2 2 1 2 2 4 4 2 2 4 4 1 4 4 1 4 4 1 4 4 1 4 4 1 4 4 4 1 4 4 4 1 4				化学熱力学	1③		2		1					
基礎構能生物学				生体分子化学Ⅰ	2①		2		1					
基礎植物字 2① 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				基礎細胞遺伝学	1③		2		1					
生命科学のための基礎化学 2① 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				基礎細胞生物学	14		2			2				
基礎生物化学				基礎植物学	2①		2		1					
地質学入門 3				生命科学のための基礎化学	2①									
持貫学入門 1(金)				基礎生物化学	_				1					
日本					_		1							
構造地質学入門 1億 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									_					
地層・古生物学入門 2① 2 1 1							1		5	4				
本語の					_					1				
環境地質学入門 22 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									1	'				
地学英語					_				'					
物質反応化学							1		1					* 2
物質科学C 環境気象学 2① 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									'	1				
環境気象学 2① 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
基礎量子力学														
事様性生物学A 2① 2 1 1 1 主 物理学									1					
大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型				機能形態学A	2②		2			1				
主 物理 課題研究A 4① 2 8 8 8 6 9 5 1 2 3 8 8 6 9 5 1 2 3 8 8 8 6 9 5 1 2 3 8 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 2 3 8 8 9 6 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				多様性生物学A	2①		2			1		1		
専文内 理学学専ププー 門門科目 4① 2 8 8 6 課題研究B 4② 2 8 8 6 課題研究C 4③ 2 8 8 6 課題研究D 4④ 2 8 8 6 課題研究D 4④ 2 8 8 6 課題研究D 4④ 2 8 8 6 建磁物理学演習A 1③ 1 1 1 電磁気学IA 2① 1 1 1 1 電磁気学IB 2② 1 1 1 1 電磁気学IIB 2② 1 1 1 物理学演習A 2① 1 1 1 物理学演習B 2② 1 1 1 物理学演習B 2② 1 1 1 物理学演習D 2④ 1 1 1 量子力学序論A 2③ 1 1 1 量子力学序論A 2④ 1 1 1 量子力学序論A 2④ 1 1 1 量子力学序論B 2④ 1 1 1				多様性生物学B	2②		2		1					
専門 プラスクラム 課題研究C 4② 2 2 8 8 6 1 担当教員死亡及び退職のため (29) 課題研究D 4④ 2 8 8 6 1		専	物理	課題研究A	4①	2				8				担当数員死亡及び退職のため (29)
日	1		学っ		_	l -								(27)
目 ラ ム		門		課題研究B	42	2			8	8		6		担当教員死亡及び退職のため (29)
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本														
日 課題研究D 4④ 2 8 8 1 1 1 1 1 1 1 1		П	ム	課題研究C	43	2				8				担当教員死亡及び退職のため (29)
基礎物理学演習B 13 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					400	0				0				
基礎物理学演習B	1				_	۷.	1		0	٥				担ヨ叙貝外匸及ひ退職のため(29)
電磁気学IA 2① 1 1 1 1 1 担当教員死亡のため (29) 担当教員死亡のため (29) 担当教員死亡のため (29) を収め、	1													
電磁気学IB	1						1		1	1		ļ .		担当教員死亡のため(29)
電磁気学IIA 23 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1				_					1				1 :
電磁気学IIB 2④ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1			=	_									
物理学演習A 2① 1 物理学演習B 2② 1 物理学演習C 2③ 1 物理学演習D 2④ 1 量子力学序論A 2③ 1 量子力学序論B 2④ 1	1						1							
物理学演習C 2③ 1 1 物理学演習D 2④ 1 1 量子力学序論A 2③ 1 1 量子力学序論B 2④ 1 1	1						1					1		
物理学演習D 2④ 1 1 量子力学序論A 2③ 1 1 量子力学序論B 2④ 1 1	1			物理学演習B	2②		1			1				
量子力学序論A 2③ 1 1 量子力学序論B 2④ 1 1	1			物理学演習C	2③		1			1				
量子力学序論B 2④ 1 1 1	1			物理学演習D	2④		1			1				
	1			量子力学序論A	2③		1		1					
振動論と微分方程式 2① 2 1 1	1			量子力学序論B					1					
	1			振動論と微分方程式	2①		2			1				1

	#I D			配当	j	単位数	<u></u>	卓	∮任 教	員等	の配記	置	
	科目 区分		授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	備考
専	主	物	複素解析	2②	שו	2	I	1	按	Hills	7/	,	:
門	専	理	波動とフーリエ解析	2③		2		1					
教育	攻専	学プ	熱力学A	2③		1		1					
に	門門		熱力学B	24		1		1					
関	科	グ	量子力学IA	3①		2		1			4		担当教員退職のため (29)
すっ	目	ラ	量子力学IB	3②		2		1			4		担当教員退職のため (29)
る 授		ム科	量子力学IIA	3③		2			1				
業		目	量子力学IIB	34		2			1				
科			統計力学IA	3①		2			1				
目			統計力学IB	3②		2			1				
			統計力学IIA	3③		2		1					
			統計力学IIB	34		2		1					
			物理学実験A	3①		2		1	1				
			物理学実験B	3②		2		1	1				
			物理学実験C	3③		2		1	1				
			物理学実験D	34		2		1	1				
			計算物理学A	3③		2		1			4		担当教員退職のため (29)
			計算物理学B	34		2		1			4		担当教員退職のため (29)
			電気力学A	3①		1			1				
			電気力学B	3②		1			1				
			エレクトロニクスA	3③		1		1					
			エレクトロニクスB	3④		1		1					
			特殊相対論A	3①		1			1				
			特殊相対論B	3②		1			1				
								7			5		
			現代物理学セミナーA	3③		2		8	8		6		担当教員死亡及び退職のため(29)
								7			5		
			現代物理学セミナーB	3④		2		8	8		6		担当教員死亡及び退職のため(29)
			量子力学IIIA	4①		1		1					
			量子力学IIIB	42		1		1					
			統計力学IIIA	4①		1		1					
			統計力学IIIB	42		1		1					
			原子核物理学	4①		2		1					
			物性物理学	42		2		1					
			一般相対論A	4①		1					1		
			一般相対論B	42		1					1		
			素粒子物理学	43		2		1					
			宇宙物理学	43		2		1					
			物理学特論Ⅰ	4①		1							兼 1
			物理学特論Ⅱ	42		1							兼 1
			物理学特論Ⅲ	43		1							兼 1
			物理学特論IV	4④		1							兼 1
			物理学特論V	42		1							兼 1
			物理学特論VI	44		1							兼 1

- (注) •
- 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているもの赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、
 - 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合
 - には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。) 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	į	设 置	置 時	ξ σ.	計	画			変	更	Ī	状	t	況	1	備	考	
必	修	選	択	自	由	計	(A)	必	修	選	択	自	由	計		IHI .	75	
	科目		科目		科目		科目		科目	科	斗目	1	科目	科目				
	5		147				152		5	1	46			151				
								[]	[Δ	.1]]]	[△1]				

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

番号	授業科目名	単位数	性 配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
	該当なし					

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	物理学入門		2	1.2①	専門	選択	教職課程の一般的包括的科目として 「物理学基礎D」が認定されたため廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目の「物理学入門」は、代替として「物理学基礎D」が教職課程の一般的包括的科目として認 定されており、履修上の影響はない。 なお、学生に対しては、ガイダンス・シラバス等において周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計 設置時の計画の授業科目数の計 (A) = 152 = 0.65 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

<理学部理学科 化学プログラム>

古書の		科目		ᇑᄀᅶ	į	単位数	ţ	Ę	∮任 教	(員等	の配	置			
要素的に調す 別紙のとおり 1			授業科目の名称	配 当年 次					教				1	備	考
四次	****	からいます			18	1)(н	按	授	Pili	叙	ナ			
門			別紙のとおり												
数		大学学習法	理学スタディ・スキルズ	1①	2			2	3		1				
育 (自	解析学基礎 1	_											
1	育	系		_		1 .									
する日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	に思	共				1 .									
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	す	通													
科目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	る	門				1 :									
科 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	授業	基													
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	科	段科	統計学基礎 2	1.224		1		1	1						
物理学基礎 AI 1 13 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	目		物理学入門	1.21		2							兼 1		直しにより、科目
物理学基礎 81			物理学基礎 AI	1①		2		1						を廃止(29)	
制理学基礎 8 II			物理学基礎 AII	13		2			1						
物理学基礎 C1			物理学基礎 BI	1.22		2		3	2				兼 2		
制理学基礎 C2			物理学基礎 BII	1 · 2 ④		2		1	2				兼 1		<u> </u>
制理学基礎 C3				_		1 .									
制理学基礎 C 4				_		1 .									
物理学基礎 D			= 1 =	_		1			1 :						
中学基礎 A 1-2①②3 2 2 4 4 4 7 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				_											
化学基礎 B				_	2			1	l '				華 2		
性学基礎 A 1-2①②③ 2 1 1 1 1 2 1 3													ж Z		
生物学基礎 A 1・2①2③ 23 2 1 1 1 1					_	2			1						
生物学基礎 A 1・2①②3位 2 1 1 1 1								2							
生物学基礎 B 地学基礎 B は2①②③④ 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			生物学基礎 A	1.2123		2		4	3						めるため、教員を
地学基礎 B			生物学基礎 B	1.21234		2		3	2					1旦70 (29)	
世			地学基礎 A	1.212		2		1		1					
理 総合カアクティブ・ラーニング 1② 2 3 3 1			地学基礎 B	1.23		2		1	1						
中門カアクティブ・ラーニング 1② 2 3 3 3 4				1 · 2 ④					-				兼 1		
Aph		理		_							1				
Aph		部							3						
Aph		共		_		1 .									
1						1		1					兼 14		
シック						1		1							
ク科目 12 1 1 1 2 兼 6 物理学基礎実習 a 13 1 2 2 兼 1 化学基礎実習 a 13 1 2 2 兼 1 化学基礎実習 b 13 1 2 1 兼 1 生物学基礎実習 a 10 1 1 1 1 地学基礎実習 b 12 1 1 1 1 数学基礎演習 b 10 1 1 1 1 数学基礎演習 b 12 1 1 1 1 科学史 23 2 1 兼 5 科学史 23 2 1 兼 5 科学史 23 2 1 兼 1 インターンシップ特別実習a インターンシップ特別実習a 1・2・32 1 1 1 1 1 インターンシップ特別実習b 1・2・32 1		シ		1.2.3②		4		1							
日 物理学基礎実習 b		-	安全教育	12		1		1					兼 6		
化学基礎実習 a 13(4) 1 2 1 兼 1 化学基礎実習 b 13(4) 1 2 1				13											
化学基礎実習 b		B		_									l., .		
生物学基礎実習 a 1③ 1 2 1 1 生物学基礎実習 b 1①② 1 1 1 1 地学基礎実習 b 1②③ 1 1 1 数学基礎演習 a 1① 1 1 1 1 数学基礎演習 b 1② 1 1 1 1 科学·技術と社会 2① 2 1 兼 5 科学史 2③④ 2 兼 1 新素材の物性 2③④ 2 1 兼 1 インターンシップ特別実習a 1・2・3② 1 1 兼 7 科目名の変更(29) インターンシップ特別実習b 1・2・3② 1 1 1 ★ 7 科目名の変更(29)															
生物学基礎実習 b 1④ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								2					朮Ⅱ		
地学基礎実習 a 1①② 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				_							1				
地学基礎実習 b 1(2)③ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				_				'	'	1	'				
数学基礎演習 b 1② 1 1 1 1						1									
科学・技術と社会 2① 2 1 兼 5 科学史 2③④ 2 1 新素材の物性 2③④ 2 1 グリーンケミストリー概説 2① 1 兼 6 インターンシップ特別実習a 1・2・3② 1 1 兼 7 科目名の変更 (29) インターンシップ特別実習b 1・2・3② 1 1 兼 7 科目名の変更 (29)			数学基礎演習 a	1①		1		1	1						
科学史 23④ 新素材の物性 23④ グリーンケミストリー概説 21 インターンシップ特別実習る 1・2・3② インターンシップ特別実習b 1 1 1 ボクーンシップ特別実習b 1・2・3② 1 1 ボクーンシップ特別実習b 1・2・3②			数学基礎演習 b	12		1		1	1						
新素材の物性 2③④ 2 1 兼 1 兼 1 グリーンケミストリー概説 2① 1 1 兼 6 インターンシップ特別実習a インターンシップ特別演習 1·2·3② 1 1 第 7 科目名の変更(29)				_				1							
グリーンケミストリー概説 2① 1 1 兼 6 インターンシップ特別演習 インターンシップ特別実習b 1・2・3② 1 1 兼 7 科目名の変更 (29)															
インターンシップ特別実習a 1·2·3② 1 1 兼 7 科目名の変更 (29) インターンシップ特別実習b 1 1 第 7 科目名の変更 (29)															
インターンシップ特別演習 1・2・3② 1 1 兼 7 科目名の変更 (29) インターンシップ特別実習b 1 1 1 株 7 科目名の変更 (29)				ZU		'							# 0		
インターンシップ特別実習b				1.2.3②		1		1					兼 7	科日名の変面(29)
				0,_				'					/ / /	市口口の久文(
1 ンターンシップ特別演習 1·2· 3② 2 1 1 兼 7 : <mark>科目名の変更(29</mark>)	I		インターンシップ特別演習	1.2.3②		2		1					兼 7	科目名の変更(29)

- I	TED	-	I	1.0					-					:
専 門	理学部	主専	分析化学[13		2		_	1					
教	部	攻	無機化学Ⅰ	14		2		1						
育	共	私	有機化学Ⅰ	14		2		1						
に	通	目	化学熱力学	13		2		1						
関	П		生体分子化学I	2①		2		1						
する	ア科		微分積分学IA	13		1		1						
る授業科	目	主専	線形代数IA	13		1		1						
業		攻	数学演習A	13		1		1	1					
		科	集合と写像	13		1		1						
目		目	微分積分学IB	14		1		1						
			線形代数IB	14		1		1						
			数学演習B	14		1		1	1					
			オペレーションズ・リサーチ	14		2		1						
			微分積分学IIA	2①		2			1					
			線形代数IIA	2①		2			1					
			計算機演習A	2①		1			1					
			微分積分学IIB	22		2			1					
			線形代数IIB	2②		2			1					
			計算機演習B	2②		1			1					
			解析力学 解析力学	2①		2			1					
			基礎物理数学	13		2			1					
			基礎ベクトル解析	1④		2			1					
			基礎細胞遺伝学	13		2		1						
			基礎細胞生物学	14		2			2					
			基礎植物学	2①		2		1						
			生命科学のための基礎化学	2①		2		1						
			基礎生物化学	2③		2		1						
			地質学入門a	13		1			1					
			地質学入門b	14		1			1					
			フィールド体験実習	1.22~3		1		5	4	1				
			構造地質学入門	14		1				1				
			地層・古生物学入門	2①		2			1					
			鉱物・岩石学入門	2②		2		1						
			環境地質学入門	2②		1							兼 2	
			地学英語	2(3)(4)		1		1					7 114 =	
			物質反応化学	2②		2			1					
			物質科学C	2①		2			1					
			環境気象学	2(1)		2			1					
			基礎量子力学	2②		2		1						
			機能形態学A	2(2)		2		·	1					
			多様性生物学A	2①		2			1		1			
			多様性生物学B	2②		2		1						
	主	化	無機化学Ⅱ	2②		2			1					
	専攻	学プ	有機化学Ⅱ	2①		2		1						
	攻		化学統計力学 I	2②		2		1						
	専門科	ログ	量子化学 I	2①		2		1						
	科	_	分析化学実験	23~4		2			1					
	目	ム	無機化学実験	23~4		2			1		1			
		科	有機化学実験	3①~②		2			1					
		目	物理化学実験	3①~②		2					1			
			生化学実験	3①~②		2			1					
			分析化学演習	4①~④		4			1					
		Ī	無機化学演習	4①~④		4			1		1			
		Ī	有機化学演習	4①~④		4		2	2					
		Ī	物理化学演習	4①~④		4		1					兼 1	
			量子化学演習	4①~④		4		1			1		兼 1	
			生化学演習	4①~④		4		1	1					
		Ī	溶液化学演習	4①~④		4		1						
		Ī	課題研究 a	4①~②	4			6	5				兼 1	
		Ī	課題研究 b	43~4	4			6	5				兼 1	
		Ī	分析化学Ⅱ	24		2		1						
			錯体化学	3②		2			1					
	ı	I	I	. ~	•	. –	I		1	I	I	I		:

専	主	化	放射化学	3③	2		1		
門教育	専攻	学プ	有機化学Ⅲ	2③	2		1		
谷	専		有機化学Ⅳ	3①	2		1		
Ē	門		量子化学Ⅱ	2③	2	1			兼 1
に 関 す	科	ラ	化学反応論	3②	2	1			
すっ	目	ᄉ	化学統計力学Ⅱ	3①	2	1			兼 1
る授業科目		科目	生体分子化学Ⅱ	24	2		1		
業		П	生体分子化学Ⅲ	3③	2	1			
科			基礎機器分析	3③	2	1			
			有機機器分析	3②	2	1			
			化学英語	3③	2	6			
			化学コロキウム	3③	1	6	5	1	兼 2
			化学特論 I	41)~4	1				兼 1
			化学特論 Ⅱ	41)~4	1				兼 1
			化学特論Ⅲ	4①~④	1				兼 1
			化学特論Ⅳ	4①~④	1				兼 1

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼O」と記入してください。
 - 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可 以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	Ī	设 置	置 時	ξ σ,	計	· 画		変	更	牞	ţ	況	備	考
必	修	選	択	自	由	計 (A)	必	修	選択	自	由	計	VĦ	79
	科目		科目		科目	科目		科目	科目	;	科目	科目		
	5		124			129		5	123			128		
							[]	[△1]	[]	[△1]		

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ 1)

番号	授業科目名	単位数	性 配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
	該当なし					

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	物理学入門		2	1.2①	専門	選択	教職課程の一般的包括的科目として 「物理学基礎D」が認定されたため廃止

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目の「物理学入門」は、代替として「物理学基礎D」が教職課程の一般的包括的科目として認 定されており、履修上の影響はない。 なお、学生に対しては、ガイダンス・シラバス等において周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 1

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 =
 129

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

<理学部理学科 生物学プログラム>

	EU		#1 \V	j	単位数	ţ	卓	9任教	(員等	の配	置		
	科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助 教	助手		備 考
	数育に関 受業科目	別紙のとおり											
専	大学学習法	理学スタディ・スキルズ	1①	2			2	3		1			
門教	自	解析学基礎 1	1.2①		1		1						
育	然系	解析学基礎 2	1.22		1		1						
に	系共	数学基礎 A1	1.213		1		1	3					
関す	通	数学基礎 A2	1.224		1		1	3					
る	専 門	数学基礎 B1	1.2①③		1		2	1					
る授業科	基	数学基礎 B2	1.224		1		2	1					
業	礎	統計学基礎 1	1.200		1		1	1					
目目	科目	統計学基礎 2	1.224		· ·		'	'					カリキュラムの見直しにより、科目
		物理学入門	1.21		2							兼 1	を廃止 (29)
		物理学基礎 AI	1①		2		1						
		物理学基礎 AII	1③		2		_	1				l	
		物理学基礎 BI	1.22		2		3	2				兼 2	
		物理学基礎 BII	1.24		2		1	2				兼 1	
		物理学基礎 C1	1①		1			1					
		物理学基礎 C2	12		1			1					
		物理学基礎 C3	1③ 1④		1			1					
		物理学基礎 C4 物理学基礎 D	1.24		2			1					
		化学基礎 A	1.2123		2		1	'				兼 2	
		化学基礎 B	1.20234		2		4					ж 2	
		化学基礎 C	1.224		2		1	1					
					_		2	-					
		生物学基礎 A	1.2123		2		1	3					教育上の効果を高めるため、教員を 追加(29)
		生物学基礎 B	$1 \cdot 21 \cdot 234$		2		3	2					
		地学基礎 A	1.212		2		1		1				
		地学基礎 B	1.23		2		1	1					
	- m	地学基礎 C	1 · 2 ④		2			1				兼 1	
	理学	総合カアクティブ・ラーニング	12		2		2	3		1			
	学部	専門カアクティブ・ラーニング	12		2		3	3					
	共	基礎英語コミュニケーション	1①		1		1						
	通べ	実践英語コミュニケーション 海外研修	1③ 1·2·3②		1		1					兼 14	
	i i	海外研修	1.2.3②		2		1					兼 14	
	シ	海外英語研修	1.2.3②		4		1					兼 14	
	ック	安全教育	12		1		1					兼 6	
		物理学基礎実習 a	13		1			2)II. 0	
		物理学基礎実習 b	14		1			2					
		化学基礎実習 a	134		1			2				兼 1	
		化学基礎実習 b	134		1			2				兼 1	
		生物学基礎実習 a	13		1		2	1					
		生物学基礎実習 b	14		1		1	1		1			
		地学基礎実習 a	1112		1				1				
		地学基礎実習 b	123		1				1				
		数学基礎演習 a	1①		1		1	1					
		数学基礎演習 b	12		1		1	1				* r	
		科学・技術と社会	2① 2③④		2		1					兼 5 	
		科学史 新素材の物性	234		2		1					兼 1 	
		新茶材の物性 グリーンケミストリー概説	2(3)(4)		1		1					兼 1 兼 6	
		インターンシップ特別実習a	2.0		'		l '					ᆥ	
		インターンシップ特別演習	1 · 2 · 3(2)		1		1					兼 7	科目名の変更(29)
		インターンシップ特別実習b			•							×11.	11-1
		インターンシップ特別演習	1.2.3②		2		1					兼 7	科目名の変更(29)
1					-				-	-	·		

一声	I₩	 +	# 7# 6m n/s vp. /= 24	1@	٥		4			ı —	ı —		;
専門	理	車	基礎細胞遺伝学	13	2		1	_					
教	学部	攻	基礎細胞生物学	14	2			2					
育	共	私	基礎植物学	2①	2		1						
に	通	目	生命科学のための基礎化学	2①		2	1						
関	⊐		基礎生物化学	2③	2		1						
す	ア		機能形態学A	2②		2		1					
る授業科目	科目		多様性生物学A	2①		2		1		1			
堂	Н	他	微分積分学IA	1③		1	1						
科		主	線形代数IA	1③		1	1						
目		専	数学演習A	13		1	1	1					
		攻		13			1	'					
		151		1(4)		1 .	1						
			微分積分学IB	_		1							
			線形代数IB	14		1	1						
			数学演習B	14		1	1	1					
			オペレーションズ・リサーチ	14		2	1						
			微分積分学IIA	2①		2		1					
			線形代数IIA	2①		2		1					
			計算機演習A	2①		1		1					
			微分積分学IIB	2②		2		1					
			線形代数IIB	2②		2		1					
			計算機演習B	2②		1		1					
			解析力学	2(1)		2		1					
			基礎物理数学	13		2		1					
			基礎ベクトル解析	1(4)		2		1					
			分析化学Ⅰ	1(3)		2		1					
			無機化学Ⅰ	1@		2	1	'					
			有機化学Ⅰ	14		2	1						
			化学熱力学	13		2	1						
			生体分子化学Ⅰ	2①		2	1						
			地質学入門a	13		1		1					
			地質学入門b	14		1		1					
			フィールド体験実習	1.22~3		1	5	4	1				
			構造地質学入門	14		1			1				
			地層・古生物学入門	2①		2		1					
			鉱物・岩石学入門	2②		2	1						
			環境地質学入門	2②		1						兼 2	
			地学英語	234		1	1						
			物質反応化学	2②		2		1					
			物質科学C	2①		2		1					
			環境気象学	2①		2		1					
			基礎量子力学	2②		2	1						
			多様性生物学B	2(2)		2	1						
	÷	生	植物生理学Ⅰ	22		2	1						
	主専攻専	物		22		2	'	1					
	攻	物学	動物生理学Ⅰ	2(2)			4	'		4			
	専						1			1			
	消門科目		系統動物学	2②		2				2			担当教員退職のため、担当教員を変 更(29)
	科日	グラ	生体情報学	2③		2	1						
	п		発生生物学I	2③		2	1						
			発生生物学Ⅱ 発生生物学Ⅱ	2(4)		2	1						
			植物生理学Ⅱ	24		2		1					
			生物英語[24	2	-				2			
			分子生物学	3(1)	_	2		1		_			
			カリエ物子 細胞生物学I	3①		2	1	'					
			生物化学【(理)	3②		2	1						
							'	4					
			細胞生物学Ⅱ	3②		2		1					
			生物化学Ⅱ(理)	33		2		1					
			動物生理学Ⅱ	3③		2		1					
			植物生理学ⅡⅠ	3④		2	1						
			生物英語Ⅱ	3③		2	1	1					
			動物生理学ⅡⅠ	3④		2	1						
			植物生理学実習	2②		2	1	1					
			生体分子機能学実習	2③		2	1			2			
			動物形態発生学実習	2④		2	1	1					
													-

専	主	生	細胞・遺伝学実習	3(1)		2	1	l 1		j	ı	į
門	専	物	動物分子生理学実習	3②		2	1	1				
教	攻	学					-			1		
育に	専門	プロ	臨海実習[3②		2	1			2		担当教員退職のため(29)
	科	グ		_						3		
関する授業科	目	ラ	生物学総合演習	33~4	2		6	4		4		担当教員退職のため (29)
して		ム科	生物学特論I	3 · 4②		1					兼	ı
業		目	生物学特論Ⅱ	3.43		1					兼	
科		_	生物学特論 III	3.4①		1					兼	ı İ
目			生物学特論 IV	3 · 4②		1					兼	ı
			生物学特論 V	3 · 4②		1					兼	
			生物学特論 VI	3 · 4 ③		1					兼	
			生物化学演習	4①~④		4	1					
			細胞生物学演習	4①~④		4	1			1		
			発生生物学演習	4①~④		4	1	1				
			植物生理学演習	4①~④		4	2	2				
			内分泌学演習	4①~④		4	1			2		
			分子生物学演習	4①~④		4		1		1		
										3		
			課題研究Ⅰ(生物学)	41~4		8	6	4		4		担当教員退職のため(29)
										3		
			課題研究Ⅱ(生物学)	41~4		4	6	4		4		担当教員退職のため(29)
			適応生物学	3③		2		1		1		
			多様性生物学A	2①		2		1		1		
			機能形態学A	2②		2		1				
			進化生物学	3②		2	1			1		
			環境生物学野外実習A	3②		1				1		
			臨海実習Ⅲ	3.42		1	1					教育課程の充実を図るため、科目を 追加(29)
			臨海実習Ⅳ	3.42		2	1					教育課程の充実を図るため、科目を 追加 (29)

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で,前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合 には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可 以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	Ī	设置	時の言	十画	変	更	状	況	備	考
必	修	選択	自 由	計 (A)	必修	選択	自 由	計	VĦ	7
	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
	7	129		136	7	130		137		
					[]	[1]	[]	[1]		

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: \triangle 1)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
	該当なし					

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	物理学入門		2	1.2①	専門	選択	教職課程の一般的包括的科目として 「物理学基礎D」が認定されたため廃止

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目の「物理学入門」は、代替として「物理学基礎D」が教職課程の一般的包括的科目として認 定されており、履修上の影響はない。 なお、学生に対しては、ガイダンス・シラバス等において周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計 設置時の計画の授業科目数の計 (A) = 136 = 0.73 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

<理学部理学科 地質科学プログラム>

	61 🗆		#7 N/	j	単位数	女	Ę	∮任 教	(員等	の配	置	
	科目 区分	授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助工	備考
				修	択	由	授	授	師	教	手	<u> </u>
	対育に関 受業科目	別紙のとおり										
専	大学学習法	理学スタディ・スキルズ	1①	2			2	3		1		† •
門	自	解析学基礎 1	1.2①		1		1					
教育	然	解析学基礎 2	1 · 2②		1		1					
l [系共	数学基礎 A1	1.213		1		1	3				
関	通	数学基礎 A2	1.224		1		1	3				
すっ	専	数学基礎 B1	1.2①③		1		2	1				
授	門基	数学基礎 B2	1.224		1		2 1	1				
る授業科	礎科	統計学基礎 1	1·2①③ 1·2②④		1		1	1				
┃科┃		統計学基礎 2					l '	l '				並 1 カリキュラムの見直しにより、科目
	目	物理学入門 ·	1-21		2		١.					兼 1 がイエラムの見直しにより、科目 を廃止 (29)
		物理学基礎 AI	1①		2		1	_				
		物理学基礎 AII	13		2		_	1				* o
		物理学基礎 BII 物理学基礎 BII	1·2② 1·2④		2 2		3 1	2				兼 2
		物理学基礎 C1	1(1)		1		l '	1				兼 1
		物理学基礎 C2	1(2)		1			1				
		物理学基礎 C3	13		1			1				
		物理学基礎 C4	1(4)		1			1				
		物理学基礎 D	1.24		2			1				
		化学基礎 A	1.2123		2		1					兼 2
		化学基礎 B	1.21234		2		4					
		化学基礎 C	1 · 2(2)(4)		2		1	1				
							2					
		生物学基礎 A	1.2123		2		4	3				教育上の効果を高めるため、教員を 追加(29)
		生物学基礎 B	1.21234		2		3	2				□/II (29)
		地学基礎 A	1.212	2			1		1			
		地学基礎 B	1.23	2			1	1				
	TITI	地学基礎 C	1 · 2 ④	2				1				兼 1
	理学部	総合カアクティブ・ラーニング	12		2		2	3		1		
	部	専門カアクティブ・ラーニング 基礎英語コミュニケーション	1② 1①		1		ا 1	3				
	共通べ	実践英語コミュニケーション	13		i		li					
	通べ	海外研修	1.2.32		1		1					兼 14
	T	海外研修	1.2.3②		2		1					兼 14
	シ	海外英語研修	1.2.3②		4		1					兼 14
	ック	安全教育	12		1		1					兼 6
	科目	物理学基礎実習 a	1③ 1④		1			2				
	目	物理学基礎実習 b 化学基礎実習 a	134		1			2				兼 1
		化学基礎実習 b	134		l i			2				兼 1
		生物学基礎実習 a	13		1		2	1				211C .
		生物学基礎実習 b	14		1		1	1		1		
		地学基礎実習 a	112	1					1			
		地学基礎実習 b	123	1	_			_	1			
		数学基礎演習 a	1① 1②		1		1	1				
		数学基礎演習 b 科学・技術と社会	2(1)		1 2		1	'				 兼 5 :
		科学・投票と社会科学史	234		2		Ι΄					兼 1
		新素材の物性	234		2		1					兼 1
		グリーンケミストリー概説	2①		1		1					兼 6
		インターンシップ特別実習a										
		インターンシップ特別演習	1.2.3②		1		1					兼 7 科目名の変更(29)
		インターンシップ特別実習b	1.2.3②		n		1					並 7 利日久の亦西 (20)
1	L	インターンシップ特別演習	1.7.3(2)		2	<u> </u>	1	<u> </u>	<u> </u>	l	<u> </u>	兼 7 科目名の変更(29)

I 🚣 1	TELL	حد ا	ut se w a se	4.0	-							1	-
専門	埋当	上	地質学入門a 地質学入門b	13	1				1				
教	子	毕		14	1			l _	1				
育	共	科	フィールド体験実習	1.22~3		1		5	4	1			
i	通	目	構造地質学入門	14	1					1			
関	\neg		地層・古生物学入門	2①	2				1				
す	ア		鉱物・岩石学入門	2②	2			1					
る 授	科		環境地質学入門	2②	1								
授業	目		地学英語	234	1			1					
科			微分積分学IA	13		1		1					
目		主	線形代数IA	13		1		1					
		専攻	数学演習A	13		1		1	1				
		科	集合と写像	13		1		1					
		目	微分積分学IB	14		1		1					
		_	線形代数IB	14		1		1					
			数学演習B	1④		1		1	1				
			オペレーションズ・リサーチ	14		2		1					
			微分積分学IIA	2①		2			1				
			線形代数IIA	2①		2			1				
			計算機演習A	2①		1			1				
			微分積分学IIB	2②		2			1				
			線形代数IIB	2②		2			1				
			計算機演習B	2②		1			1				
			解析力学	2①		2			1				
			基礎物理数学	13		2			1				
			基礎ベクトル解析	14		2			1				
			分析化学Ⅰ	13		2			1				
			無機化学Ⅰ	14		2		1					
			有機化学Ⅰ	14		2		1					
			化学熱力学	13		2		1					
			生体分子化学Ⅰ	2①		2		1					
			基礎細胞遺伝学	1③		2		1					
			基礎細胞生物学	1④		2			2				
			基礎植物学	2①		2		1					
			生命科学のための基礎化学	2①		2		1					
			基礎生物化学	2③		2		1					
								'					
			物質反応化学	2②		2			1				
			物質科学C	2①		2			1				
			環境気象学	2①		2			1				
			基礎量子力学	2②		2		1					
			機能形態学A	2②		2			1				
			多様性生物学A	2①		2			1		1		
			多様性生物学B	2②		2		1					
	主	地	地質調査法I	2①~②	2			1					
	専攻専	質	地質調査法Ⅱ	2③	1			1					
	攻	科	地質調査法実習I	2①~②	2			1					
	界門	学プ	地質調査法実習II	2③	1			1					
	科		地質調査法実習ⅡⅠ	24	1			1					
	目		岩石学A	2③	1			1					
		ラ	岩石学実験[2③~④	1			1					
		۲	テクトニクス	23~4	2					1			
		科	鉱物学A	23	1			1					
		目	地層学A	24	1				1				
				23	1				'		1		
			古生物学A	3①~②	l '				1		'		
			野外実習A		0	4		E	1	1			
			課題研究(地質科学)	4①~④	8			5	4	1			
			セミナー	4①~④	2	_		5	4	1	4		
			野外実習B	3①~④		2		_	,	4	1		
			論文購読演習	33~4		1		5	4	1			

車	Ì	抽	鉱物学B	3(1)	1		1	l		l	l	1	:		ĺ
門	専	質	鉱物学C	3②	1		1								
教	攻	科	鉱物結晶学実験	23~4	1		1								
専門教育に	主専攻専門科	学	岩石学B	24	1			1							
関	科		岩石学C	3①	1		1						•		
す	目	グ	岩石学実験Ⅱ	3①~②	1			1							
る		ラ	固体地球化学A	3③	1			1							
授業		科	固体地球化学B	34	1			1					•		
関する授業科			地球化学分析法	4①	1		1						•		
目			構造地質学	3①~②	2		1								
			地質構造解析法	3①~②	1		1		1				1		
			地球物理学	33~4	2		3	1	1						
			地層学B	3①	1			1							
			古生物学B	24	1		1						•		
			古生物学実験	23~4	1		1	1		1					
			海洋生物学実験	2①~④	1		1								
			地史学A	3①	1		1	1		1					
			地史学B	3②	1			1							
			海洋地質学A	3③	1			1							
			海洋地質学B	3④	1			1							
			東アジアの地質形成史	3①~④	2		1								
			第四紀環境学	3①~②	2							兼 1			
			環境地質学	3①~②	2							兼 1	•		
			水文地質学	3②	2							兼 1			
			環境地質学実習	3①~④	1							兼 1			
			石油地質学	3.4①~②	1							兼 1			
			土木地質学	3.43~4	1		4	4				兼 1	1		
			応用地質学実習	3①~④	1		1	1				兼 1			
			水質化学分析法	43	1							兼 1			
			地球科学特別講義Ⅰ	3.43~④	1							兼 1			
			地球科学特別講義Ⅱ	3.43~④	1							兼 1			
			地球科学特別講義Ⅲ	3.43~④	1							兼 1			
			資源・環境地質学	24	2			1					<u> </u>		

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で,前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- · 授業科目を追加又は内容を変更する場合で,専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合 には,「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可 以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	į	设置	量 時	寺 の	計	画	変	更	状	況	備	考
必	修	選	択	自	由	計 (A)	必修	選択	自由	計	VĦ	75
	科目		科目		科目	科目	科目	科目	科目	科目		
	26		116			142	2	115		141		
							[]	[∆1]	[]	[△1]		

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: \triangle 1)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
	該当なし					

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	物理学入門		2	1.2①	専門	選択	教職課程の一般的包括的科目として 「物理学基礎D」が認定されたため廃止

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目の「物理学入門」は、代替として「物理学基礎D」が教職課程の一般的包括的科目として認 定されており、履修上の影響はない。 なお、学生に対しては、ガイダンス・シラバス等において周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計 設置時の計画の授業科目数の計 (A) = 142 = 0.7 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

<理学部理学科 自然環境科学プログラム>

	61 E1		#3 VV	j	単位数	<u></u>	Ę	享任 教	員等	の配	置	
	科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	備考
教養教	育に関	Dilat o I to II		19	1/(Н	1又	授	thi	扒	7	<u> </u>
	業科目	別紙のとおり										
専	大学学習法	理学スタディ・スキルズ	1①	2			2	3		1		
門教	自	解析学基礎 1	1.2①		1		1					
育	然 系	解析学基礎 2	1.22		1		1					
に	共	数学基礎 A1	1.213		1		1	3				
関	通	数学基礎 A2	1.224		1		1	3				
すっ	専	数学基礎 B1	1.213		1		2	1				
垣		数学基礎 B2	1.224		1		2	1				
る授業科	基 礎	統計学基礎 1	1.213		1		1	1				
科	科	統計学基礎 2	1.224		1		1	1				
目		物理学入門	1 · 2 ①		2							兼 1 カリキュラムの見直しにより、科目 を廃止 (29)
		物理学基礎 AI	1①		2		1					2 Mar. (20)
		物理学基礎 AII	13		2			1				
		物理学基礎 BI	1.22		2		3	2				兼 2
		物理学基礎 BII	1.24		2		1	2				兼 1
		物理学基礎 C1	1①		1			1				
		物理学基礎 C2	12		1			1				
		物理学基礎 C3	1③		1			1				
		物理学基礎 C4	14		1			1				
		物理学基礎 D	1.24		2			1				
		化学基礎 A	1.2123		2		1					兼 2
		化学基礎 B	1.21234		2		4					
		化学基礎 C	1.224		2		1	1				
							2					
		生物学基礎 A	1.2123		2		1	3				教育上の効果を高めるため、教員を 追加(29)
		生物学基礎 B	1.21234		2		3	2				
		地学基礎 A	1.212		2		1		1			
		地学基礎 B	1.23		2		1	1				
		地学基礎 C	1 · 2 ④		2			1				兼 1
	理学部共	総合カアクティブ・ラーニング	12		2		2	3		1		
	字单	専門カアクティブ・ラーニング	12		2		3	3				
	共	基礎英語コミュニケーション	1①		1		1					
	通	実践英語コミュニケーション	13		1		1					
		海外研修	1.2.3②		1		1					兼 14
	ーシ	海外研修	1.2.3②		2		1					兼 14
	ッ	海外英語研修	1.2.3②		4							兼 14
	7	安全教育	12		1		1	_				兼 6
	17	物理学基礎実習 a	13		1			2				
	目	物理学基礎実習 b	1@		1			2				* 1
		化学基礎実習 a	134		1			2				兼1
		化学基礎実習 b	134		1		,	2				兼 1
		生物学基礎実習 a	13		1		2			1		
		生物学基礎実習 b 地学基礎実習 a	1 ④ 1 ①②		1		l '	'	1	'		
		地学基礎実習 b	123		1				1			
		数学基礎演習 a	1①				1	1	'			
		数学基礎演習 b	12		1		li	1				
1		数子錖啶演員 □ 科学・技術と社会	2①		2		ľ	Ι΄.				兼 5
1		科学・投票と社会科学史	234		2		l					兼 1
		新素材の物性	234		2		1					兼 1
		グリーンケミストリー概説	2①		1		li					兼 6
		インターンシップ特別実習a			•		•					
		インターンシップ特別演習	1.2.3②		1		1					兼 7 科目名の変更(29)
		インターンシップ特別実習b										
		インターンシップ特別演習	1.2.3②		2		1					兼 7 科目名の変更(29)
•		-	- !	•	•		-				•	•

				_										-
専	理	主	物質反応化学	2②		2			1					
門	字如	専	物質科学C	2①		2			1					
教 育	学部共	攻科	環境気象学	2①		2			1					
目に	并通	目	基礎量子力学	2②		2		1						
関	過コ		機能形態学A	2②		2			1					
ず	ア		多様性生物学A	2①		2			1		1			
る	科			2②		2		1	'		'			
、る授業	目	114	多様性生物学B											
業	_	也主	微分積分学IA	13		1		1						
科		車	線形代数IA	13		1		1						
目		攻	数学演習A	13		1		1	1					
		科	集合と写像	13		1		1						
			微分積分学IB	14		1		1						
		-	線形代数IB	14		1		1						
			数学演習B	14		1		1	1					
			オペレーションズ・リサーチ	14		2		1	l '					
								'	١,					
			微分積分学IIA	2①		2			1					
			線形代数IIA	2①		2			1					
			計算機演習A	2①		1			1					
			微分積分学IIB	2②		2			1					
			線形代数IIB	2②		2			1					
			計算機演習B	2②		1			1					
			解析力学	2①		2			1					
			基礎物理数学	13		2								
						2								
			基礎ベクトル解析	14										
			分析化学[13		2			1					
			無機化学Ⅰ	14		2		1						
			有機化学Ⅰ	1④		2		1						
			化学熱力学	13		2		1						
			生体分子化学I	2①		2		1						
			基礎細胞遺伝学	13		2		1						
				14		2		'	2					
			基礎細胞生物学					4						
			基礎植物学	2①		2		1						
			生命科学のための基礎化学	2①		2		1						
			基礎生物化学	2③		2		1						
			地質学入門a	13		1			1					
			地質学入門b	1④		1			1					
			フィールド体験実習	1.22~3		1		5	4	1				
			構造地質学入門	1(4)		1				1				
				_		1			1	'				
			地層・古生物学入門	2①		2			1					
			鉱物・岩石学入門	22		2		1						
			環境地質学入門	2②		1							兼 2	
			地学英語	234		1		1						
	È	自	自然環境科学総論	2③	2			5	7		2			
	専	然環	地形学	2④		2			1					
	攻	環	地球流体力学	3①		2			1					
	攻専門科目	境	S-3-3-3-611 - 5-3	2③		2		1	'					
	門	枓	環境分析化学											
	枓	学	物質科学B	24		2		1			,			
	日		機能形態学B	24		2					1			
		ログ	多様性生物学C	2③		2			1					
		クラ	生態学	2③		2					1			
		ム	地質災害論	34		2			1					
		科	寒冷地形学	3③		2			1					
		_	気候システム論	3③		2		1						
		-	高層大気科学	34		2		1						
								Ι'					# 1	
			物質科学A	3②		2							兼 1	
			地球環境化学	3①		2		1	1					
			エネルギー物質科学	34		2		2	1					
			環境汚染論	32		2		1						
			保全遺伝学	2④		2			1					
			進化生物学	3②		2		1			1			
			適応生物学	3③		2			1		1			
			古環境学	3①		2		1	2		'			
				3②		2		Ι΄.					# 0	
			環境経済システム論Ⅰ										兼 2	
			環境政策論	3①		2		1					兼 4	
			自然環境科学実験A1	3①		2			1					
			自然環境科学実験A2	32		2			1					
			自然環境科学実験B1	2③		2		1	2		2			
			自然環境科学実験B2	3②		2		1	2		2			
	•	ı				. –	1		. –	ı	. –	ı		.

専	主		自然環境科学実験C1	3③	2	3	2			1
門	専	然	自然環境科学実験C2	3④	2	3	2			
教 育	攻専	環境	自然環境科学特論C	3②	1				兼 1	
	門	科	自然環境科学特論D	3③	1				兼 1	
に関	科		自然環境科学特論A	3②	1				兼 1	
す	目	プ	自然環境科学特論B	3③	1				兼 1	
る		□ □	数理演習	24	2	2				
技業		グラ				2				教育上の効果を高めるため、教員を 追加(29)
る授業科目		L	環境生物学演習	3③	2	4	2	2		<u>ыл</u> (23)
		科目	地質フィールド実習	3②	1		1			
			環境生物学野外実習A	3①~④	1			1		
			環境生物学野外実習B	2.31~4	1	1	1	4		担当教員退職のため(29)
			環境生物学野外実習C	2.34	1	1		4		担当教員退職のため(29)
			課題研究(自然環境)A	41~4	8	1	3			
			課題研究(自然環境)B	41~4	8	1	2	2		
			課題研究(自然環境)C	41~4	8	2	3			

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可 以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画						変	-	更	状	況	備	考
必	修	選択	5	自 由	計	(A)	必(多 i	選択	自 由	計	VĦ	75
	科目	科	目	科目		科目	科	Ħ	科目	科目	科目		
	2	13	32			134		2	131		133		
							[]		[△1]	[]	[△1]		

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目滅の場合: Δ 1)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
	該当なし					

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	物理学入門	2	1.2①	専門	選択	教職課程の一般的包括的科目として 「物理学基礎D」が認定されたため廃止

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目の「物理学入門」は、代替として「物理学基礎D」が教職課程の一般的包括的科目として認 定されており、履修上の影響はない。 なお、学生に対しては、ガイダンス・シラバス等において周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 1

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 =
 134

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

<理学部理学科 フィールド科学人材育成プログラム>

	.		T7 1/2	j	単位数		Ę	9任教	員等	の配置	置	
	科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	備考
				修	択	由	授	授	師	教	手	
	対育に関 受業科目	別紙のとおり										
専	大学学習法	田光フケブ・ フナルブ	1(1)	2			2	3		1		
門門	自	理学スタディ・スキルズ 解析学基礎 1	1.2(1)		1		1	ა		-		+ +
教	然	解析学基礎 2	1.2②				1					
育	系共	数学基礎 A1	1.2①3		i		i	3				
に	共	数字基礎 A2	1.224		i		i	3				
関す	通	数学基礎 B1	1.2(1)(3)		i		2	1				
9 る	専門	数学基礎 B2	1.2(2)(4)		1		2	1				
授	基	統計学基礎 1	1.2(1)(3)		1		1	1				
業	礎	統計学基礎 2	1.224		1		1	1				
科	科	物理学入門	1-2(1)		2							兼 1 カリキュラムの見直しにより、科目を 廃止 (29)
目	目		1①				1					廃止 (29)
		物理学基礎 AII 物理学基礎 AII	1(3)		2		1	1				
		物理学基礎 BI	1.2(2)		2		3	2				兼 2
		物理学基礎 BII	1.24		2		1	2				兼1
		物理学基礎 C1	1(1)		1		'	1				* '
		物理学基礎 C2	1(2)		i							
		物理学基礎 C3	13		1			1				
		物理学基礎 C4	14		i			1				
		物理学基礎 D	1 · 2(4)		2			1				
		化学基礎 A	1.2(1)(2)(3)		2		1	'				兼 2
		化学基礎 B	1.2(1)(2)(3)(4)		2		4					NK 2
		化学基礎 C	1.224		2		1	1				
					_		2					
		生物学基礎 A	1.2123		2		1	3				教育上の効果を高めるため、教員を追
		生物学基礎 B	1.21234		2		3	2				加 (29)
		地学基礎 A	1.2①②		2		1		1			
		地学基礎 B	1.23		2		i	1				
		地学基礎 C	1 · 2(4)		2			1				兼 1
	理	総合カアクティブ・ラーニング	12		2		2	3		1		318
	学	専門カアクティブ・ラーニング	12		2		3	3				
	部共	基礎英語コミュニケーション	1①		1		1					
	通	実践英語コミュニケーション	13		1		1					
	べべ	海外研修	1 · 2 · 3②		1		1					兼 14
	I	海外研修	1 · 2 · 3 ②		2		1					兼 14
	シ	海外英語研修	1 · 2 · 3②		4		1					兼 14
	ッ	安全教育	12		1		1					兼 6
	ク 科	物理学基礎実習 a	1③		1			2				
	目	物理学基礎実習 b	14		1			2				
	_	化学基礎実習 a	134		1			2				兼 1
		化学基礎実習 b	134		1		_	2				兼 1
		生物学基礎実習 a	13		1		2	1		4		
		生物学基礎実習 b	14		1		1	1	4	1		
		地学基礎実習 a	1①② 1②③		1				1			
		地学基礎実習 b	1①		1		1	1	'			
		数学基礎演習 a 数学基礎演習 b	1(2)		1		1	1				
		数子基礎演首 □ 科学・技術と社会	2(1)		2		1	'				兼 5
		科学史	2(3)(4)		2		l '					兼 1
		新素材の物性	234		2		1					兼 1
		グリーンケミストリー概説	2①		1		1					兼 6
		インターンシップ特別実習a										[] · · · · ·
		インターンシップ特別演習	1.2.3②		1		1					兼 7 科目名の変更(29)
		インターンシップ特別実習b										
		インターンシップ特別演習	1.2.32		2		1					兼7 科目名の変更(29)

l at [I	Ħ	ᅭᄝᅠᆠᅩᄴᆢᅼᄀᄜ	2(1)		2	1	1	1	1	1	1	:
専門	프	里学	地層・古生物学入門	2① 2②		2 2		1	1				
教	苔	邰	鉱物・岩石学入門 環境地質学入門	2(2)				'				兼 2	
育	ŧ	ŧ	環境地質学入门 物質科学C	2①		1 2			1			朮 ∠	
に		<u> </u>	環境気象学	2①		2			1				
関	Ξ	コア	^{環境対象子} 多様性生物学A	2①		2			1		1		
すっ		r 斗	多様性生物学B	2②		2		1	l '		'		
授	T.		微分積分学IA	13		1		Ιί					
る授業		_	線形代数IA	13		1		Ιi					
科			数学演習A	13		1		Ιί	1				
目			集合と写像	13		li		Ιί	'				
			微分積分学IB	1(4)		i		Ιi					
			線形代数IB	1(4)		i		Ιi					
			数学演習B	14		1		Ιi	1				
			オペレーションズ・リサーチ	14		2		1	'				
			微分積分学IIA	2①		2			1				
			線形代数IIA	2①		2			1				
			計算機演習A	2(1)		1			1				
			微分積分学IIB	2②		2			1				
			線形代数IIB	2②		2			1				
			計算機演習B	2②		1			1				
			解析力学	2①		2			1				
			基礎物理数学	1③		2			1				
			基礎ベクトル解析	14		2			1				
			分析化学Ⅰ	1③		2			1				
			無機化学I	14		2		1					
			有機化学Ⅰ	14		2		1					
			化学熱力学	1③		2		1					
			生体分子化学Ⅰ	2①		2		1					
			基礎細胞遺伝学	13		2		1					
			基礎細胞生物学	14		2			2				
			基礎植物学	2①		2		1					
			生命科学のための基礎化学	2①		2		1					
			基礎生物化学	2③		2		1					
			地質学入門a	13		1			1				
			地質学入門b	14		1			1				
			フィールド体験実習	1.22~3		1		5	4	1			
			構造地質学入門	14		1				1			
			地学英語	234		1		1					
			物質反応化学	2②		2			1				
			基礎量子力学	2②		2		1	_				
-	-	_	機能形態学A	2②		2	-		1			_	
	車	フィ			_							3	教育上の効里を喜めるため 教員を浪
	攻	1	技術者倫理・自然環境関連法規	3④	2							兼 <mark>2</mark>	教育上の効果を高めるため、教員を追 加(29)
	専	ル	フィールドワーカーのためのリス	2·3(1)~(4)	2							兼 2	
	門		クマネジメント実習	1@	2						4		
	科目	科学	フィールド安全論 卒業論文	2③ 4①~④	8			2	5		1 1	兼 2	センサミ 13 mb の 4 は (20)
	П	1	平未	24	0	2			3		'	兼 1	担当教員退職のため (29)
		材	樹木学	23		2						兼 1	
		育	環境砂防学	2③		2						兼 1	
		成。	生態学	23		2					1	ж I	
		プロ		-0		_					1		
			系統分類学	2③		2		1	1		2		担当教員退職のため(29)
		j	地形学	24		2			1		_		
		ム	環境分析化学	2③		2		1	•				
		科	森林環境論	24		2						兼 1	
		目	森林再生学	3③		2						兼 3	
			森林保全学	3①		2						兼 1	
			野生動物生態学	2③		2						兼 1	
												3	
			流域環境GIS	24		2						兼 <mark>2</mark>	教育上の効果を高めるため、教員を追 加(29)
			リモートセンシング	3②		2						兼 1	лн (43)
		ĺ	流域水文学	3①		2						兼 1	
			環境物理学	2③		2			1				
		ĺ	海洋化学	3③		2			1		4		
			水圏生態学	3④		2		1			1 2		担当教員退職のため (29)
		ĺ	寒冷地形学	33		2		Ι΄.	1		-		
			地球環境化学	3①		2		1	1				

専門教	主専攻	フィー	古環境学 保全遺伝学 地質災害論	3① 2④ 3④	2 2 2	1	2 1 1			
育	専	ル	温暖化メカニズム・影響学	3③	2		1		兼 1	
1	門	ド		3③	2				兼 1	
関	科	科		3②	2				兼 1	
すっ		-	環境地質学	3①	2				兼 1	
る 授		人材	水文地質学 河川工学	3③ 3②	2				兼 1 兼 1	
業		育	河川工子 里地里山再生学	3(1)	2				兼 5	
科		成	王龙王叫行工]	•	_				4	•
I		パプログ	希少生物保全学	3③	2				兼 2 5	教育上の効果を高めるため、教員を追加 (29)
		ラム	野生動植物生態学実習	3①~②	4				兼 4	教育上の効果を高めるため、教員を追加 (29)
		科目	測量学実習	3①②	2				兼 3	教育上の効果を高めるため、教員を追加 (29)
			GIS・リモートセンシング演習	3④	2				兼 2 1	担当教員変更のため(29)
			防災系演習及び実習	2(3)~(4)	3				兼 2	担当教員変更のため(29)
			測量学	24	2				兼 1	
			水環境工学	2③	2				兼 1	
				-0	_				2	
			土環境工学	2④	2				兼 1	教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
			構造デザイン工学	24	2				兼 1	
			水圏・水環境学	3 ①	2		4		兼 2	カリキュラムの見直しにより、科目を 廃止 (29)
			環境統計学	34	2				兼 4	
			森林遺伝育種学	3②	2				兼 1	
			環境経済システム論I	3②	2				兼 2	
			環境政策論	3①	2	1			兼 4	
			生態系管理演習及び実習	3①~③	4				兼 2	
			海洋フィールド生物学実習	3②	2	1		1 2		担当教員退職のため(29)
			地形解析実習	3(1)	2	'	1	-		正当秋黄 医佩罗尼切(20)
1			5. 気象解析実習	3(2)	2		1			
1			地形フィールド実習	32~3	1		1			
			地質フィールド実習	3(2)	1		1			
1			プィールド 美自 フィールド科学インターンシップ	32	2		'		兼 1	1
1			自然再生学実習	33	2				兼 4	•
1			ロボヴェナスョ 災害・復興科学演習及び実習	3(3)	2				兼 2	
1			人口 成代刊于成日从50天日	00	_				ж 2 9	
			グローバル防災・復興学	3.42	4				兼 3	教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で,前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	į	設置時の言			計	画			変	j	更	り	ţ	況	備考	
必	修	選	択	自	由	計	(A)	必	修	選	択	自	由	計	加用 与	
	科目		科目		科目		科目		科目		科目	;	科目	科目		
	5		145				150		5		143			148		
]]	[Δ	2]]]	[△2]		

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 []内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目滅の場合: Δ 1)

番号	授業科目名	単	位	数	配当年次	一般•	専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
	該当なし								

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	物理学入門	2	1.2①	専門	選択	教職課程の一般的包括的科目として 「物理学基礎D」が認定されたため廃止
2	水圏・水環境学	2	3①	専門	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目のうち、「物理学入門」は、代替として「物理学基礎D」が教職課程の一般的包括的科目として認定されており、「水圏・水環境学」についても、他に十分な種類の科目が用意されており、それらを履修することで本科目の学修内容を修得できるため履修上の影響はない。なお、学生に対しては、ガイダンス・シラバス等において周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計 設置時の計画の授業科目数の計 (A) = 2 1.33 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

<理学部 理学科> (各プログラム共通)

(1) 授業科目表(教養教育に関する授業

(教養教育に関する授業科目)

斗 目	哲学31日の夕春	配当年次		位数						配置		備考
⋜分	授業科目の名称	163 十次	必修	選択	自由	教授	准教权	講師	助教	助手)佣
T	<u> </u>	1(1)~(2)	1				按			<u> </u>	兼20 つ	
英語	アカデミック英語R1	1 • 2(1)	0.5									- クォーター制移行による変更(29)
語	アカデミック英語R2		0.5								兼32	
	アカデミック英語(リスニング)	1(1)~(2)	4								兼12 つ	
Ī	アカデミック英語 L1	9 9	0.5									- クォーター制移行による変更(29)
- 	アカデミック英語L2		0.5								兼19	
-	,,,	9									兼25	
5	基礎英語	1 • 2③~④	1									教育上の効果を高めるため、教員を追加(29
2	アカデミック英語(ライティング)	1 • 23 ~ 4	4								兼20 つ	
ŧ	アカデミック英語W	1 • 2(1)~(2)	1								兼26	- クォーター制移行による変更(29)
Ì	理工英語読解	1 - 2 - 3 - 41 ~ 23 ~ 4		1							兼12	
il											兼6	
•	応用英語	1 · 2 · 3 · 4① ~ ②③ ~ ④		2								教育上の効果を高めるため、教員を追加(29
											兼9	
	入門医療英語	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4		1							兼2	数育 <mark>上の</mark> 効果を高めるため、教員を追加(29
	発展英語	1 · 2 · 3 · 4① ~ ②③ ~ ④		2							兼16 兼10 孝	教育上の効果を高めるため、教員を追加(29
	英語表現セミナーA	1 • 2 • 3 • 41)~23~4		2							兼1	
	実践英語	1 • 2 • 3 • 43~4		1							兼3	
	Combination Class: Content & Skills 1	1-2-3-41-2		4							兼2 ¬	
	Topic Based Presentation Skills	1-2-3-43~4		4							兼2	
	Combination Class: Content & Skills 2	1 - 2 - 3 - 43 ~ 4		4							兼2	
	Intercultural Communication 1	1 - 2 - 3 - 43 ~ 4		4							兼1	
	Intercultural Communication 2	$1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 40 \sim 2$		4							兼1	
	Content Lecture	1 - 2 - 3 - 41 ~ 2		4							兼1	
	Language Lab 2	1 - 2 - 3 - 41 ~ 2		4							兼1	
	Topic Based Research Project Class	1 - 2 - 3 - 41 ~ 2		4							兼2	
	iStep Continuation: Academic Presentations Term 3	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
	iStep Continuation: Academic Presentations Term 4	1 • 2 • 3 • 44		1							兼1	
	iStep Continuation: Advanced Academic	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
	Listening & Speaking Term 3 iStep Continuation: Advanced Academic	1 • 2 • 3 • 44		1							兼1	
	Listening & Speaking Term 4 iStep Continuation: Advanced Academic	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
	Writing A Term 3 iStep Continuation: Advanced Academic	1 • 2 • 3 • 44		1							兼1	
	Writing A Term 4 iStep Continuation: Advanced Academic	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
	Writing B Term 3 iStep Continuation: Advanced Academic	1 • 2 • 3 • 44		1							兼1	
	Writing B Term 4 iStep Continuation: Advanced Academic	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
	Writing C Term 3 iStep Continuation: Advanced Academic	1 • 2 • 3 • 44		1							兼1	
	Writing C Term 4 iStep Continuation: Advanced	1 • 2 • 3 • 4③		1							兼2	
	Presentations Term 3 iStep Continuation: Advanced	1 • 2 • 3 • 44		1							兼1	_ クォーター制移行による変更(29)
	Presentations Term 4 iStep Continuation: Advanced Reading	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
	Term 3 iStep Continuation: Advanced Reading	1 • 2 • 3 • 44		1							兼1	
	Term 4 iStep Continuation: Advanced Topic	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
	Based Speaking Term 3 iStep Continuation: Advanced Topic	1 • 2 • 3 • 44		1							兼1	
	Based Speaking Term 4 iStep Continuation: Intercultural	1 • 2 • 3 • 43		1							兼3	
	Communication Term 3 iStep Continuation: Intercultural	1 • 2 • 3 • 4(4)		1							兼2	
	Communication Term 4 iStep Continuation: Scientific Method			1							兼1	
	for Academic Writing C Term 3 iStep Continuation: Scientific Method	Ü		1							兼1	
	for Academic Writing C Term 4 iStep Continuation: Speaking:	1 · 2 · 3 · 4(3)		1							兼1	
	Segmental Pronunciation Term 3	1 • 2 • 3 • 4(4)		1							兼1	
	iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 4	_										
	iStep Continuation: Speaking: Suprasegmental Pronunciation Term 3	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
1	iStep Continuation: Speaking:	1 • 2 • 3 • 44		1		ĺ					兼1	

科目 区分 授業科目の名称 配当年次 必 修 規由 選 規由 推 教 授 一 財 一 大語表現セミナーB 英語表現セミナーC 共通英語 「こと3・4①~② 大語表現セミナーC 共通英語セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナーC 共通英語セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語表現セミナー 大語本 大田語ベーシック I (1) 独語仏語伊語 大田語ベーシック I (2) 独語西語露語 大田語ベーシック I (3) 独語仏語中語 大田語ベーシック I (4) 中語朝語(ケド・ギャア) 語語 大田語ベーシック I (4) 中語朝語(ケド・ギャア) 語語 大田語ベーシック I (5) (文字論) 大田語ベーシック I (5) (文字論) 大田語ベーシック I (7) 中語朝語(ケド・ギャア) 大田語ベーシック I (5) (文字論) 大田語ベーシック I (7) 中語朝語(ケド・ギャア) 大田語ベーシック I (7) 中語朝語(ケド・ギャア) 大田語ベーシック I (7) 中語朝語(ケド・ギャア) 大田語ベーシック I (7) 中語(大田) 大田	
す 初る修 特国語ペーシック I (2) 独語四語露語 外国語ペーシック I (2) 独語四語露語 外国語ペーシック I (3) 独語仏語中語 外国語ペーシック I (4) 中語朝語(小・ネッァ) 1・2①~② 1・2①~② 1・2①~② 1・2①~② 2 1・2①~② 1・2①~② 2 1・2①~② 1・2①~② 1・2①~② 1・2①~② 1 ・2①~② 1 ・2①~② 1 ・2①~② 1 ・2①~② 1 ・2①~② 1 ・2①~②	
外国語ペーシック 1-26 (ドイツ語)	

	I		単	位数	友	専任	教員	員等(の配	置	
科目	授業科目の名称	配当年次	必	選	自						備 考
区分			修	択	由	教授	致 授	師	教	Ŧ	
教初	ドイツ語ベーシック II	1 • 23 ~ 4	T	3		Ħ	<u> </u>	7	7	T	兼6
教 初養 修	ドイツ語ベーシック Ⅱ1	1 • 23~4		3							兼2
教外		1 · 23 ~ 4		3							兼2 「クオーター制移行による変更(29)
音 国	ドイツ語ベーシック II 4	1 · 23 ~ 4		3							兼2
1-	コミュニケーション・ドイツ語A	1 · 2①~②		2							兼1 **1
関	コミュニケーション・ドイツ語 B コミュニケーション・ドイツ語 C	1 · 2①~② 1 · 2①~②		2							兼1 兼1
す	コミュニケーション・ドイツ語し コミュニケーション・ドイツ語 D	1 • 2(1)~(2)		2							末
る	コミュニケーション・ドイツ語E	1 • 23 ~ 4		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
授業	コミュニケーション・ドイツ語F	1 · 23 ~ 4		2							兼1
科	コミュニケーション・ドイツ語H	1 • 23 ~ 4		2							兼1
Ϊ́Ι	ドイツ語セミナーA	1 • 2①~②		2							兼1
	ドイツ語セミナーB	1 • 2①~②		2							兼1
	ドイツ語セミナーC	1 • 23~4		2							兼1
	ドイツ語セミナーD	1 · 23~4		2							兼1
	フランス語インテンシブ I	1 • 2① ~ ②		4							**
	フランス語インテンシブⅡ	1 · 23 ~ 4		4							** 1
	フランス語インテンシブ I 1 フランス語インテンシブ I 2	1 • 2① ~ ②		4							兼2
	フランス語インテンシフ I Z フランス語インテンシブ II 1	1 · 2① ~ ② 1 · 2③ ~ ④		4							兼2 「クオーター制移行による変更(29) 兼2
	フランス語インテンシフェ フランス語インテンシブⅡ2	1 • 23 ~ 4	1	4							東2
	フランス語スタンダード I	1 • 2(1)~(2)		3							*************************************
	フランス語スタンダードⅡ	1 • 23 ~ 4		3							*************************************
	フランス語スタンダード I 1	1 • 2①~②		3							兼2
	フランス語スタンダード I 2	1 • 2①~②		3							兼2
	フランス語スタンダード I 3	1 • 21 ~ 2		3							兼2
	フランス語スタンダード I 4	1 • 21 ~ 2		3							兼2
	フランス語スタンダード I 5	1 · 2①~②		3							兼2 「クオーター制移行による変更(29)
	フランス語スタンダードⅡ1	1 · 23 ~ 4		3							兼2
	フランス語スタンダード II 2	1 • 23 ~ 4		3							兼3 **a
	フランス語スタンダードⅡ3 フランス語スタンダードⅡ4	1 · 23 ~ 4 1 · 23 ~ 4		3							兼2
	フランス語スタンダート II 4 フランス語スタンダード II 5	1 • 23 ~ 4		3							兼2
	フランス語ベッシック II	1 • 23 ~ 4		3							**
	フランス語ベーシック Ⅱ1	1 • 23 ~ 4		3							兼2 / クオーター制移行による変更 (29)
	フランス語ベーシックⅡ2	1 • 23 ~ 4		3							兼2
	コミュニケーション・フランス語A	1 • 21 ~ 2		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	コミュニケーション・フランス語B	1 • 21 ~ 2		2							兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		未開講									
	コミュニケーション・フランス語C	1 · 2①~②		2							兼1 休講のため(29)
	コミュニケーション・フランス語 D	1 • 2(1)~(2)		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	コミュニケーション・フランス語し	1 • 23~4		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	コミュニケーション・フランス語F	1 • 23 ~ 4		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	コミュニケーション・フランス語G	1 · 23 ~ 4		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	コミュニケーション・フランス語H	1 · 23~4		2							兼1
	コニンス新ムラナー人	1.03		,							**************************************
	フランス語セミナーA	1 • 2① ~ ②		2							兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	フランス語セミナーB ー	1 • 23~4		2							
	ロシア語インテンシブ I	1 • 2①~②		4							兼2 兼4 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		1 20.46		-							兼2
	ロシア語インテンシブⅡ	1 • 23~4		4							兼2
											兼2
	ロシア語スタンダードI	1 • 2①~②		3							兼1 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
											兼2
	ロシア語スタンダードⅡ	1 • 23~4		3							兼1 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
	ロシア語ベーシック Ⅱ	1 • 23~4	1	3							兼1
	コミュニケーション・ロシア語A	1 • 2①~②	1	2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	コミュニケーション・ロシア語B	1 · 2①~②		2							兼1
	コミュニケーション・ロシア語C	1 • 23 ~ 4		2							兼1 **1
	ロシア語セミナーA	1 • 2① ~ ②		2							兼1
	ロシア語セミナーB 中国語インテンシブ I	1 · 23 ~ 4 1 · 21 ~ 2		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼2 □
	中国語インテンシブエ 中国語インテンシブエ	1 · 2(3~4)		4							*** ***
	中国語インチンシンエ 中国語インテンシブ I 1	1 · 2(1)~(2)		4							兼2
	中国語インテンシブ I 2	1 · 2①~②		4							兼2
1 1			ı	1 1		1	- 1	-	I	ı	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2

	目分	授業科目の名称	配当年次	必修	位選択				員等講師				備考
H	,	中国語インテンシブⅡ1 中国語インテンシブⅡ2	1 · 2③~④ 1 · 2③~④	(i)	4 4	E	Z	授	Tuli	1X	1	兼2 兼2	
教養	初修	中国語インチングード I	1 • 20 ~ 2		3							来2 兼5	
教	外	中国語スタンダードエ	1 23~4		3							兼5	
育		中国語スタンダード I 1 中国語スタンダード I 2	1 · 2① ~ ② 1 · 2① ~ ②		3							兼2 兼2	
に関		中国語スタンダード I 3	1 • 2①~②		3							兼2	
す		中国語スタンダード I 4	1 • 2①~②		3							兼2	
る授		中国語スタンダード I 5 中国語スタンダード I 6	1 · 2① ~ ② 1 · 2① ~ ②		3							兼2 兼2	
業		中国語スタンダード 17	1 • 2①~②		3							兼2	- クオーター制移行による変更(29)
科		中国語スタンダードⅡ1	1 • 23 ~ 4		3							兼2	
目		中国語スタンダードⅡ2 中国語スタンダードⅡ3	1 · 2③~④ 1 · 2③~④		3							兼2 兼2	
		中国語スタンダードⅡ4	1 · 23~4		3							兼2	
		中国語スタンダードⅡ5	1 • 23~4		3							兼2	
		中国語スタンダードⅡ6 中国語スタンダードⅡ7	1 · 23 ~ 4 1 · 23 ~ 4		3							兼2 兼2	
		平日品 ハグング・「エブ	1 20 0		ľ							兼2	
		中国語ベーシックⅡ	1 · 23 ~ 4		3							兼1	教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
1		コミュニケーション・中国語 A	1 · 2①~②		2							兼1	
1		コミュニケーション・中国語B	1 • 2①~②		2							兼1	
1		コミュニケーション・中国語 C	1 • 2①~②		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
1		コミュニケーション・中国語 D	1 • 23~4		2							兼1	
		コミュニケーション・中国語E	1 • 23~4		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		コミュニケーション・中国語 F	1 • 23~4		2							兼1	
		コミュニケーション・中国語G	1 • 23~4		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		コミュニケーション・中国語H	1 • 23~4		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		コミュニケーション・中国語 J 上海語演習	1 · 23 ~ 4 1 · 23 ~ 4		2 2							兼1 兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		上海品次目 中国語セミナーA	1 • 2①~②		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		中国語セミナーB	1 • 2①~②		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		中国語セミナーC 中国語セミナーD	1 · 23 ~ 4 1 · 23 ~ 4		2 2								教育課程の充実のため、科目を追加(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		中国語セミナード	1 • 2(1)~(2)		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		中国語セミナーL	1 • 23~4		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		朝鮮語インテンシブI	1 · 2①~② 1 · 2③~④		4							兼2 **2	
		朝鮮語インテンシブⅡ 朝鮮語スタンダードⅠ	1 · 2(1)~(2)		3							兼3 兼1	٦
		朝鮮語スタンダード II	1 • 23~4		3							兼1	
		朝鮮語スタンダード I 1 朝鮮語スタンダード I 2	1 · 2①~② 1 · 2①~②		3							兼1 兼1	
		朝鮮語スタンダート12	1 · 2①~② 1 · 2①~②		3							兼1	_ クオーター制移行による変更(29)
		朝鮮語スタンダードⅡ1	1 • 23~4		3							兼1	
		朝鮮語スタンダードⅡ2	1 • 23 ~ 4		3							兼1 #1	
		朝鮮語スタンダードⅡ3 朝鮮語ベーシックⅡ	1 · 23 ~ 4 1 · 23 ~ 4		3							兼1 兼1	
		コミュニケーション・朝鮮語A	1 • 2①~②		2							兼1	
		コミュニケーション・朝鮮語B	1 • 2①~②		2							兼1 #1	
		コミュニケーション・朝鮮語 C コミュニケーション・朝鮮語 D	1 · 23 ~ 4 1 · 23 ~ 4		2 2							兼1 兼1	
		朝鮮語セミナーA	1 • 2①~②		2							兼1	
			未開講		0							# 1	仕=#の+- は (20)
		朝鮮語セミナーB スペイン語スタンダード I	1 · 23 ~ 4 1 · 21 ~ 2		3							兼1 兼1	休講のため(29)
		スペイン語スタンダードⅡ	1 • 23 ~ 4		3							兼1	
		スペイン語スタンダード田	1 · 2①~②		1							兼1 #1	
		スペイン語スタンダード™ スペイン語ベーシック II	1 · 23 ~ 4 1 · 23 ~ 4		3							兼1 兼2	
		コミュニケーション・スペイン語A	1 • 2①~②		2							兼1	
		コミュニケーション・スペイン語B	1 • 23 ~ 4		2							兼1	
		スペイン語セミナーA	未開講 1・2①~②		2							兼1	隔年開講のため(29)
		スペイン語セミナーB	1 • 21 ~ 2		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		イタリア語スタンダード I イタリア語スタンダード II	1 · 2③~④ 1 · 2③~④		1								教育課程の充実のため、科目を追加(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(20)
		イタリア語スタンダードⅢ イタリア語スタンダードⅢ	1 · 23 ~ 4		1								教育課程の充実のため、科目を追加(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		イタリア語スタンダードⅣ	1 · 23~4		1							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		イタリア語ベーシック Ⅱ	1 • 2③~④		3							兼2 兼1	教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
			未開講		-								
		イタリア語セミナーA イタリア語セミナーB	1 · 23 ~ 4 1 · 23 ~ 4		2								隔年開講のため(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		インドネシア語ベーシックⅡ	1 · 23~4		3							兼1	WILLIAM (FA)
•	•	- '	•	-	•	. '	•		. '	, ,			ı.

				単	位数	数			員等				
科区		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助 教	助手		備考
教養教育に関する授業科目	初修外国語	外国語セミナーB外国語セミナーC外国語セミナーB外国語セミナーE外国語セミナーF古代エジプト神聖文字文 A古代エジプト神聖文字文 B古代ローマ帝国ラテン語 A	1 · 2 · 2 · 2 · 2 · 1 · 2 · 2 · 2 · 2 ·		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	カリキュラム構成の見直しによる変更(29)
В	健	古代ローマ帝国ラテン語B 古典古代ギリシア語A 古典古代ギリシア語B	1 · 2 · 3 · 4(4) 1 · 2 · 3 · 4(3) 1 · 2 · 3 · 4(4) 1 · 2 · 3 · 4(1)(2)(3)(4)		1 1 1							兼1 兼1 兼1 兼18 兼10 教	在 L の 弘田 ナ 古 は フ よ は 、
	康・スポー	健康スポーツ科学実習 I 健康スポーツ科学実習 I (ソフトポール) 健康スポーツ科学実習 I (野外活動) 健康スポーツ科学実習 I (剣道)	1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4③④		1 1 1 1							兼1 兼1 兼1	育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
	ッ	健康スポーツ科学実習Ⅱ(ゴルフ) 健康スポーツ科学実習Ⅱ(バレーボー ル)	1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4①②		1							兼1	当教員の変更(29)
		健康スポーツ科学実習Ⅱ(スキーⅠ)	1 • 2 • 3 • 434		1							兼7	育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		健康スポーツ科学実習Ⅱ(スキーⅡ) 健康スポーツ科学実習Ⅱ(トレーニン グ) 健康スポーツ科学実習Ⅱ(バドミント	1 · 2 · 3 · 4 ③ ④ 1 · 2 · 3 · 4 ③ ④ 1 · 2 · 3 · 4 ① ② ③ ④		1 1 1							兼6 兼1 兼1	育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		企成・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・	1 • 2 • 3 • 434		1							兼1 兼6	
		健康スポーツ科学講義	1 • 2 • 3 • 41234		2							兼5 教	育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
	情	情報処理概論AI ᡮ起処理概論A#	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼1	
	,	情報処理概論 A II 情報機器操作入門	1 · 2 · 3 · 434		2							兼1 兼7 兼8 担	当教員の変更(29)
	ラシー	情報教育論 情報リテラシー ネットワーク機器操作入門	1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4①②		2 2 2							兼1	育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		情報リテラシー概論 基礎情報論	1 · 2 · 3 · 4 ③ ④ 1 · 2 · 3 · 4 ① ② 1 · 2 · 3 · 4 ① ~ ②		2 2 2								育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 目区分の変更(29)
		室に目れ端 UNIXリテラシー演習	1 · 2 · 3 · 4(3)(4)		2							兼3	日位月00多丈(20)
		コンピュータ基礎演習 プログラミング基礎演習	1 · 2 · 3 · 4 ① ② 1 · 2 · 3 · 4 ③ ④		2 2							兼3 科	目の廃止(29) 目の廃止(29)
		コンピュータセキュリティ入門	1 • 2 • 3 • 4①②		2								育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
	新潟大	地域を探る	1 • 2 • 3 • 434		2							兼10 兼9 教 兼2	育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
	個性化	キャリアデザイン キャリア形成 近世越後諸地域の歴史と社会 食と健康の科学	1 · 2 · 3 · 4①2 1 · 2 · 3 · 4①2 1 · 2 · 3 · 4③4 1 · 2 · 3 · 44		2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼7 教	育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
	田	新潟の農林業 新潟産業フィールドワーク 土と水 比較地域社会学	1 · 2 · 3 · 4(3) 1 · 2 · 3 · 4(2) 1 · 2 · 3 · 4(4) 1 · 2 · 3 · 4(1)~(2)		6 2 2							兼2 教 兼14 教	育課程の充実のため、科目を追加(29) 育課程の充実のため、科目を追加(29) 育課程の充実のため、科目を追加(29) 育課程の充実のため、科目を追加(29)
		地域から文化を考える 地域に生きる思想 ボランティア開発論 I	1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4①②		2 2 2							兼1 教 兼1 科 兼1	育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 目の廃止(29) 当教員の変更(29)
		ボランティア開発論Ⅱ	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1 兼2 担	当教員の変更(29)
		ダブルホーム活動演習	1・2・3・4③④ 未開講		2							兼4 兼3 教	育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		コミュニティ・インターンシップ 学校フィールドワーク	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434		2 2							兼2	講のため(29)
		学校フィールドワーク A 学校フィールドワーク B	1 · 2 · 3 · 4① ~ ② 1 · 2 · 3 · 4① ~ ②		2							兼2 兼2	カリキュラム構成の見直しによる変更(29)

					位数				員等	の酉	置	
科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	由由	教授	准教授	講師	助 教	助手	備考
(養教育に関する)	一大学個	考える華の冒険 新潟から考える雪の科学と文化 新潟での企業理念と経営戦略 新潟地域研究 文化財と歴史で探る地域の社会と文化Ⅲ 平和を考える A 平和を考える B 平和を考える B (平和を考える in 新 ョン	1 · 2 · 3 · 43 · 4 1 · 2 · 3 · 41 · 2 1 · 2 · 3 · 42 · 4 1 · 2 · 3 · 42 1 · 2 · 3 · 43 · 4 1 · 2 · 3 · 41 · 2 1 · 2 · 3 · 41 · 2 1 · 2 · 3 · 43 · 4 1 · 2 · 3 · 43 · 4		2 2 2 2 2 2 2 2			1 1				兼1科目区分の変更(29)兼1教育課程の充実のため、科目を追加(29)兼1教育課程の充実のため、科目を追加(29)兼2教育課程の充実のため、科目を追加(29)兼4兼6兼2科目名の変更、担当教員の追加(29)
授業科目		キャリアを共に考える-自己理解・他者理解 キャリア意識形成と自己成長 異文化と技術 研究者の仕事と生活 ユーザのための数学 文字文化論	1 · 2 · 3 · 4①2 1 · 2 · 3 · 4③④ 1 · 2 · 3 · 4③④ 1 · 2 · 3 · 4③④ 1 · 2 · 3 · 4①2 未開講 1 · 2 · 3 · 4③④		2 2 1 1 2			1				兼1 兼6 兼5 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼1 兼3 担当教員の変更(29) 兼1 兼4 休講のため(29)
		社会とキャリア選択A 社会とキャリア選択B 大学生のための役に立つ育児学 日本手話A	1 · 2 · 3 · 4①2 1 · 2 · 3 · 4③4 1 · 2 · 3 · 4③4 1 · 2 · 3 · 4①2		2 2 1 2							兼4 兼2 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼1 兼2 担当教員の変更(29) 兼1 兼3 担当教員の変更(29)
		日本手話B トキをシンポルとした自然再生 International Relations in the Asia- Pacific The China-Japan-US Trilateral Relations シンガポール・スプリングセミナー 中国留学準備講座 サマーセミナー総合	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 412 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 412		2 2 2 2 2 2							兼4 兼9 兼7 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼1 兼1 兼1 兼1
		編 韓国サマースクール I 韓国サマースクール II 韓国サマースクール II 共生社会論 多文化共生社会体験 in AUSTRALIA II 多文化共生社会体験 in AUSTRALIA II	1 · 2 · 3 · 43 ④ 1 · 2 · 3 · 43 ④ 1 · 2 · 3 · 43 ④ 1 · 2 · 3 · 41 ② 1 · 2 · 3 · 43 ④ 1 · 2 · 3 · 43 ④ 未開講 1 · 2 · 3 · 41 ②		2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		表現プロジェクト演習D 表現プロジェクト演習F 表現プロジェクト演習G 表現プロジェクト演習H 表現プロジェクト演習I 表現プロジェクト演習J	1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4③~④ 1 · 2 · 3 · 4③④ 1 · 2 · 3 · 4③④ 1 · 2 · 3 · 4①② 未開講		2 2 2 2 2 2							兼1 休講のため(29) 兼2 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼2 兼1 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼1 兼1
		表現プロジェクト演習 N 表現プロジェクト演習 P 表現プロジェクト演習 Q 表現プロジェクト演習 T 表現プロジェクト演習 U シンガポール・スプリングセミナー準備	1 · 2 · 3 · 4 ③ 4 末開講 1 · 2 · 3 · 4 ① 4 1 · 2 · 3 · 4 ① 4 1 · 2 · 3 · 4 ③ 4 1 · 2 · 3 · 4 ③ 4 1 · 2 · 3 · 4 ③ 4		2 2 2 2 2 2							兼1 休講のため(29) 兼2 休講のため(29) 兼2 兼1 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼1 兼2 兼1
		講座 朱鷺・自然再生フィールドワーク 北京サマーセミナー I 北京サマーセミナー II 北京サマーセミナー II カナダ・サマーセミナー I カナダ・サマーセミナー I リーダーシップ基礎演習	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 41 ~ 2 1 · 2 · 3 · 41 ~ 2 1 · 2 · 3 · 41 ~ 2		1 2 2 2 2 2 2 2							兼5 兼3 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼2 兼2 兼2 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		リーダーシップ実践演習 台湾スプリングセミナー I 台湾スプリングセミナー I 地理情報システム (GIS) 概論・演習 グローバルコミュニケーション A グローバルコミュニケーション C	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 41 1 · 2 · 3 · 41 1 · 2 · 3 · 43		2 2 2 2 2 1 1		3 3 1	2 2 1				兼2 兼1 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼2 兼1 兼1 東1

	_			単	位数	汝	専任		員等	∮O]	配置	
科区		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	備考
教養		感情と表象	1 • 2 • 3 • 434		2							兼13 兼10 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
教育に	個	地理情報システム(GIS)概論・応用演習 森・里・海フィールド実習	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434		2		1	1		1		兼2 兼1 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼6 担当教員の変更(29)
関 す	性化科	中国語学特殊講義	1 • 2 • 3 • 434		2							兼2 兼1 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
る授業	目	日本文化入門 1 日本文化入門 2	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 41~2		2 2							兼8 兼7 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
科 目		ピアサポート入門	1 • 2 • 3 • 434		2							兼2 兼1 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		ダブルホーム活動入門	1・2・3・4①② 未開講		2							兼4
		ICT活用と価値の情報化A	1 • 2 • 3 • 4 1 2		1							兼1 休講のため(29) 兼2
		ICT活用と価値の情報化B 1・2年生対象 長期・企業実践型プログ ラム I	1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4②		1 2							兼1 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 兼3 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		1・2年生対象 長期・企業実践型プログラムⅡ Chinese Politics and Diplomacy	1 · 2 · 3 · 4① ~ ② 1 · 2 · 3 · 4① ~ ②		2							兼3 教育課程の充実のため、科目を追加(29)兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		Development of Environmental Policies of Japan	1 · 2 · 3 · 4①~②		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		HSK(漢語水平考試) 受験対策講座 I HSK(漢語水平考試) 受験対策講座 II Japanese Experiences from Various	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4 1 · 2 · 3 · 43 ~ 4 1 · 2 · 3 · 41 ~ 2		2 2 2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼4 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		Perspectives Regionalism in the Asia-Pacific Region	1 · 2 · 3 · 4①~②		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		The North and the South over the Environment and Development	1 · 2 · 3 · 4① ~ ②		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		アクティブラーニング I アクティブラーニング II アクティブラーニング III	1 · 2 · 3 · 4 1 2 3 4 1 · 2 · 3 · 4 1 2 3 4 1 · 2 · 3 · 4 1 2 3 4		2 2							兼1 兼1 兼1
		アクティブラーニング A アクティブラーニング B	1 · 2 · 3 · 4① 1 · 2 · 3 · 4②		1							兼1 カリキュラム構成の見直しによる変更(29) 兼1
		アクティブラーニング C オックスフォード大学英語研修	1 · 2 · 3 · 4② 1 · 2 · 3 · 4③~④		2							兼1 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		パフォーマンスの外国語 ファシリテーション入門 A ファシリテーション入門 B	1 · 2 · 3 · 4① ~ ② 1 · 2 · 3 · 4① ~ ② 1 · 2 · 3 · 4③ ~ ④		2 2 2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		フィリピンALLC英語研修 メンタルヘルスを考える	1 · 2 · 3 · 4(1)~(2) 1 · 2 · 3 · 4(3)~(4)		4							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		レーザー工学 海外フィールド体験	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4 1 · 2 · 3 · 41 ~ 2		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		開発途上国の環境と開発:事例研究 国際開発協力論:「開発」とは何か I	1 · 2 · 3 · 4① ~ ② 1 · 2 · 3 · 4① ~ ②		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		国際開発協力論:「開発」とは何かⅡ 国際開発協力論:「開発」とは何かⅢ 新聞を体験する一新潟日報との連携授業	1 · 2 · 3 · 4③ ~ ④ 1 · 2 · 3 · 4① ~ ② 1 · 2 · 3 · 4① ~ ②		2 2 2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		_ 人類共同体のための国際環境政策学	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		西洋カリグラフィー A 西洋カリグラフィー B 税のしくみから社会を考える	$1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4(3)$ $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4(4)$ $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4(2)$		1 1 2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼2 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		中東イスラーム言語文化入門電気電子工学	1 · 2 · 3 · 4①~② 1 · 2 · 3 · 4①~②		2 2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		日本と外国人 変遷する社会課題と私たち〜科学技術と	1 · 2 · 3 · 4① 1 · 2 · 3 · 4③		1 2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼3 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	切	地球環境 留学生と考える日中交流史 日本語A	1 • 2 • 3 • 41 ~ 2		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 つ
	学生	日本語B 日本語C	1 • 2 • 3 • 4①② 1 • 2 • 3 • 4①②		1 1							兼1 兼1
	本	日本語 D 日本語 E 日本語 F	1 • 2 • 3 • 4①② 1 • 2 • 3 • 4③④		1 1							兼1 兼1 カオーター制移行による変更(29)
	Ħ	日本語 G 日本語 H	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434		1 1 1							兼1 兼1 兼1
		JLPT-N1 A JLPT-N1 B	1 · 2 · 3 · 4① 1 · 2 · 3 · 4②		1							兼2 兼2
		JLPT-N1 C JLPT-N1 D	1 · 2 · 3 · 4(3) 1 · 2 · 3 · 4(4)		1							兼2 兼2
		N 2作文A N 2作文B	1 · 2 · 3 · 4① 1 · 2 · 3 · 4②		1							兼2 兼2

				単	位数	女			員等	の配	置		
科区		授業科目の名称	配当年次	必	選	白-	教授	准教授	講	助!	助		備 考
2	\J			修	択	由	授	授	師	教	手		
教	留	N 2作文C	1 • 2 • 3 • 43		1							兼2	
養	学	N 2作文D	1 • 2 • 3 • 44		1							兼2 	
教		N 2 聴解 A N 2 聴解 B	1 · 2 · 3 · 4① 1 · 2 · 3 · 4②		1							兼1 兼2	
育		N 2聴解C	1 • 2 • 3 • 4(3)		1							兼1	
に関	科	N 2 聴解 D	1 • 2 • 3 • 44		1							兼2	
す	目	N 2読解 A	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼1	
る		N 2読解B	1 • 2 • 3 • 42		1							兼2	
授		N 2読解 C	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
業		N 2読解D	1 • 2 • 3 • 44		1							兼2	
科		N 3 作文 A	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼2	
目		N 3 作文 B N 3 作文 C	1 · 2 · 3 · 4② 1 · 2 · 3 · 4③		1							兼2 兼2	
		N3作文D	1 • 2 • 3 • 4(4)		1							兼2	
		N3聴解A	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼1	
		N3聴解B	1 • 2 • 3 • 42		1							兼2	
		N3聴解C	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
		N3聴解D	1 • 2 • 3 • 44		1							兼2	
		N3読解A	1 · 2 · 3 · 4①		1							兼1	
		N 3読解B	1 • 2 • 3 • 42		1							兼1 ±1	
		N 3 読解 C N 3 読解 D	$1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 43$ $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 44$		1							兼1 兼1	
		N 4 作文 A	1 • 2 • 3 • 4(1)		1							兼2	
		N4作文B	1 · 2 · 3 · 42		1							兼2	
		N 4作文C	1 • 2 • 3 • 43		1							兼2	
		N 4作文D	1 • 2 • 3 • 44		1							兼2	- クオーター制移行による変更(29)
		N4聴解A	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼1	
		N4聴解B	1 • 2 • 3 • 42		1							兼2	
		N4聴解C	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
		N 4 聴解 D N 4 読解 A	1 · 2 · 3 · 4 4 1 · 2 · 3 · 4 1		1							兼2 兼1	
		N 4読解B	1 • 2 • 3 • 4②		1							兼1	
		N 4読解C	1 • 2 • 3 • 4(3)		1							兼1	
		N4読解D	1 · 2 · 3 · 44		1							兼1	
		旭町日本語1A	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼1	
		旭町日本語1B	1 • 2 • 3 • 42		1							兼1	
		旭町日本語 1 C	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
		旭町日本語 1 D	1 · 2 · 3 · 44		1							兼1	
		旭町日本語2A	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼1 #1	
		旭町日本語2B 旭町日本語2C	1 · 2 · 3 · 4② 1 · 2 · 3 · 4③		1							兼1 兼1	
		旭町日本語2D	1 • 2 • 3 • 4(4)		1							兼1	
		漢字・語彙A	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼2	
		漢字・語彙B	1 • 2 • 3 • 42		1							兼2	
		漢字・語彙C	1 • 2 • 3 • 43		1							兼2	
		漢字・語彙D	1 • 2 • 3 • 44		1							兼2	
		社会人としての日本語・作文A	1 · 2 · 3 · 4①		1							兼1	
		社会人としての日本語・作文B	1 • 2 • 3 • 42		1							兼2 * 1	
		社会人としての日本語・作文 C 社会人としての日本語・作文 D	1 · 2 · 3 · 4③ 1 · 2 · 3 · 4④		1							兼1 兼2	
		社会人としての日本語・作文日社会人としての日本語・作文日	1 • 2 • 3 • 4(1)		1							兼1	
		社会人としての日本語・作文F	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
		社会人の日本語・オーラルコミュニケー	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼1	
1		ション 集中日本語 0.4	1 - 0 - 0 44		F							#0	
		集中日本語 O A 集中日本語 O C	1 · 2 · 3 · 4① 1 · 2 · 3 · 4③		5 5							兼6 兼6	
		集中日本語 0 C 集中日本語 1 A	1 • 2 • 3 • 4(3)		2							兼3	
		集中日本語 1 B	1 • 2 • 3 • 4(2)		2							兼3	
		集中日本語 1 C	1 • 2 • 3 • 43		2							兼5	
		集中日本語 1 D	1 • 2 • 3 • 44		2							兼3	
		日本事情グローバル	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼1	
		日本事情社会系A	1 • 2 • 3 • 43 ~ 4		2							兼5 #1	
		日本事情人文系 A : 現代日本の政治と経 済	1 • 2 • 3 • 4①		1							兼1	
		府 日本事情人文系C:現代日本の歴史と文	1 • 2 • 3 • 43		1							兼1	
		化	_										
		日本東陸(立る5	未開講 1・2・3・4①②③④		0							金の	仕= 準のため (20)
1		日本事情人文系B 日本事情自然系A	1 · 2 · 3 · 4(1)(2)(3)(4)		2		2	3	1	1			休講のため(29) 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
1777 447		ロ本事情目	1 · 2 · 3 · 4(1)(2)		2		2	J	1	-	-	兼2	がロエツ別木と回めるため、秋貝を追加(49)
授教業養	自然	基礎数学AI	1 • 2 • 3 • 4 1 2		2		1						科目の廃止(29)
科教目育	科	基礎数学AI	1 • 2 • 3 • 434		2			4					科目の廃止(29)
10	学	基礎数学B-I	1 • 2 • 3 • 412		2		4						科目の廃止(29)
関す		基礎数学日里	1 • 2 • 3 • 434		2			4					科目の廃止(29)
。 る		基礎数理AI	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼5 * c	
		基礎数理AⅡ	1 • 2 • 3 • 434		2 2							兼5 	数を課程の本実のもめ、利用を治療/20V
I		基礎数理B	1 • 2 • 3 • 43	l	4			ļ	ļ	- 1		水り	教育課程の充実のため、科目を追加(29)

				単	位数				員等	の面	置		
科区		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准教叔	講師	助教	助手		備考
±4-	_	代数・幾何の数理	1 • 2 • 3 • 4(1)(2)	_	2		1	按			Ť		
教養	自然						1						
養教育	科学	数学の世界 極微の世界	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 412		2		2 1	2				1	旦当教員の変更(29)
育	+	物質の世界	1 • 2 • 3 • 4(1)(2)		2		1						
に関		物理学への招待A	1 • 2 • 3 • 4①②		2			1					
す		物理学への招待B	1 • 2 • 3 • 434		2		4						旦当教員の変更(29)
る 授		物理学基礎実験	1 • 2 • 3 • 4(1)(2)(3)(4)		2		1	1		2		兼3 兼1 割	教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
業		化学実験	1 • 2 • 3 • 412		2			-		_			料目の廃止 (29)
科		生物学一動物A一	1 • 2 • 3 • 434		2			1					
目		生物学ー細胞・分子A- 生物学ー生物多様性A-	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434		2		1			2			
		生物学一種物A一	1 • 2 • 3 • 4(1)(2)		2		1	1		2			
								3					
		生物学実験 I 地球と気象	1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4③④		2		5	1 1		4		兼2	教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		地球と気象 地学C(マグマと火山)	1 • 2 • 3 • 4(3)(4)		2			'				兼2	
		地学E(地球理解の諸相)	1 • 2 • 3 • 434		2			1					
		地学概論A	1 • 2 • 3 • 4①2③④		2		1					兼1	
		地学概論B 地学実験A	1 · 2 · 3 · 4(3)(4) 1 · 2 · 3 · 4(1)(2)		2		1					兼1	
		地学実験B	1 · 2 · 3 · 4①②		2		1	2					旦当教員の変更(29)
		地学実験 C	1 • 2 • 3 • 434		2		4	1					旦当教員の変更(29)
		数理基礎演習 I 数理基礎演習 I	1 · 2 · 3 · 4(1)(2) 1 · 2 · 3 · 4(3)(4)		1								料目の廃止(29) 料目の廃止(29)
		数理を促視する グリーンケミストリー入門	1 • 2 • 3 • 434		2		2	2				3K - 1	年日の廃止 (29)
		基礎雪氷学	1 • 2 • 3 • 4①②		2		1	2				兼1	
		生活の化学	1 · 2 · 3 · 434		2		1						
		社会を支える有機化学 DNA入門	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434		2 2		1					#	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		自然科学基礎実験	1 · 2 · 3 · 4①~②		2		5	6		4		- I	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		地質学の基礎	1 • 2 • 3 • 43~4		2		1						教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		考える葦の冒険 伽田労振会	1 • 2 • 3 • 434		2		1						科目区分の変更(29)
		物理学概論 コンピュータへの招待	1 · 2 · 3 · 4(3)~(4) 1 · 2 · 3 · 4(1)(2)		2		1						教育課程の充実のため、科目を追加(29) 科目の廃止(29)
		高福祉社会を支える「生活支援工学」入	1 • 2 • 3 • 412		2								料目の廃止 (29)
		門										兼9	
		最先端技術を支える化学 I	1 • 2 • 3 • 4①②		2								教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		生活を支える化学技術-化学工学への招	1 • 2 • 3 • 412		2							兼3	
		待一 エレクトロニクスへの招待	1 • 2 • 3 • 4 1 2		2							兼9 和	科目の廃止(29)
		エレクトロニクス入門	1 • 2 • 3 • 412		2								斗目の廃止(29)
		くらしと環境 ノミしを表える機械システルで競	1 · 2 · 3 · 4(1)(2) 1 · 2 · 3 · 4(3)(4)		2 2							兼14 兼14	斗目の廃止(29)
		くらしを支える機械システム工学 機能材料化学概論	1 • 2 • 3 • 434		2								斗目の廃止(29)
		材料科学概論	1 • 2 • 3 • 43		2							兼15	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	人	ビジネス書道入門	1 • 2 • 3 • 4①2③4		2							兼1 #1	4
	文社	フランスの歴史と文学 フランス語オプショナルA	$1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 $ $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 $ $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 $ $1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 $		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
	会	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	未開講		-)IK .	
	• 教	ロシア語オプショナルA	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1 化	木講のため(29)
	育	中国語オプショナルA	未開講 1・2・3・4①②		2							華1 4	木講のため(29)
	科学	朝鮮語オプショナルA	1 · 2 · 3 · 434		2							兼1	(Cary 05 / 2 05 / 2 0)
	7	演劇入門	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1	
		応用情報論 辛よ辛寒をあるる利益的教養	1 - 2 - 3 - 41 ~ 2		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		音と音楽をめぐる科学的教養 音楽(ピアノ)	1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4①~②		2 2							兼1 兼 1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		音楽(作曲)	1 • 2 • 3 • 43 ~ 4		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		音楽日	1 · 2 · 3 · 4①②		2							兼1	
		音楽F	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1 	
		音楽R	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1 兼2 月	旦当教員の変更(29)
		外国語アネックス A	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1	
		外国語アネックスB	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1	カリキュラム構成の見直しによる変更、 「科目区分(初修外国語へ)の変更(29)
		外国語アネックス C	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1	
		感性学	1 - 2 - 3 - 412		2								科目の廃止 (29)
		基礎情報論	1・2・3・4①2 未開講		2							# 1 1	科目区分の変更(29)
		技術日本語演習	大州神 1 • 2 • 3 • 412		2							兼2	木講のため(29)
		宮崎アニメにおける文明と自然	1 • 2 • 3 • 43		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		教養の心理学 現代思想論	1 · 2 · 3 · 4①② 1 · 2 · 3 · 4③④		2							兼1 兼1	
		現代社会と科学技術	1 · 2 · 3 · 4(4)		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
. !					1 1			l	1 1	,			

				単	位	数				の画			
科区		授業科目の名称	配当年次	必修	選切	自由	教妈	准教	講師	助教	助手		備考
		現代社会論	1 • 2 • 3 • 4(1)(2)	1135	2	H	ÍΖ	授	Pili	叙	7	兼1	
教養	人文	TO / N +C 24 N-5 77	1 • 2 • 3 • 43 ~ 4		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
教	社	国際教養演習	1 · 2 · 3 · 4①~②		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
育	会 •	社会学とは何か	未開講 1・2・3・4①②		2							- 華1	休講のため(29)
に関	教		1 · 2 · 3 · 44		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
す	育科	社会学的思考法	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼1	
る	学	宗教思想史入門	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1	**
授業		少数民族の言語と文化 心と社会	1 · 2 · 3 · 4(1)~(2)		2 2							兼1 兼1	
科		心の科学	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼1	
目		心の科学入門	1 • 2 • 3 • 4①		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		心の哲学 心理学	1 · 2 · 3 · 4(3)~(4) 1 · 2 · 3 · 4(1)(2)		2 2							兼1 兼1	
		心理学概論	1 • 2 • 3 • 4 ① ②		2							兼1	
		人間学入門	1 • 2 • 3 • 43		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		人間関係論 人文系フロンティア	1 · 2 · 3 · 43 1 · 2 · 3 · 42		2							兼1 兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		人文系プロンティア 人文系展開科目A	1 • 2 • 3 • 4(1)		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		人文系展開科目B	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		人文系展開科目で	1 · 2 · 3 · 4①		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		人文系展開科目 D 人文系展開科目 E	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4 1 · 2 · 3 · 41 ~ 2		2 2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		人文系展開科目F	1 · 2 · 3 · 4①~②		2							Sile .	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
			未開講										(I = t = 1 , 1 , (00)
		人文社会情報論 人文超域科目 C	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 43 ~ 4		2 2								休講のため(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		八天超域村日日	未開講		2							NK I I	教育体性の元夫のため、科白を追加(29)
		人文超域科目D	1 • 2 • 3 • 434		2							兼5	隔年開講のため(29)
		西洋文化研究演習A	未開講 1・2・3・4①②		2							兼 1	隔年開講のため(29)
		西洋文化研究演習B	1 • 2 • 3 • 4①		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		西洋文学LI	1 • 2 • 3 • 4① ~ ②		2 2							兼1 #1	
		西洋文学 L Ⅱ 対人行動の心理学	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		7.7.7.7.3.00 B.E.1	未開講		_							JIK .	
		知識のパルナッソス論	1 2 3 4 1 2		2								休講のため(29)
		哲学への招待 哲学演習	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434		2 2							兼1 兼1	
		哲学入門	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4		2							兼2	
			未開講		_								// =# a / // (00)
		日本近代文学 D 日本近代文学 F	$1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 $		2 2								休講のため(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
			未開講		_								
		日本古典文学K	1 • 2 • 3 • 4 1 2		2							兼1	休講のため(29)
		日本古典文学N	未開講 1・2・3・43/4		2							兼 2	休講のため(29)
		日本語教育I一A	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼1	11.00
		日本語教育I-B	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1	
		日本語教育Ⅱ-A	未開講 1・2・3・4①②		2							兼 1	隔年開講のため(29)
			未開講										
		日本語教育II一B 日本文化史	$\frac{1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 434}{1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 41}$		2								隔年開講のため(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		1 本人记文	1 2 3 40		_							兼1	教育体性の元夫のため、行台を追加(23)
		日本文化論	1 • 2 • 3 • 434		2								担当教員の変更(29)
		日本文化論演習B	未開講 1 • 2 • 3 • 434		2							垂1	休護のため(29)
		日本文化論演首 B 乳幼児心理学	1 · 2 · 3 · 434		2							兼 1	
		認知と行動	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼1	
		紛争の心理学 文学 D	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434		2							兼1 兼1	
		文学・対象を表現である。	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		平家物語と琵琶語り	1 · 2 · 3 · 42		2							兼1	教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		領域融合·超域科目A	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼1 兼9	担当教員の変更(29)
		領域融合·超域科目B	未開講 1・2・3・434		2							兼1	休講のため(29)
		領域融合・超域科目C	1 • 2 • 3 • 41 ~ 2		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		領域融合・超域科目E	1 • 2 • 3 • 434		2							兼1	休講のため(29)
		領域融合・超域科目G	未開講 1 • 2 • 3 • 434		2							兼5	休講のため(29)
		領域融合・超域科目 I	未開講 1 • 2 • 3 • 4③④		9							並 1	休講のため(29)
		領域融合・超域科目 J	1 · 2 · 3 · 4(3)(4)		2								休講のため(29) 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		領域融合・超域科目N	1 • 2 • 3 • 4①		2								教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		-	-	-	•	. !	-	•	•	•	. '	-	· •

科区	目分	授業科目の名称	配当年次	単必修	位数選切	自		¥ 准 教 授	講	助	助		備考
教	_		1 · 2 · 3 · 4(1)(2)	修	択 2	由	授	授	師	教	手	兼	1 2 担当教員の変更(29)
養教	社	領域融合·超域科目Q	1 • 2 • 3 • 43 ~ 4		2							兼	1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
育に	会	倫理学入門 臨床心理学	1 · 2 · 3 · 4① ~ ② 1 · 2 · 3 · 4① ~ ②		2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 2 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
関	教育	臨床心理学入門	未開講 1 • 2 • 3 • 434		2							*	1 休講のため(29)
する	科学	歴史学A	1 · 2 · 3 · 4①~②		2								9 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
授業	7	歴史学 C 歴史学 D	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4 1 · 2 · 3 · 41 ~ 2		2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
科			未開講										
目		歴史学G 歴史学 I	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 412		2							兼兼	1 休講のため (29) 1
		歴史学K	未開講 1 • 2 • 3 • 4③④		2							兼	1 休講のため(29)
		歴史学P	1 · 2 · 3 · 4①~②		2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		歴史学Q	未開講 1・2・3・4③④		2							兼	1 休講のため(29)
		歴史学S 歴史学V	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 43~4		2 2							兼	1 1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		歷史学W	1 • 2 • 3 • 4 1 2		2							兼	4 科目の廃止(29)
		和漢混淆文の文学世界 教養を考える	1 · 2 · 3 · 44 1 · 2 · 3 · 41 ~ 2		2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 3 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		教養教育としての教育学入門 現代芸術入門	1 · 2 · 3 · 43 1 · 2 · 3 · 41 ~ ②		2 2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		生命論パラダイムからの美術教育	1 • 2 • 3 • 4①~②		2							兼	1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		美術史	1・2・3・4③④ 未開講		2							兼	1
		芸術論入門	1 • 2 • 3 • 4(1)2		2								4 休講のため(29)
		リーガル・システムA	1 • 2 • 3 • 4①②		2								9 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		リーガル・システムB	1 • 2 • 3 • 4①②		2								9 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		日本国憲法B 日本国憲法D	1 · 2 · 3 · 4①2 1 · 2 · 3 · 4③④		2 2							兼兼	
		日本国憲法	1・2・3・4① 未開講		2							兼	2
		特殊講義(戦後政治)	1 • 2 • 3 • 434		2								1 隔年開講のため(29)
		特殊講義(ITと法と経済) 特殊講義(コンプライアンス)	1 · 2 · 3 · 4①~② 1 · 2 · 3 · 4①~②		2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		特殊講義(再生手続) 特殊講義(手形小切手法)	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4 1 · 2 · 3 · 43 ~ 4		2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		税法入門	未開講 1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼	1 休講のため(29)
		まちづくり論入門	未開講 1 • 2 • 3 • 4③④		2							兼	4 休講のため(29)
		アジア経済入門	1・2・3・4①② 未開講		2							兼	1
		ロシア政治経済入門	1 • 2 • 3 • 434		2								4 休講のため(29)
		ゲーム理論への招待 ことばと言語学への誘い	1 · 2 · 3 · 43 1 · 2 · 3 · 41 ~ 2		1 2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		ユーロ圏経済入門 映画を通じた社会の諸相	1 · 2 · 3 · 43 ~ 4 1 · 2 · 3 · 42		2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		英語で学ぶマーケティングの基礎	1 • 2 • 3 • 42		1							兼	1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		英語で学ぶ企業分析入門 英語による経済数学	1 · 2 · 3 · 4② 1 · 2 · 3 · 4③~④		1 2								1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		英語による入門マクロ経済学	1 · 2 · 3 · 43		2							兼	1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		組織マネジメント論 組織行動論入門	1 • 2 • 3 • 43		1							兼	
	匠	日本の市民社会と市民運動 医学序説 I	1 · 2 · 3 · 4(4) 1 · 2 · 3 · 4(1)(2)		2							兼兼	
	歯	医学序説Ⅱ 健康と医学	1 · 2 · 3 · 4③④ 1 · 2 · 3 · 4③④		2							兼兼	
			未開講										
		メディカルサイエンス 生命倫理	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434		1 1							兼兼	1 休講のため (29) 1
		医事法制 社会保険	1 · 2 · 3 · 434 1 · 2 · 3 · 434		1							兼兼	
		病院管理学	1 • 2 • 3 • 434		1							兼	1
		医療と画像技術	1 • 2 • 3 • 434		2							兼兼	
		医学と医療の歴史	1 • 2 • 3 • 434		2							兼兼	7 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29) 0
		ケアの基本理念と実際 先端医科学研究概説	1 · 2 · 3 · 4③④ 1 · 2 · 3 · 4①②		2							兼兼	4 担当教員の変更(29) 1
		元 [・]	1 • 2 • 3 • 4 ① ②		2							兼	

				単	位数	友	専信	£教	員等	の酉	己置	
科区		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	備 考
教養	医歯	医療と法	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼8 兼7 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
教養教育	学	医療ボランティア論	1 • 2 • 3 • 434		1							兼4 兼2 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
に関		顏	1 • 2 • 3 • 434		2							兼8 兼3 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
する		健康福祉学入門	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼13 兼14 担当教員の変更(29)
授業		新潟発福祉学	1 • 2 • 3 • 434		2							兼9 兼7 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
科目		「食べる」	1 • 2 • 3 • 4①②		2							兼11 兼10 教育上の効果を高めるため、教員を追加(29)
		医学論文を読む(ジャーナルクラブ)A 医学論文を読む(ジャーナルクラブ)B	1 · 2 · 3 · 4① ~ ② 1 · 2 · 3 · 4③ ~ ④		2							兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29) 兼1 教育課程の充実のため、科目を追加(29)
		インターネットテュートリアル	1 • 2 • 3 • 41 ~ 2		1							兼4 教育課程の充実のため、科目を追加(29)

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼O」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	i	设置	置時	寺 σ.	計	画			変	Ē	更	牞	t	況	備	考
必	修	選	択	自	由	計	(A)	必	修	選	択	自	由	計	1 / 用	5
	科目		科目		科目		科目		科目	;	科目	;	科目	科目		
	4		323				327		6		575			581		
								[2]	[2	52]	[]	[254]		

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 []内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目滅の場合: \triangle 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	コミュニケーション・フランス語C	2	1 · 2①~②	一般	選択	休講、代替措置無
2	朝鮮語セミナーB	2	1 - 23~4	一般	選択	休講、代替措置無
3	スペイン語セミナーA	2	1 · 2①~②	一般	選択	隔年開講、代替措置無
4	イタリア語セミナーA	2	1 - 23~4	一般	選択	隔年開講、代替措置無
5	コミュニティ・インターンシップ	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
6	文字文化論	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
7	表現プロジェクト演習D	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
8	表現プロジェクト演習N	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
9	表現プロジェクト演習P	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
1 0	ICT活用と価値の情報化A	1	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
1 1	日本事情人文系B	2	1 - 2 - 3 - 41234	一般	選択	休講、代替措置無
1 2	ロシア語オプショナルA	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
1 3	中国語オプショナルA	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
1 4	技術日本語演習	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
1 5	社会学とは何か	2	1 • 2 • 3 • 412	一般	選択	休講、代替措置無
1 6	人文社会情報論	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
1 7	人文超域科目D	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	隔年開講、代替措置無
1 8	西洋文化研究演習A	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	隔年開講、代替措置無
1 9	知識のパルナッソス論	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
2 0	日本近代文学D	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
2 1	日本古典文学K	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
2 2	日本古典文学N	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
2 3	日本語教育Ⅱ-A	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	隔年開講、代替措置無
2 4	日本語教育Ⅱ-B	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	隔年開講、代替措置無
2 5	日本文化論演習B	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
2 6	領域融合·超域科目B	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
2 7	領域融合·超域科目E	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
2 8	領域融合・超域科目G	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
2 9	領域融合·超域科目 I	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
3 0	臨床心理学入門	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
3 1	歴史学G	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
3 2	歴史学K	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
3 3	歴史学Q	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
3 4	芸術論入門	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
3 5	特殊講義(戦後政治)	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	隔年開講、代替措置無
3 6	税法入門	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	休講、代替措置無
3 7	まちづくり論入門	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
3 8	ロシア政治経済入門	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無
3 9	メディカルサイエンス	1	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	休講、代替措置無

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	コンピュータ基礎演習	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
2	プログラミング基礎演習	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
3	地域に生きる思想	2	1 • 2 • 3 • 4112	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
4	基礎数学AI	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
5	基礎数学AⅡ	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
6	基礎数学B I	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
7	基礎数学BⅡ	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
8	化学実験	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
9	数理基礎演習 I	1	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
1 0	数理基礎演習Ⅱ	1	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
1 1	コンピュータへの招待	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
1 2	高福祉社会を支える「生 活支援工学」入門	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
1 3	エレクトロニクスへの招待	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
1 4	エレクトロニクス入門	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
1 5	くらしと環境	2	1 · 2 · 3 · 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
1 6	機能材料化学概論	2	1 • 2 • 3 • 434	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
1 7	感性学	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無
1 8	歴史学W	2	1 • 2 • 3 • 4①②	一般	選択	カリキュラム構成の見直し、代替措置無

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目及び廃止科目については、教養教育に関する授業科目の見直しの中で科目新設等も行っているため、教育の質は確保できている。 なお、学生に対しては、ガイダンス・シラバス等において周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 57
 =
 17.43
 %

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 =
 327
 =
 17.43
 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分					内					容			備考
(1)		区	分		専	Я	1	共	用		共用する 学校等の	他の)専用		Ē	†	
+*		校台	宇敷 地	<u>t</u>		639,	774 m ²		0	m²			m [*]		639, 774 m ²	
校		運動	場用地	ļ		95,	834 m ²		0	m²		0	mi		95, 834 m ²	
地		小	計	-		735,	608 m ²		0	m²		0	m²		735, 608 m ²	大学全体
等		そ	の他	ļ.		5, 479,	319 m ²		0	m²		0	m²	5,	479, 319 m²	
J		合	計	-		6, 214,	927 m ²		0	m²			mi	6,	214, 927 m ²	
					専	月	1	共	用		共用する 学校等の			Ē		
(2) 校			舎			266,	693 m ²		0	m²		0	mi		266, 693 m²	大学全体
					(266,	693 m	า๋)	(0 m	ว์) (0 m ²) (266, 6	93 m³)	
				講	義室		演習	室	実験	実習室	情報	処理学習	冒施設	語学	学習施設	+
(3) 教		室	等		11	9室		157室		1, 387			28室			大学全体
										-	(補助	職員			(4) (4)	
(4) 専	任教	員研究	室				f設学部等					室		数		
						- 1	理学部					8	7		<u>室</u>	
(5)	亲	折設学者	部等	[3			学術発	Г	あっい		一 視聴り	覚資料	機械・器	具	標本	
(5)		の名		しつ	ち外国書〕	₩	〔うち外	国 書 」 種		ャーナル		点		点	Æ	
[VV]				1 618 1	94 (589, 53		42, 757 [外国書〕 〔12, 207〕		16, 562	2	958	点 24, 776	
書・		理学	部		194 (589, 536		42, 737 (2: 12, 757 (2:			[12, 207]		6, 562)	(3, 9		(24, 776)	「機器・器具」, 「標本」 以外は, 大学全体
設備					94 (589, 53		42, 757 [2			[12, 207]	+	16, 562		958	24, 776	
פחע		計			194 (589, 536		12, 757 (2:			[12, 207]		5, 562)	(3, 9		(24, 776)	
				(1,712,	面		責	, , , ,		座 席 数	(,,	収		ļ	冊数	大学全体
(6) 図		書	館			1	<u> </u>		风兄	主 师 奴		12	NA -J	нь	33	八子主体
							18, 721	m [*]		:	2,034 席			1,	522, 000 m	
			*		面	Ŧ	責			体育館以	外のスァ	ポーツ旅	設の概要			
(7) 体		育	館				5, 651	m [*] 武道場, ボール=		易,野球場, 等場,水泳	サッカー プール. M	ー・ラグビー場, テニス 〒全・匡坦		ニスコー	-ト, バレー	
			Σ	Σ	分	開設	と年度	完成年度				前年度	開設年	变	完成年度	
(8)			教員 1	人当り	研究費等		千円	Ŧ	· 円 図i	書購入費		千円	=	千円	千円	
経費の 積り及	兄	積り	共 同	研 3	克 費 等		千円	Ŧ	- 円 設備	購入費		千円	=	千円	千円	
維持方の概	i法			第	1 年次	第	2年次	第:	3 年次	第4	年次	第	5 年次	角	第6年次	
		要と「人」の「おして人」の「おとなべ」の第3年の				千円		千円		千円		千円				
		学生	納付金	以外の約	維持方法の	概要										

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	新	温 大	学						備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
人文学部	年	人	年次	人		倍		新潟市西区	
人文学科	4	225	3年次 6	912	学士(文学)	1. 03	平成22年度	五十嵐2の 町8050番地	
教育学部			0		学士			同上	
学校教員養成課程	4	220	_	880	(教育学)	1.03	平成20年度		
学習社会ネットワーク課程	4	-	-	-	(人間科学)	_	平成10年度		平成29年度より 学生募集停止
生活科学課程	4	-	-	-	(生活科学)	_	平成20年度		平成29年度より
健康スポーツ科学課程	4	_	_	-	(健康スポーツ科学)	_	平成10年度		学生募集停止 平成29年度より
芸術環境創造課程	4	-	-	-	(芸術)	_	平成10年度		学生募集停止 平成29年度より 学生募集停止
法学部					学士(法学)			同上	于工券未行工
法学科	4	180	3年次 5	730		1. 03	平成16年度		
経済学部			3		学士(経済学)			同上	
経済学科(昼間コース)	4	160	3年次 10	660		1. 02	平成6年度		
経済学科(夜間主コース)	4	25	-	100		1.00	平成6年度		
経営学科(昼間コース)	4	105	3年次 5	430		1. 07	平成6年度		
経営学科(夜間主コース)	4	15	_	60		1. 08	平成6年度		
理学部					学士 (理学)			同上	
理学科	4	200		820		1. 08	平成29年度		
数学科	4	-		-		-	平成6年度		平成29年度より 学生募集停止
物理学科	4	-	0 = 1	-		-	平成6年度		子生券未停止 平成29年度より 学生募集停止
化学科	4	-	3年次 10	-		_	平成6年度		平成29年度より
生物学科	4	-		_		_	平成6年度		学生募集停止 平成29年度より
地質科学科	4	-		-		_	平成6年度		学生募集停止 平成29年度より
自然環境科学科	4	-		-		-	平成6年度		学生募集停止 平成29年度より 学生募集停止
医学部					学士			新潟市中央	<u> </u>
医学科	6	122	2年次	753	(医学)	1.00	昭和26年度	留町/3/留	
保健学科			5					地 新潟市中央	
看護学専攻	4	80	0.5-15	320	(看護学)	1. 01	平成11年度	区旭町通 2 番町746番	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 20	160	(保健学)	1.00	平成11年度		
検査技術科学専攻	4	40	学科共 通	160	(保健学)	1.00	平成11年度		
				40 学科共通					
歯学部				子件共进				新潟市中央	
歯学科	6	40		260	(歯学)	1.00	昭和40年度	区学校町通 2番町5274	
口腔生命福祉学科	4	20	5 3年次 6	92	(口腔保健福祉学)	1. 02	平成16年度		

既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開設年度	所 在 地	
工学部				-		学士(工学)	但则华		新潟市西区	
工学科	4	530			2160		1. 03	平成29年度	五十嵐2の 町8050番地	
機械システム工学科	4	_			_		-	平成10年度		平成29年度より
電気電子工学科 電気電子工学科	4	_			_		-	平成10年度		学生募集停止 平成29年度より
情報工学科	4	-			_		-	平成10年度		学生募集停止 平成29年度より
福祉人間工学科	4	_	3年次		_		-	平成10年度		学生募集停止 平成29年度より
トレッシステム工学科 化学システム工学科	4	_	20		_		-	平成6年度		学生募集停止 平成29年度より
建設学科	4	-			_		-	平成元年度		学生募集停止 平成29年度より 学生募集停止
機能材料工学科	4	_			_		-	平成10年度		字生券集停止 平成29年度より 学生募集停止
農学部						学士 (農学)			同上	于工务未行工
農学科	4	175	5		720		1. 06	平成29年度		
農業生産科学科	4	-	3年次		_		-	平成3年度		平成29年度より 学生募集停止
応用生物化学科	4	-	10 学部共		_		-	平成3年度		平主募条停止 平成29年度より 学生募集停止
生産環境科学科	4	-	通		_		-	平成3年度		デエタ系で 平成29年度より 学生募集停止
創生学部						学士(学術)			同上	7 = 3 × 11 =
創生学修課程	4	65	5		260		1. 09	平成29年度		
大学の名称	新	潟 大	学 大	: 学	院					備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
		定員	定員		容員人		定員	開 設 年 度		
教育学研究科	年限	定員	定員		員		定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
教育学研究科修士課程	年	定 員	定員		員	は称号	定員 超過率	年 度	同上	
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻	年限 年	定 員 人 -	定員		員		定員 超過率	昭和59年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 教科教育専攻	年	定 員 人 -	定員		<u>員</u> 人	は称号 修士(教育学)	定員 超過率	年 度	同上	平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 教科教育専攻 専門職学位課程	年限 年 2 2	定 員	定 員 年次 - - -		<u>員</u> 人	は称号	定員 超過率 倍 - -	年 度 昭和59年度 昭和59年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 教科教育専攻 専門職学位課程 教育実践開発専攻	年限 年	定 員	定 員 年次 - - -		<u>員</u> 人	は称号 修士(教育学)	定員 超過率 倍 - -	昭和59年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 教科教育専攻 専門職学位課程 教育実践開発専攻 現代社会文化研究科	年限 年 2 2	定 員	定 員 年次 - - -		<u>員</u> 人	は称号 修士(教育学)	定員 超過率 倍 - -	年 度 昭和59年度 昭和59年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 教科教育専攻 専門職学位課程 教育実践開発専攻 現代社会文化研究科 博士課程 (前期2年の課程)	年限 年 2 2	上 人	定 員		員 人 - - 30	は称号 修士(教育学) 教職修士(専門職)	定員 超過率 倍 - - 1.16	年 度 昭和59年度 昭和59年度 平成28年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学校教育專攻 教科教育專攻 專門職学位課程 教育実践開発專攻 現代社会文化研究科 博士課程	年限 年 2 2	上 人	定 員		<u>員</u> 人 - - - 20	は称号 修士(教育学)	定員 超過率 倍 - -	年 度 昭和59年度 昭和59年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 教科教育専攻 専門職学位課程 教育実践開発専攻 現代社会文化研究科 博士課程 (前期2年の課程) 現代文化専攻	年限 年 2 2 2	定 - - - 15	定 員		員 人 - - 30 20 40	は称号 修士(教育学) 教職修士(専門職) 修士(文学),修士(学術) 修士(文学),修士(学術) 修士(法学),修士(行	定員率 倍 - - 1.16	年 度 昭和59年度 昭和59年度 平成28年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 教科教育専攻 専門職学位課程 教育実践開発専攻 現代社会文化研究科 博士課程 (前期2年の課程) 現代文化専攻 社会文化専攻	年限 2 2 2 2	定 員 人 一 一 18 10 20	定 員		員 人 - - 30 20 40 20	は称号 修士(教育学) 教職修士(専門職) 修士(文学),修士(学術) 修士(文学),修士(学術) 修士(法学),修士(行政学),修士(行政学),修士(経済学),修士	定員率 倍 一 一 1.16 1.35 0.80	年 度 昭和59年度 昭和59年度 平成28年度 平成24年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 教科教育専攻 専門職学位課程 教育等は開発専攻 現代社会文化研究科 博士課程 (前期2年の課程) 現代 文化専攻 社会文化専攻 法政社会専攻	年限 2 2 2 2 2 2	定 - - 10 10	定 員		員 人 - - 30 40 20 40	は称号 修士(教育学) 教職修士(専門職) 修士(文学),修士(学術) 修士(文学),修士(学術) 修士(法学),修士(行 政学),修士(学術)	定員率 倍 一 一 1.16 1.35 0.80 0.35	年 度 昭和59年度 昭和59年度 平成28年度 平成24年度 平成24年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学校教育専攻 専門職等 会文 課程 教育等 専攻 専門職等 会文 課程 現代社課程の専攻 博士課2年の専攻 社会文化専攻 社政 社会 専攻 経済経営専攻	年限 2 2 2 2 2 2	定 - - 10 10	定 員		員 人 - - 30 40 20 40	は称号 修士(教育学) 教職修士(専門職) 修士(文学),修士(学術) 修士(文学),修士(学術) 修士(法学),修士(行政学),修士(行政学),修士(経済学),修士(公共	定員率 倍 一 一 1.16 1.35 0.80 0.35	年 度 昭和59年度 昭和59年度 平成28年度 平成24年度 平成24年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学 教 教 育 専 専 専 教 学 世 教 教 学 世 開 奢 社 課 2 文 文 社 課 2 年 化 中 専 専 政 報 経 第 平 化 会 政 済 経 営 専 攻 と は 当 ま な と は は ま ま な と は は と は は は は は は は は は は は は は は は	年限 2 2 2 2 2 2	定 - - 10 20	定 年		員 人 - - 30 40 20 40	は称号 修士(教育学) 教職修士(専門職) 修士(文学),修士(学術) 修士(文学),修士(学術) 修士(法学),修士(行政学),修士(行政学),修士(経済学),修士(経済学),修士(経営学),修士(経営学),修士(学術)	度員率 倍 - 1. 16 1. 35 0. 80 0. 35 0. 90	年 度 昭和59年度 平成28年度 平成24年度 平成24年度度度度 平成24年度度度度度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学課程 等 す す す な す す な す す な な す で で で で で で で で	年限 2 2 2 2 2 2 3	定 人 - - 10 20 10	定 年		員 人 - - 30 40 20 40	は称号 修士(教育学) 教職修士(専門職) 修士(文学),修士(学術) 修士(文学),修士(学術) 修本(経営学),修士(学術) (経営学),修士(学術) (経営学),修士(学術) (神士(学術) (神子)	定員率 倍 一 一 1.16 1.35 0.80 0.35	年 度 昭和59年度 平成28年度 平成24年度 平成24年年度 平成24年年度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より
教育学研究科 修士課程 学 教 教 育 専 専 専 教 学 世 教 教 学 世 開 奢 社 課 2 文 文 社 課 2 年 化 中 専 専 政 報 経 第 平 化 会 政 済 経 営 専 攻 と は 当 ま な と は は ま ま な と は は と は は は は は は は は は は は は は は は	年限 2 2 2 2 2 2	定 - - 10 20 10 20	定 年		員 人 - - 30 40 20 40 18 21	は称号 修士(教育学) 教職修士(専門職) 修士(文学),修士(学術) 修士(文学),修士(学術) 修本(法学力,修士(行の修文士)、修済学のでは、任意学ののは、任意学ののは、任意学ののは、任意学のは、任意学のは、任意学のは、任意学のは、任意学のは、任意学のは、任意学のは、任意学のは、任意学のは、任意学のは、任意をは、任意学のは、任意をは、任意をは、任意を	度員率 倍 - 1. 16 1. 35 0. 80 0. 35 0. 90	年 度 昭和59年度 平成28年度 平成24年度 平成24年度度度度 平成24年度度度度度	同上	平成29年度より 学生募集停止 平成29年度より

					1	平均入学		I	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定 員	収 容定 員	学位又 は称号	一 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
自然科学研究科								同上	
博士課程 (前期2年の課程) 数理物質科学専攻	2	63	-	120	6 修士(学術), 修士(理学)	0.89	平成22年度		
材料生産システム専攻	2	143	-	28	6 修士(学術),修士(工学)	1.00	平成16年度		
電気情報工学専攻	2	122	-	24	1 修士(学術),修士(工学)	1.06	平成22年度		
生命・食料科学専攻	2	70	-	140) 修士(学術),修士(理 学),修士(農学)	0.89	平成16年度		
環境科学専攻	2	89	-	178	子), 修工(展子)] 修士(学術), 修士(理学), 修士(工学), 修士 (農学)	0. 85	平成22年度		
博士課程 (後期3年の課程) 数理物質科学専攻	3	13	-	3!] 博士(学術),博士(理学)	0. 79	平成22年度		
材料生産システム専攻	3	16	-	48] 博士(学術),博士(工学)	0. 28	平成16年度		
電気情報工学専攻	3	13	-	3	博士(学術),博士(工学)	0. 30	平成22年度		
生命・食料科学専攻	3	13	-	39	 博士(学術), 博士(理 学), 博士(農学)	0. 61	平成16年度		
環境科学専攻	3	15	-	4	5 博士(学術),博士(理学),博士(工学),博士 (農学)	0. 82	平成22年度		
保健学研究科					(AR I /			新潟市中央	
博士課程 (前期2年の課程) 保健学専攻	2	20	_	40	博士(保健学)	0. 97	平成16年度	区旭町通 2 番町746番 地	
博士課程 (後期3年の課程) 保健学専攻	3	6	-	18	修士(保健学)	0. 99	平成19年度		
医歯学総合研究科								新潟市中央	
修士課程					修士(医科学)			区旭町通1番町757番	
医科学専攻	2	20	-	40		0. 67	平成15年度	地	
博士課程 (前期2年の課程)					博士(口腔保健福祉学)			新潟市中央 区学校町通	
口腔生命福祉学専攻	2	6	-	1:	2	0. 58	平成20年度	2番町5274 番地	
博士課程 (後期3年の課程)					博士(口腔保健福祉学)				
口腔生命福祉学専攻	3	3	-	!		1. 22	平成22年度		
博士課程								新潟市中央 区旭町通1	
分子細胞医学専攻	4	22	-	88	博士(医学),博士(学術)	1.04	平成13年度	番町757番地	
生体機能調整医学専攻	4	37	-	148	博士(医学),博士(学術)	1.06	平成13年度	_	
地域疾病制御医学専攻	4	14	-	50	博士(医学),博士(学術)	0. 35	平成13年度		
口腔生命科学専攻	4	28	-	11:	性 (歯学), 博士(学術)	0.97	平成13年度	新潟市中央 区学校町通 2番町5274 番地	
技術経営研究科					技術経営修士(専門			新潟市西区	平成29年度より
専門職学位課程					職)			五十嵐2の 町8050番地	学生募集停止
技術経営専攻	2	-	-	-		_	平成18年度		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C 対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上 の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合,<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理学部>

(1) 担当教員表

		設	置時の言	計 画			変	更 状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	三浦 毅	平成29年4月	解析学基礎 1 解析学序論 A 解析学序論 B 複素解析学 I B 複素解析学 I B 複素解析学 I B 複素解析学 I B 数学講究	09334					
専	教授	羽鳥 理	平成29年4月	集合と位相入門A 集合と位相入門B 実解析学A 位相空間論A 実解析学B 付出空間論B 数学講究 代数・幾何の数理						
専	教授	小島 秀雄	平成29年4月	数学基礎B1 数学基礎B2 生養度B2 代数入門A 代数入門B 代数系IA 代数系IA 代数等請究 くらしと数理						
専	教授	印南 信宏	平成29年4月	数学基礎B1 数学基礎B2 数学基礎B1 線形何学IB 幾何学IB 幾何学IB 数学间究 くらしと数理 基礎数学BI					数学基礎B1 数学基礎B2 数学表键B1 線形代学IB 幾何学IB 幾何学IB 数学间充 数学等IB 数学等IB 数学等IB	科目の廃止 (29)
専	教授	家富 洋	平成29年4月	統計学基礎 1 統計学基礎 2 村学・技術と社会 数理統計学 I A 数理統計学 I B 数理統計学 I B 数理統計学 I B 数要統計学 I B 数要統計学 I B						
専	教授	山田 修司	平成29年4月	理学スタディ・スキルズ 総合カアクティブ・ラーニング 専門カアクティブ・ラーニング 海外研修 海外英語研修 オペレーションズ・リサーチ ブログラミング概論A ブログラミング概論A オペ学講覧 数学講覧 数学の世界						
専	教授	波邊 惠一	平成29年4月	数字基礎 A 1 数字基基礎 A 2 数字基基礎 廣雷 a 数字基基礎 廣雷 a 数字基基礎廣雷 b 微步 (専	教授	山田 修司	平成29年4月	数字基基礎 A 1 数字基基礎 A 2 数字基基礎 漢寶 B 数字基基礎演習 B 数字等基础	科目の廃止(29) 担当教員を変更(29)
専	教授	田中環		最適化数学 A 最適化数学 B 西解析学 A 西解析学 B 数学講究 台湾スプリングセミナー I 台湾スプリングセミナー I						
専	教授	宮田等	平成29年4月	科学・技術と社会 インターンシップ特別演習 課題研究A 課題研究A 課題研究C 課題研究トロニクスA エリ代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 素粒のの世界					科学・技術と社会 インターンフ特別実習 a インターンフ特別実習 b 環題研究A 課題研研究C 課題研究C 課題研究トロニクスA エレ化物理学セミナーA 現現代物理学セミナーB 素粒子の世別 物理学学概 物理学標 物理学概	科目名の変更 (29) 科目名の変更 (29)

		設	置時の	計画			変	更状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	松尾正之	平成29年4月	課題研究 A	兼任	講師	後藤 輝孝	平成29年4月	課題研究A 課題研究B 課題研究C 課題子力学IA 量子力学IA 量子分学IB 計算物理学A 計算物理学A 計算物理学とシナーA 現代物理学セシナーB 原子核物理学 物理学への招待B	担当教員を変更(29)
専	教授	小池 裕司	平成29年4月	物理学基礎BI 課題研究A 課題研究C 課題研究C 課題研究C 量子力学序論と 量子力学序論と 現代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 量子力学Ⅲ 原子核物理学						
專	教授	山田 裕	平成29年4月	課題研究 A 課題研究 B 課題研究 C 電磁 受 I A 電 地理学 x 験 B 物理 物理学 v ミナー A 現代物理学 セミナー B 現代物理学 セミナー B	専専専	准教授 准教授 教授 准教授	西 売一 摂待 力生 石川 文洋 吉森 明	平成29年4月	課題研究 B 課題研究 C 課題研究 C 課題 気学 I A 電磁 気学 I B 物理学実験 B 物理学実験 D 現代物理学セミナー A 現代物理学セミナー B	平成29年1月 山田裕教授死亡のため 平成29年度より担当教員を変更 (29)
専	教授	大野 義章	平成29年4月	物理学基礎A I 課題研究A 課題研究B 課題研究D 課題研究IA 統計力学IIA 統計力学IB 現代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 物性物理学						
専	教授	摂待 力生	平成29年4月	物理学基礎B I 課題研究A 課題研究A 課題研究C 課題研究C 熱力学等 熱力学等 験 A 物理学実験 A 物理学実験 C 現代物理学セミナーA 現代物理学学や物理学学セミナーB 物性物理学					物理学基礎 B I 課題 部 研究 C 課題 部 研究 C 課題 記 学 A 熱 力 理 学 と B 物 理 学 実験 C 物 理 学 実験 C 物 理 学 と ミナー A 現代 物理学 セ ミナー B 物性 物理学 と きナー B 物性 物理学 と きナー B 物性 物理学 と きナー B 物性 物理学 と きナー B 物性 物理学 と きか B を B を B を B を B を B を B を B を B を B	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29)
専	教授	吉森明	平成29年4月	課題研究A 課題研究B 課題研究C 課題研究C 波動とフーリエ解析 規代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 統計力学ⅢA					課題研究A 課題研究A 課題研究C 課題のでの 波動とフーリン解析 現代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 統計力学皿A 物質の世界	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29)
専	教授	大原 謙一	平成29年4月	物理学基礎AI 初理学基礎BI インターンップ特別演習 課題研究A 課題研究C 電磁気学IIA 電磁系幹折 複現代物理学セミナーA 現代物理学セミナナーB 宇宙物理学					物理学基礎 A I 物理学基礎 B I インターンシップ特別実習 b 課題研究 B 課題研究 C 課題研究 C 課題研究 C 関係 W E T B B B B B B B B B B B B B B B B B B	科目名の変更 (29) 科目名の変更 (29)
専	教授	生駒 忠昭	平成29年4月	化学基礎 A 課題研究 A 課題研究 B 量子化学演習 量子化学軍 化学反応論 化学可表語 化学コキウム 台湾スプリングセミナー I 台湾スプリングセミナー I						

		設	置時の	th 🔳			変	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	大鳥 範和	平成29年4月	化学基礎B グリーンケミストリー概説 化学熱力学 課題研究A 球化学統計力学Ⅰ 物理化学演習 化化学統計 化学英語 化学文語						
専	教授	長谷川 英悦	平成29年4月	化学基礎C グリルンケミストリー概説 有機化学 I 課題研究A 課題研究B 有機化学演習 化学英語 化学プロキウム グリーンケミストリー入門					化学基礎C グリーンケミストリー概説 有機化学I 課題研究A 課題研究B 有機化学演習 化学英語 化学英語 化学可コキウム グリーンケミストリー入門 日本事情自然系A	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29)
専	教授	古川和広	平成29年4月	専門カアクティブ・ラーニング グリーンケミストリー概説 生体分子化学 課題研究A 課生化学済電学 生化学済電学 化学英語 化学学コートウム 生活の化学						
専	教授	保野 善博		総合カアクティブ・ラーニング インターンシップ特別演習 課題研究A 課題研究B 有機化学II 有機化学演習 有機化等演習 有機機器所 化学、可キウム 社会を支える有機化学					総合カアクティブ・ラーニング インターンシップ特別実習 b 課題研究A 課題研究日 有機化学演習 有機化学演習 有機化等演習 有機機器 化学英コロキウム 社会を支える有機化学	科目名の変更 (29) 科目名の変更 (29)
専	教授	梅林 泰宏	平成29年4月	科学・技術と社会 課題研究A 課題研究B 溶液化学演習 分析化学I 基礎機器分析 化学英語 化学						
専	教授	内海利男	平成29年4月	生物学基礎東習 生体情報学 網胞生物学 I 動物分子生理学東習 生物学物学演習 網胞壁研究 I (生物学) 課題研究 II (生物学) 生物学〜細胞 生物学・実験 I					生物学基礎東習 a 生体性 # 學	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
専	教授	長東 俊治	平成29年4月	生物学基礎日 生物学基礎実習 b インターンシップ特別演習 生命科学のための基礎化学 基礎生物化学 生物化学 (理) 生物化学(実習 生物学総合演習 生物学総合演習 生物化学演習 生物学等の工(生物学) 課題研究 I (生物学) 生物学実験 I					生物学基礎日 生物学基礎実習 b インターンシップ特別実習 a インターンシップ特別実習 b 生命科学のための基礎化学 基礎生物化学 生物化学 生物化学 生物化学 生物化学 生物学終合演習 生物学終合演習 生物学等 課題研究取 財 生物学文取 自 生物学主 機等 等 等 等 等 等 等 等 等 等 生物学 と 等 と 等 と 等 と 物 等 と 物 等 と 物 等 と 物 等 と 物 等 と 海 る に 等 の に 等 の に 等 の に 等 の に 等 の に 等 の に 等 の に 等 の に 等 の に 等 の に を は の の の に り に り に り に り に り に り と り と り と り と り	科目名の変更 (29) 科目名の変更 (29) 報育課程の充実のため科目を追加 (29)
専	教授	西川 周一	平成29年4月	生物学基礎 A 生物学基礎 要習 b 植物生理学 I I 植物生理学 I 植物生理学 I 植物生理学 I 無關於 資 G 管 等					生物学基礎 A 生物学基礎 B 植物生理学 I 植物生理学 I 植物生理学 I 植物生理学 I 植物生理学 I 经保守 實習 生植物生理学 I 经保守 演習 植物生理学演習 医腿硬死 I (生物学) 生物学实験 I 生物学实験 I 自然科学基礎 実験	教育課程の充実のため科目を追加 (29)

		設	置時の言	th ma				変	更状	況	
専・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年		就任予定年月	担当授業科目名	備考
再	教授	酒井 達也	平成29年4月	生物学基礎実習 a 基礎植物学 I 生物等基礎実習 b 生物英語 I 生物生生物学 I 生物生生物生理学演習 性物生理学演習 性趣物生理学演習 性趣知研究 I (生物学) 誤點超研究 I (生物学) 生物学一植物 A 一生生物学実験 I	専	助教	鈴木	詔子	平成29年4月	生物学基礎実習 a 基礎維物学 ! 生物学 #	担当教員を変更(29)
専	教授	前野 貢	平成29年4月	生物学基礎B 生物学基礎実習 a 科学・技術と社会 インターンプ特別演習 基礎細胞遺伝学 発生生物学生演習 生物学総発生演習 発生生物学の演習 発生生物学の演習 発生生物学、(生物学) 課題研究 I (生物学) 課題研究 I (生物学) 生物学実験 I						生物学基礎B 生物学基礎実習 a 科学・大統合社会 インターンシップ特別実習 b 基礎細胞遺伝 学 発生生物学主学 発生生物学流習 発生生物学流習 発生生物学流習 課題研究1(生物学) 実際1(生物学) 生物学文験 I 生物学主生物学実験 I 自然科学基礎実験	科目名の変更 (29) 科目名の変更 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
専	教授	サティッシュク マール	平成29年4月	地学基礎 A フィールド体験実習 地学英語 岩石学実験 I 膵研究(地質科学) セミナー 論文講法演習 岩石学 C 地史学 A						地学基礎A フィールド体験実習 地学英語 結石学研究・地質科学) セミナ語 決定 動力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
曲	教授	松岡篤	平成29年4月	地学基礎B フィールド体験実習 課題研究(地質科学) セミナー 論文構築演習 古生物学実験 古生物学実験 東アジアの地質形成史 地学疾験 地学疾験 A						地学基礎B フィ題がド体験実習 課本の を を を は を は を り を り を り を り に り に り に り に り に り に り	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
事	教授	豊島 剛志	平成29年4月	安全教育 インタールがは アンドル では のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは						安全教育 インターンシャ マクーンシャ 東晋 カーン・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	科目名の変更(29) 科目名の変更(29)
由于	教授	高澤 栄一	平成29年4月	フィールド体験実習 鉱物で、岩石学入門 岩石学A 岩石学家験 I 課セミナー 論文球洗液質 地球物理学 地球物理学 地球物理学 地学変験 C	専	准教授	高橋	俊郎	平成29年4月	フィールド体験実習 鉱物・岩石学入門 岩石学入 岩石学文験 岩石学文験 課題研究(地質科学) 七論文球院芸 地球物理学 台湾スプリングセミナー I 台湾スプリングセミナー I 地学実験 C	担当教員を変更(29)
専	教授	小西 博巳	平成29年4月	専門カアクティブ・ラーニング 科学・技術と社会 フィールド体験実習 鉱物学A 課題研究(地質科学) セミナー 議 施文購洗演習 鉱物学B 鉱物学B 鉱物等B 鉱物結晶学実験 地球物理学							
専	教授	浮田 基郎	平成29年4月	自然環境科学総論 気候システム論 エネルギー物質科学 数理演習 課題研究(自然環境) C 古古環境学 地理情報システム(GIS)概論・演 習 地理情報システム(GIS)概論・応 用演習 基礎書氷学							

		設	置時の調	計 画	I		変	更状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
<u></u>	教授	酒泉 満	平成29年4月	生物学基礎B 生物学基礎東習 B 多様性生物学B 自然環境科学総論 進化生物学 自然環境科学実験B 1 自然環境科学実験B 2 課題研究(自然環境)B	の別				生物学基礎日 生物学基礎東習 b 多様性生物学 B 自然環境科学総論 追化生物学 追化生物学 自化然環境科学実験 B 1 自然環境科学実験 B 2 環境生物学演習 課題研究(自然環境) B	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29)
専	教授	松岡 史郎	平成29年4月	化学基礎B 自然環境科学総論 自然環境科学実験C1 自然環境科学実験C2 課題研究(自然環境)A 環境分析化学 地球環境化学 グリーンケミストリー入門						
専	教授	宮崎勝己	平成29年4月	環境生物学演習					環境生物学演習 生物学基礎 A 生物学実験 [自然科学基礎実験	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
専	教授	湯川靖彦	平成29年4月	化学基礎B 基礎英語コミュニケーション 実践英語コミュニケーション 科学・技術と社会 自然環境科学総論 物質境汚染論 自然環境科学実験C1 自然環境科学実験C2 課境科学実験C2 環境政策論						
専	教授	副島浩一	平成29年4月	理学スタディ・スキルズ 物理学基礎 A I 物理学基礎 B I 海外研修 海外研修 高格別 東京和学 自然表現 東京和学 自然表現 東京和学 自然表現 東京和学 自然表現 東京 日 会 表現 東京 日 会 表現 東京 日 会 表現 東京 日 会 表 の 大 会 表 の 大 会 大 の と 日 会 大 の 会 、 で も と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と						
専	教授	安東 宏徳	平成29年4月	動物生理学Ⅲ 臨海実習 I 生物学総合演習 内分級で表 I (生物学) 課題研究 I (生物学) 演環境生物学野外 環境生物学野外 実習 C 海洋ウィールド生物学 高系統圏生態学 森系・					系統動物学 動物生理学Ⅲ 臨海実習Ⅱ 臨海実習Ⅲ 臨海実習Ⅳ 生外学学演習 生物学学演習生物学) 演選生生物学 演選填生物学等 演選填生物学等所 演環境生物学野外実習 で海洋フィールド生物学 電景フィールド生物学 不 海環境生態学 本 海洋の世界 新 新 新 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
専	准教授	鈴木 有祐	平成29年4月	数学基礎A1 数学基礎A2 機能形代数IB 代数 幾何学序論A 施散数学A トポロジーA 離散数学B トポロジーB 数学講究						
専	准教授	星明考	平成29年4月	数学基礎A 1 数学基礎A 2 数学基礎B 1 数学基礎B 2 数学字演形数 II A A 代数、系 II B B B B B B B B B B B B B B B B B B					数字基礎A 1 数字基礎A 2 数字基礎B 1 数字基礎B 2 数字字演图 B 经报价等 E B B B B B B B B B B B B B B B B B B	科目の廃止 (29)
専	准教授	蛭川 潤一	平成29年4月	統計学基礎 1 統計学基礎 2 海外外 英語 1 海外 英語 1 確本 1 論 2 位本 1 論 2 例 4 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第						

			設	置時の言	計 画				変	更状	況		
専・兼任別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備	考
一事	准教授	應和	宏樹	平成29年4月	数学基礎 A 2 数数学基礎 A 2 数学基礎 A 2 数 数学 B 2 数 2 数 2 数 3 数 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3						数学基礎 A 1 数学基礎 A 2 数学基礎 海雷 a 数学基礎演習 a 数学基礎演習 b 微分方程式 i B A 微分分方程式 ià B 数学講究 A 微分方程式 ià B 数学講究 A T L L L L L L L L L L L L L L L L L L	科目の廃止(29) 教育上の効果を高 員を追加(29)	めるため担当教
専	准教授	쩱	雪峰	平成29年4月	海外研修 海外疾語研修 安全教育一シップ特別演習 計算機減和 日 財子 1 計算類性がある 対立の対象を がある。 対域がある 対域がある。 対しがも、 対域がある。 がしる。 がしる。 がしる。 がも、 がしる。 がも、 がしる。 がも、 がしる も、 がも、 がし。 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、						海外外 海外外 海外外 東京 南外外 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	科目名の変更(29) 科目名の変更(29)	
専	准教授	中野	博章	平成29年4月	物理学基礎 A II 物理学基礎 B II 専門カアク学 課題研究 A 課題研究 B 課題研究 B 課題研究 D 特殊相対論 B 特殊相対論 B 現代物理学セミナー A 現代物理学セミナー B 現代物理学セミナー B 現代物理学でもます B 平和を考える in 新潟) 研究者の仕事と生活	兼担	准教授	中野	享香	平成29年4月	物理学基礎 A II 物理学基礎 A II 物理学力学 課題研究 A 課題研究 B 課題研究 C 課題研究 D 特殊相対論 P 現代物理学 セミナー A 現代物理学 セミナー B 現代物理学 マ 平和を考える in 平和を考える B 研究 者の仕事と生活	科目名を変更(29) 科目名を変更(29) 担当教員を変更(2	9)
専	准教授	淺賀	岳彦	平成29年4月	物理学基礎A I 物理学基礎B I 課題研究A 課題研究B 課題研究D 量量7カ学II A 量子代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 素粒子物物理学学								
専	准教授	大坪	1 隆	平成29年4月	物理学基礎に C 2 物理学基礎 C C 3 物理学基礎 C C 4 物理学基礎 定 S 2 物理学基礎 実								
専	准教授	 江尻	信司		物理学基礎 C 1 海外英語研修 海外英語研修 解類題研究 A 誤課題研究 B 課題研究 C 以間代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 素粒子物理学学						物理学基礎C 1 海外外で 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	教育上の効果を高 員を追加(29)	めるため担当教
専	准教授	奧西	巧一	平成29年4月	物理学基礎 A II 課題研究 A 課題研究 B 課題研究 C 課題研究 D 統計力学 I A 統計力学 I B 現代物理学セミナー A 現代物理学セミナー B 物性物理学セミナー B								

		設	置時の	計 画			変	更 状	況	
専・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
加 古	准教授	石川 文洋	平成29年4月	物理学基礎集日 I 物理学基礎東習 b 物理学英名 B 課題研究 C 課題研究 C 課題研究 D 物理学東験 B 物理学東較 B 物理学東較 B 物理学東較 B 物性物理学セミナー A 物性物理学 物性物理学 物理学基礎東 物性物理学 物理学基礎東	<i>537</i> ₁₁				物理学基礎 日 I a 物理學 基礎 要 T B a 物理學 基礎 要 T B a B E E E E E E E E E E E E E E E E E	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
専	准教授	早坂 圭司	平成29年4月	物理学基礎 A I 物理学基礎 A I 制理学基礎 B I 課題研究 A 課題研究 B 課題研究 B 課題研究 C 課題研究 D 振動論 と 微分 方程式 物理学 東 験 D I 表 型 で 大 サー A 現代物理学 セミナー A 現代物理学 セミナー B 素和子 物理学						
専	准教授	西 亮一	平成29年4月	物理学基礎 D 課題研研究 B 課題研研究 C 課題研研究 C 課題研研究 C 物理学演習 C 電気 力学 B 現実 クラップ で を関する 物理学 セミナー A 現実 中 物理学 アレミナー B 中 物理学 ファー B					物理基礎 D 課題 型 学 主 会 財	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29)
専	准教授	根本 祐一		基礎ペクトル解析 課題研究A 課題研究B 課題研究C 課題研究D 物理学演習B 物理学演習B 物理学演選B 物理学表験D 現代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 物性物理学						
	准教授	佐藤 敬一		化学基礎楽習 a 化学基礎楽習 b グイル学基礎楽字ミストリー概説 分析化学 I 談題研究 B 分析化学実験 分析化学実 演習 錯体化学 中十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十						
専	准教授	田山 英治	平成29年4月	海外英語研修 課題研究。A 課題研究。B 有機化学実験 有機化学面 化学コロキウム					海外研修 海外英語研修 課題研究A 課題研究B 有機化学実験 有機化学演習 有機化学可 化学口 工 中 工 中 工 中 工 大 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
専	准教授	中馬 吉郎	平成29年4月	理学スタディ・スキルズ 安全教育 族題研究A 族題研究B 生化学演習 生化学演習 生化学コーナウム グリーンケミストリー入門					理学スタディ・スキルズ 安全教育 安全教育 康難研究日 生化学実験 生化学実習 生化学フーギウム グリーンケミストリー入門 自然科学基礎実験	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
	准教授	後藤 真一	平成29年4月	課題研究 A 課題研究 B 無機化学 I 無機化学実験 無機化学演習 放射化学 化学コロキウム グリーンケミストリー入門						
専	准教授	岩本 啓	平成29年4月	化学基礎C 化学基礎実習 a 化学基礎実習 b 課題研究 A 課題研究 B 有機化学演習 有機化学演習 有機化学の 化学コロキウム						

		設	置時の	計画			変	更状		
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
市	准教授	加藤(朗	平成29年4月	生物学基礎 在生物学基礎 海外研 海外研 語師等 基細植物等 組植物等 生物学學理理 I T T T T T T T T T T T T T T T T T T					生物學基礎 A 生物研修 F F F F F F F F F F F F F F F F F F F	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
專	准教授	井筒 ゆみ	平成29年4月	総合力カアクラーニング・ラーニング 専門カアクテテーニング 生物学趣色学 I 生物学趣色学 I 生物 N N N N N N N N N N N N N N N N N N N					総合カアクティブ・ラーニング 専門かデルテーニング 専門か学基礎物学 動物生理学1 生物英語発生物学 動物学生物学演習 発生は物学流習 発生研究1(生物学) 課題研究1(生物学) 実物学・実験 の人 の上 の大 の大 の大 の大 の大 の大 の大 の大 の大 の大	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
専	准教授	岩崎 俊介	平成29年4月	生物学基礎A 生物学基礎実習 b 海外研禁語研解 植物生学II (理) 細胞・遺伝学実習 植物生學了 (生物学) 課題研究 II (生物学) 課類研究 II (生物学)	兼担	准教授	工藤 起来	平成29年4月	生物学基礎 A 生物学基礎 表 语外	担当教員を変更(29)
専	准教授	杉本(健吉	平成29年4月	理学スタディ・スキルズ 生物学基礎B 生物学基礎B 生物学基礎字 動物分子生物学 動物生理学工 生物学社合演習 接種研究 I (生物学) 課題研究 I (生物学)						
専	准教授	栗田裕司		理学スタディット スキルズ 海外外部 所称						
専	准教授	高橋 俊郎	平成29年4月	地質学入門 a 岩石学実験 I 岩石学実験 I 固体地球化学 A 固体地球化学 B 地球化学 B 地学実験 B	兼担	准教授	渡部 直喜	平成29年4月	地質学入門 a 岩石学実験 I 岩石学実験 I 岩石学実験 I 固体地球化学 A 固体地球化学 B 地球化学 P	担当教員を変更(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
専	准教授	植田 勇人	平成29年4月	海外研修 海外英語研修 フィールド体験実習 課題研究(地質科学) セミナー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	専	教授	松岡 篤	平成29年4月	海外研修 海外英語等 フィールド体験実習 課題研究(地質科学) セミ大師 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	担当教員を変更(29)
専	准教授	栗原 敏之	平成29年4月	地学基礎P 総合力アクティブ・ラーニング 地質学入門 b フィールド体験実習 野邦顕研究(地質科学) セミオー 能方生物学 大海洋生物学 地学実験 地学実験 C	専	准教授	高橋 俊郎	平成29年4月	地学基礎B 総合力アクティブ・ラーニング 地合力学入門 b フィールド体験実習 野外裏研究 - 地質科学) セミ文講法演習 古生生物学実験 地史学文 地史字実験 C	担当教員を変更(29)

		設	置時のi	计 画			変	更状	況	
専・兼担・乗の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	准教授	久保田 喜裕	平成29年4月	地学基礎C 資源・環境地質学 自然環境科学総論 課題研究・自然環境)C 卒業論文 水圏・水環境学 地質フィールド実習 地質ジ書論	00,00				地学基礎C 資源:環境地質学 自然環境科学総論 課題研究(自然環境) C 卒業論文 水環境学 地質フィールド実習 地質ソ言論	授業科目の廃止(29)
専	准教授	本田 明治	平成29年4月	環境気象学 自然環境科学総論 地球流体科学実験A2 課題研究(自然環境)C 卒温暖化メカーズム・影響学 環境解析実習 気球と気象 基礎とまる。 電域を関係が実習 地球と気象 基礎						
専	准教授	奈良間 千之	平成29年4月	自然環境科学総論 自然環境科学実験A 1 課題研究(自然環境) C 卒業論故文 存為地形学 地形形析実習 地形形析実習 地理情報システム (GIS) 概論・凉 習 理情報システム (GIS) 概論・応 基礎需氷学						
専	准教授	林 八寿子	平成29年4月	生物学基礎 A 生物学基礎 A 生物学基礎 E B B B B B B B B B B B B B B B B B B					生物学基礎 A 生物学基礎 P A 多樣性生物学 A 多樣性生物學 A 多樣性生物學 A 自然 環境學學 字	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
声	准教授	上井 進也	平成29年4月	生物学基礎 B 総合用で 2 で 2 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3 で 3					生物学基礎 B おアクティブ・ラーニング 中間 P アクティブ・ラーニング 中間 P アクティブ・ラーニング 生物学基礎 東晋 a インターンシップ特別 実習 b 自然 理境科学 定時 B と 環境科学 実験 B 2 環境 生物学野外 実習 B 関境研究 音響 B 医	科目名の変更 (29) 科目名の変更 (29)
				生物学実験 I	兼担	准教授	志賀 隆	平成29年4月	生物学実験 I	担当教員を変更(29)
専	准教授	臼井 聡	平成29年4月	グリーンケミストリー概説 物質反応化学 自然環境科学総論 エネルギー物質科学 自然環境科学実験C1 自然環境科学実験C2 課題研究(自然環境) A						
専	准教授	則末 和宏	平成29年4月	グリーンケミストリー概説 物質大学公論 自然環境科学実験C1 自然環境科学実験C2 環境科学実験C2 標準 発売の 一部では 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で 一部で						
専	講師	小林 健太	平成29年4月	地学基礎 展習 a 地学基礎 展習 a 地学基礎 展習 B b 中学基礎 展習 B b 可 c +						
専	助教	渡辺 一也	平成29年4月	課題研究A 課題研究B 課題研究B 課題研究C 課題研究D 基礎物理学決演習B 現代物理学セミナーA 現代物理学セミナーA 明報対論A 一般相対論B 宇宙物理学						

			設	置時の言	十 画				変	更 状	況		
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 (年	名齡)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年		就任予定年月	担当授業科目名	備	考
=	助教	廣瀬	雄介	平成29年4月	総合カアクティブ・ラーニング 課題研究と 課題研究と 課題研究と 物理学実験と 物理学をまナーA 現代物理学セミナーB 物性物理学 物理学を暴發	兼担	教授	齋藤	正敏		総合カアクティブ・ラーニング 課題研究 B 課題題研究 C 課題理学実験 C 現代物理学セミナー A 現代物理学セミナー B 物性物理学 物理学基礎実験 自然科学基礎実験	担当教員を変更(2 教育課程の充実の (29)	
専	助教	赤津	光洋	平成29年4月	課題研究A 課題研究B 課題研究C 課題研究C 物理学演習A 切り 物理学演習A 現代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 物性物理学						課題研究A 課題研究B 課題研究C 課題研究C 課題研究D 物理学演習A 現代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 物性物理学 物理学基礎実験	教育上の効果を高 員を追加 (29)	めるため担当教
冉	助教	遊佐	洋右	平成29年4月	理学ス研究 A 課題研究 A 課題研究 B 課題研究 B 課題研究 C 課題研究 C 課題研究 D 物理学セミナー A 現代科学 理学セミナー B 素 教理学生 き サータ 表 教理学 基 で で ま か 要 で ま か 要 で ま か 要 で き か ま で き か ま か ま で ま か ま で ま で ま で ま か ま で ま で ま								
専	助教	吉田	賢市	平成29年4月	課題研究A 課題研究B 課題研究C 課題研究C 課年カウ学IA 量子カ学IB 計算物理学A 現代物理学とまナーA 現代物理学セミナーB	専	教授助教	松尾	正之 麻耶	平成29年4月	課題研究A 課題研究B 課題研究C 課題研究C 課年 カウ学 I A 量子カ学 I B 計算物理学A 現代物理学とまナーA 現代物理学セミナーB	平成29年3月 吉田賢市助教造 平成29年度より (29)	職のため 担当教員を変更
中	助教	武智	麻耶	平成29年4月							課題研究A 課題研究B 課題研究C 課題研究C 現代物理学セミナーA 現代物理学セミナーB 自然科学基礎実験	教育上の効果を高 員を追加(29)	めるため担当教
専	助教	三浦	智明	平成29年4月	物理化学実験 量子化学演習 化学コロキウム								
専	助教	大江	一弘	平成29年4月	無機化学実験 無機化学演習 化学コロキウム								
専	助教	伊東	孝祐	平成29年4月	生物学基礎実習 b 生物英語 I 生物英語 I 生物英語 I 生物英語 E 生物学晚台演習 细胞生物学演習 顯題研究 I (生物学) 課題研究 I (生物学)								
串	助教	藤間	真紀	平成29年4月	生物学基礎実習 b 安全教育 I 生体为美元等。 生物美元十级能学实習 生物类 高语						生物学教育 安全教育 生生物英子機能学実習 生生物学為清習 分子生物学演習 分子生物学演習 分子生物学演習 以上生物学) 課題題研学家験 生物学 生物学 生物学	教育上の効果を高 員を追加 (29)	めるため担当教
専	助教	鈴木	詔子	平成29年4月	生物学総合演習 課題研究 I (生物学) 課題研究 II (生物学)						生物学総合演習 課題研究 I (生物学) 課題研究 II (生物学) 生物学実験 I	教育上の効果を高 員を追加(29)	めるため担当教
申	助教	椎野	勇太	平成29年4月	フィールド体験実習 古生物学へ 世質科学) サントで 世質科学) サントで 野外実施済選習 古生物学実験 海洋生物学実験 地史学 A	専	准教授	椎野	勇太		フィールド体験実習 古生物学へ は質科学) サップ (地質科学) サランス (地	平成28年4月 担当教員昇任のた 教育上の効果を高 品を追加(20)	
											20千金妮日	員を追加(29)	07-07-07

		設は	置時の調	計画				変	更状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齡)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
中	助教	藤村 衡至	平成29年4月	生物学基礎実習 a 海外斯修 研修 日本 经						生物学基礎実置 a 海外环修 物学基礎実置 a 海外环修 物学	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
専	助教	石崎 智美	平成29年4月	生物学基礎実習 b 多様性生物学基礎実習 b 自然環境科学終論 自然環境科学実験 B 1 自然環境共享 實現境生物学野外実習 A 課題研究(自然環境) B 卒業論文 生態学 生物学束験 I							
専	助教	安房田 智司	平成29年4月	系統動物学	専	教授	安東	宏徳	平成29年4月	系統動物学	
				臨海実習 I 生物学総合演習 課題研究 I (生物学) 課題研究 II (生物学)	専	助教	飯田		平成29年4月	生物学総合演習 課題研究 I (生物学) 課題研究 II (生物学)	平成28年12月 安房田智司助教退職のため 平成29年度より担当教員を変更 (29)
				海洋生物学実験 環境生物学野外実習B 環境生物学野外実習C フィールド安全論 海洋フィールド生物学実習	専	助教	安東飯田	宏徳		海洋生物学実験 環境生物学野外実習B 環境生物学野外実習C フィールド安全論 海洋フィールド生物学実習	
				系統分類学 水圏生態学 森・里・海フィールド実習	専	教授	安東	宏徳	平成29年4月	系統分類学 水圏生態学 森・里・海フィールド実習	
専	助教	飯田碧	平成29年4月	系統動物学 臨海実習 I 生物学総合演習 内分泌学演習 課題研究 I (生物学) 課題研究 I (生物学) 海洋フィールド生物学実習 系統分類学 水圏生態学							
専	助教	大森 紹仁		内分泌学演習							
専	助教	Malavi Arachchillage Sanjeewa Prabhath Kumara MALAVIARACHCHI	平成29年11月								
兼担	教授	武田 直也	平成29年4月	物理学基礎 A I 物理学基礎 B I						物理学基礎AI 物理学基礎BI 材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	三村 宣治		物理学基礎 B I 高福祉社会を支える「生活支援工 学」入門						物理学基礎BI 高福祉社会を支える「生活支援工学」入門	科目の廃止 (29)
兼担	教授	渡邊登	平成29年4月	平和を考える A 社会学的思考法 技術者倫理・自然環境関連法規						技術者倫理・自然環境関連法規	
兼担	教授	箕口 秀夫		森林再生学 森林保全学 トキをシンボルとした自然再生 朱鷲・自然再生フィールドワーク 森・里・海フィールド実習						技術名画理・自然環境関連法規 森林再生学 森林保全学 トキをシンボルとした自然再生 未養・自然再生フィールドワーク 森・里・海フィールド実習 1・2年生対象 長期・企業実践型 ブログラム I 1・2年生対象 長期・企業実践型 ブログラム I	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	河島 克久	平成29年4月	フィールドワーカーのためのリス クマネジメント実習 フィールド安全論 雪氷防災学 基礎雪氷学							
兼担	教授	崎尾 均	平成29年4月	森林再生学 野生動植物生態学実習 森・里・海フィールド実習							
兼担	教授	中田誠	平成29年4月	卒業論文 水圏・水環境学 温暖化メカニズム・影響学 環境統計学 森林環境論 雪水防災学 野生動植物生態学実習						卒業論文 水園・水環境学 温暖化メカニズム・影響学 環境統計学 森林環境論 雷米防災学 野生動植物生態学実習	授業科目の廃止(29)

		設	置時の言	計 画			3	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	教授	関島 恒夫	平成29年4月	卒業論文 環境統計学 生態系管理演習及び実習 野生動物生態学実習 野生動物生態学 トキをシンボルとした自然再生	37,5					
兼担	教授	永田 尚志	平成29年4月	希少生物保全学 自然再生学実習 里地里山東生学 トキをシンボルとした自然再生 朱鷺・自然再生フィールドワーク 森・里・海フィールド実習	兼担	准教授	岸本 圭子	平成29年4月	自然再生学実習 里地里山再生学 トキをシンボルとした自然再生 朱鷺・自然再生フィールドワーク 森・里・海フィールド実習	担当教員を変更(29)
兼担	教授	井山 弘幸	平成29年4月	考える章の冒険 感性学 知識のパルナッソス論 領域融合・超域科目A					考える董の冒険 感性学 知識のパルナッソス論 領域融合・起域科目A 感情と表象 人文系展開科目A	科目の廃止(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	桑原 聡	平成29年4月	ドイツ語インテンシブ I ドイツ語セミナー C 日本文化入門 1					ドイツ語インテンシブ1 ドイツ語セミナーC 日本文化入門 1 日本文化入門 2 ドイツ語インテンシブ12	クォーター制移行による変更(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼担	教授	齋藤 陽一	平成29年4月	ロシア語ベーシックⅡ 表現プロジェクト演習 J 演劇入門 西洋文化研究演習 A					ロシア語ベーシック II 表現プロジェクト演習 J 演劇入門 西洋文化研究演習 A 西洋文化研究演習 B	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	白石 典之	平成29年4月	地域を探る					地域を探る 人文超域科目 C 領域融合・超域科目 J 歴史学 C	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	鈴木 光太郎	平成29年4月	キャリアデザイン 感情と表象 感性学 認知と行動	兼任	講師	萱場 和彰	平成29年4月	キャリアデザイン 感情と表象 <mark>感性学</mark> 認知と行動	担当教員を変更(29) 科目の廃止(29)
				間域融合・超域科目A 領域融合・超域科目G	兼担	教授	井山 弘幸 (62)	平成29年4月	領域融合・超域科目 A 領域融合・超域科目 G 心の科学入門 人文系展開科目 C 領域融合・超域科目 N	担当教員を変更(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)

		設	置時のi	計 画			変	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	教授	高橋 秀樹	平成29年4月	外国語ベーシック I(5)(文字論)	77,71				<u>外国語ベーシックⅠ(5)(文字論)</u>	クォーター制移行による変更(29)
				外国語スペシャルA					外国語スペシャルA	カリキュラム構成の見直しによる 変更(29)
				外国語スペシャルB					外国語スペシャルB	カリキュラム構成の見直しによる 変更(29)
				外国語スペシャルC					外国語スペシャルC	カリキュラム構成の見直しによる
				外国語セミナーA					外国語セミナー A	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
				外国語セミナーB					外国語セミナーB	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
				外国語セミナーC					外国語セミナー C	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
				外国語セミナーD					外国語セミナーD	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
				外国語セミナーE					外国語セミナーモ	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
				外国語セミナーF					外国語セミナード	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
				ダブルホーム活動演習					ダブルホーム活動演習	変更(29)
				文字文化論 表現プロジェクト演習 F					文字文化論 表現プロジェクト演習 F	
				日本文化入門 1 外国語アネックス A					日本文化入門 1 外国語アネックス A	カリキュラム構成の見直しによる
				外国語アネックスB					外国語アネックスB	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
				外国語アネックスC					外国語アネックス C	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
				人文超域科目D					人文超域科目D	変更(29)
				* ** ********* T					外国語ベーシック I -13a (古典古代ギリシア語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
									外国語ベーシック I-13b (古代 ローマ帝国ラテン語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
										カイスター制移行による科目の追加(29)
										カイスター制移行による科目の追加 (29)
									古代エジプト神聖文字文A	カリキュラム構成の見直しによる
									古代エジプト神聖文字文B	科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる
									古代ローマ帝国ラテン語A	科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる
									古代ローマ帝国ラテン語B	科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる
									古典古代ギリシア語A	科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる
									古典古代ギリシア語B	科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる
									ダブルホーム活動入門	科目の追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
									西洋カリグラフィーA	員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
									西洋カリグラフィーB	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
									歴史学A	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
										(29)
兼担	教授	中村 潔	平成29年4月	音楽R						
兼担	教授	橋本 博文	平成29年4月	地域を探る 平和を考えるA					地域を探る 平和を考えるA	
									人文超域科目C	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									領域融合・超域科目J	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	原直史	平成29年4月	地域を探る					地域を探る	
		.,		近世越後諸地域の歴史と社会					近世越後諸地域の歴史と社会 文化財と歴史で探る地域の社会と	教育課程の充実のため科目を追加
									文化Ⅲ 人文系展開科目D	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
									人文超域科目C	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
									領域融合・超域科目J	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
									歴史学 A	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
									正 文子八	(29)
兼担	教授	番場 俊	平成29年4月	外国語ベーシック I (2) 独語西語露語					<u>外国語ベーシック I (2) 独語西語露</u> 語	クォーター制移行による変更(29)
				ロシア語インテンシブ I	兼任	講師	A. プラーソ ル	平成29年4月	ロシア語インテンシブ I	担当教員を変更(29)
				感情と表象			,,,		感情と表象	
				のである。 ロシア語オプショナルA 感性学					©情と表味 ロシア語オプショナルA 感性学	科目の廃止(29)
				文学D	兼担	教授	井山 弘幸	平成29年4月	文学D	
				領域融合・超域科目 A	水担	我按	开山 加羊	「灰とサギ月	領域融合・超域科目A	担当教員を変更(29)
									外国語ベーシック I -9b (ロシア語) 財団語ベーシック I -10c (ロシア	クォーター制移行による科目の追加(29)
									語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
									ロシア語インテンシブⅡ	教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29)
									ロシア語セミナーA	教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29)
									人文系展開科目C	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									領域融合・超域科目N	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
				l	I					

		設	置時の調	計 画	1			変 更 り	: 況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予完在		備考
兼担	教授	松井 克浩	平成29年4月	ダブルホーム活動演習 平和を考える A 感情と表象 感性学 現代社会論 領域融合・超域科目 A	兼担	教授	井山 弘	幸 平成29年4月	ダブルホーム活動演習 平和を考えるA 感情と表象 感性学 現代社会論 「領域融合・超域科目A	科目の廃止 (29) 担当教員を変更 (29)
									新潟での企業理念と経営戦略 ダブルホーム活動入門 人文系展開科目 C 領域融合・超域科目 N	数育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) (29) (29) (29)
兼担	教授	矢田 俊文	平成29年4月	地域を探る					地域を探る 人文超域科目 C 領域融合・超域科目 J 歴史学 A	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	鈴木 正美	平成29年4月	ロシア語インテンシブⅡ	兼任	講師	A. プラー ル		ロシア語インテンシブⅡ	担当教員を変更(29)
				ロシア語セミナーA 表現プロジェクト演習H	兼担	教授	番場(学 平成29年4月	ロシア語セミナーA 表現プロジェクト演習H ロシア語インテンシブ I	担当教員を変更(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	教授	原田 健一	平成29年4月	表現プロジェクト演習 I 人文社会情報論					表現プロジェクト演習 I 人文社会情報論 応用情報論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	中林 隆之	平成29年4月	地域を探る 地域から文化を考える					地域を探る 地域から文化を考える 人文超域科目 C 領域融合・超域科目 J 歴史学 A 歴史学 D	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) (29)
兼担	教授	石野 好一	平成29年4月	フランス語インテンシブ I フランス語インテンシブ II					フランス語インテンシブ I フランス語インテンシブ I フランス語インテンシブ I 2 フランス語インテンシブ II 2	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼担	教授	堀 竜一	平成29年4月	感情と表象 感性学 日本近代文学D 領域融合・超域科目A	兼担	教授	井山 弘	幸 平成29年4月	感情と表象 <u>感性学</u> 日本近代文学 D 日本近代文学 D 日本近代文学 F 領域融合・超域科目 A 人文系展開科目 C 日本近代文学 F 領域融合・超域科目 N	科目の廃止(29) 担当教員を変更(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	成田 圭市	平成29年4月	アカデミック英語(リーディング) グカデミック英語(ライティング)					アカデミック英語 (リーディング) アカデミック英語 (ライティング) アカデミック英語 R 1 アカデミック英語 R 2 アカデミック英語W	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼担	教授	松沢 伸二	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ) アカデミック英語(ライティン グ)					アカデミック英語(リーディン グ) アカデミック英語(ライティン グ) アカデミック英語R 1 アカデミック英語R 2 アカデミック英語W	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) フォーター制移行による科目の追加(29)
兼担	教授	加藤 茂夫	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ) 基礎英語					アカデミック英語(リーディン グ)。 基礎英語 アカデミック英語R 1 アカデミック英語R 2	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) フォーター制移行による科目の追加(29)
兼担	教授	長谷川 敬三	平成29年4月	くらしと数理	兼担	准教授	伏木 忠	義 平成29年4月		担当教員を変更(29)
									情報教育論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	教授教授	垣水 修 藤林 紀枝		せ学C (マグマと火山)						
		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1	l	<u> </u>		<u> </u>	

			設	置時の調	計 画				変	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏(年	名 齡)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年		就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	教授	篠田	邦彦	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I 健康スポーツ科学実習 I (ゴル	07/31						
					フ) 健康スポーツ科学実習 II (スキー							
					I) 健康スポーツ科学実習Ⅱ(スキー							
					Ⅱ) 健康スポーツ科学実習 Ⅱ (バドミントン)							
兼担	教授	八坂	剛史	平成29年4月	健康スポーツ科学実習Ⅱ(ゴル	兼担	教授	牛山	幸彦	平成29年4月	健康スポーツ科学実習Ⅱ(ゴル	担当教員を変更(29)
					フ) 健康スポーツ科学実習 II (バレー						フ) 健康スポーツ科学実習Ⅱ(バレー	
					ボール) 健康スポーツ科学実習 II (スキー						ボール) 健康スポーツ科学実習Ⅱ(スキー	
					I) 健康スポーツ科学実習 II (スキー						Ⅱ) 健康スポーツ科学実習Ⅱ(スキー	
					Ⅱ) 健康スポーツ科学実習 Ⅱ (トレーニング)						Ⅱ) 健康スポーツ科学実習 Ⅱ (トレーニング)	
兼担	教授	小林 E	出至郎	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I						健康スポーツ科学実習 I	
22					健康スポーツ科学実習Ⅱ (剣道) 健康スポーツ科学講義	兼任	講師	鈴木	秀知	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 II (剣道) 健康スポーツ科学講義	担当教員を変更(29)
兼担	教授教授	佐藤岡村		平成29年4月	芸術論入門 ビジネス書道入門							
末担	秋坛	山山竹	石	十成20年4月	日本文化論							
兼担	教授	横山	知行	平成29年4月	臨床心理学入門						臨床心理学入門 <mark>臨床心理学</mark>	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	松井	賢二	平成29年4月	ダブルホーム活動演習						ダブルホーム活動演習	
					リーダーシップ実践演習 ダブルホーム活動入門						リーダーシップ実践演習 ダブルホーム活動入門	教育課程の充実のため科目を追加
											リーダーシップ基礎演習	(29)
兼担	教授	鈴木	正朝	平成29年4月	リーガル・システムB	兼担	教授	稲田	隆司	平成29年4月	リーガル・システムB	担当教員を変更(29)
					医療と法	兼担	講師	橋口	祐介	平成29年4月	医療と法	担当教員を変更(29)
兼担	教授	渡辺	豊	平成29年4月	リーガル・システムB	兼担	教授	丹羽	正夫	平成29年4月	リーガル・システムB	担当教員を変更(29)
											新潟発福祉学	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	教授	梅津	昭彦	平成29年4月	リーガル・システムA							A C Zem (LV)
兼担	教授	稲田	隆司	平成29年4月	リーガル・システムA	兼担	准教授	大島	梨沙	平成29年4月	リーガル・システムA	担当教員を変更(29)
											リーガル・システムB	教育上の効果を高めるため担当教
兼担	教授	本間	一也	平成29年4月	リーガル・システムA	兼担	准教授	石畝	m+	平成29年4月	リーガル・システムA	員を追加(29) 担当教員を変更(29)
22		1 1.2			医療と法						医療と法	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
兼担	教授	石崎	誠也	平成29年4月	リーガル・システムB						リーガル・システムB	
											日本国憲法	カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加(29)
兼担	教授	沢田	克己	平成29年4月	リーガル・システムA							
兼担	教授	國谷	知史	平成29年4月	リーガル・システムA							
兼担	教授	真水	康樹	平成29年4月	中国留学準備講座 サマーセミ ナー総合編						中国留学準備講座 サマーセミ ナー総合編	
					北京サマーセミナー I 北京サマーセミナー II						北京サマーセミナー I 北京サマーセミナー II	
					北京サマーセミナーⅢ リーガル・システムB	兼担	准教授	稲吉	晃	平成29年4月	北京サマーセミナーII リーガル・システムB	担当教員を変更(29)
兼担	教授	駒宮	中世	平成29年4月	リーガル・システムB	兼担	准教授	神田	典隆	平成29年4月	リーガル・システムB	担当教員を変更(29)
		,,,				No.1E	*E-2X1X	10,000		7,55=0 1 171	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
兼担	教授	田村			リーガル・システムB							
兼担	教授	田中	伸至	平成29年4月	リーガル・システムB 医療と法							
兼担	教授	上村	都	平成29年4月	リーガル・システムB							
兼担	教授	上山	泰	平成29年4月	リーガル・システムA	兼担	講師	牧佐			リーガル・システムA	担当教員を変更(29)
					医療と法	兼担	准教授	栗田	佳泰	平成29年4月		担当教員を変更(29)
44.1-	40 1-		nc.	TI chook is	h + 3 / 1120 = 00						日本事情社会系A	クォーター制移行による科目の追加 (29)
兼担	教授	澤村	明	平成29年4月	まちづくり論入門						まちづくり論入門 新潟産業フィールドワーク	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
											Japanese Experiences from Various Perspectives	(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
											映画を通じた社会の諸相	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
											日本の市民社会と市民運動	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
Щ				<u> </u>	L	<u> </u>	l	<u> </u>		<u> </u>		

		設	置時の言	計 画	I		変	更状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	教授	朱 継征	平成29年4月	中国語スタンダード I 中国語スタンダード II					中国語スタンダード I 中国語スタンダード II	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
									中国語スタンダード I 7	クォーター制移行による科目の追加(29)
									中国語スタンダードⅡ7 中国語スタンダードⅠ3	クォーター制移行による科目の追加(29)
									中国語スタンダードⅡ3	クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追
									中国語スタンタート113	カオーダー制修行による科目の追加(29)
兼担	教授	永井 雅人	平成29年4月	情報処理概論 A I 情報処理概論 A Ⅱ						
兼担	教授	恩田 公夫	平成29年4月	理工英語読解					理工英語読解	
				発展英語					発展英語 アカデミック英語 R 1	クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語R2	加(29) クォーター制移行による科目の追
									基礎英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	教授	辻 照彦	平成29年4月	アカデミック英語(ライティン					アカデミック英語(ライティン	クォーター制移行による変更(29)
				グ) 理工英語読解					グ) 理工英語読解	
				発展英語					発展英語 アカデミック英語 R 1	クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語R2	加(29) クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語W	加(29) クォーター制移行による科目の追
									共通英語	加(29) クォーター制移行による科目の追
****	₩£. 185		T-00-7-10	**************************************					VIII ++- 2.7.5+ // //	חל (29)
兼担	教授	大竹 芳夫	平成29年4月	理工英語読解					理工英語読解 アカデミック英語R1	クォーター制移行による科目の追 加(29)
									アカデミック英語R2	加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
									基礎英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
									発展英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
									ことばと言語学への誘い	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	定方 美恵子	平成29年4月	ケアの基本理念と実際						
兼担	教授	宮坂 道夫	平成29年4月	医学と医療の歴史						
兼担	教授	村松 芳幸	平成29年4月	入門医療英語						
兼担	教授	青木 萩子	平成29年4月	医療ボランティア論						
兼担	教授	小林 恵子		ケアの基本理念と実際						
兼担	教授	小山 千加代	平成29年4月	ケアの基本理念と実際	兼担	教授	内山 美枝子	平成29年4月	ケアの基本理念と実際	担当教員を変更(29)
兼担	教授	大久保 真樹	平成29年4月	情報リテラシー 医療と画像技術					情報リテラシー 医療と画像技術	
									入門医療英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	教授	坂本 信		医療と画像技術					医療と画像技術	
				医療と放射線					医療と放射線 入門医療英語	教育上の効果を高めるため担当教
									医学と医療の歴史	員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	教授	関谷 勝	平成29年4月	ケアの基本理念と実際	兼担	教授	内山 美枝子	平成29年4月	ケアの基本理念と実際	退職により担当教員を変更(29)
				医療と放射線	兼担	准教授	李鎔範		医療と放射線	退職により担当教員を変更(29)
				医療と法	兼担	教授	樋口 宋史	平成29年4月	医療と法	退職により担当教員を変更(29)
兼担	教授	和田 眞一	平成29年4月	医療と画像技術					医療と画像技術	
NA.I	2012	11111	1,74=1 1 7,7	医学と医療の歴史 医療と放射線					医学と医療の歴史 医療と放射線	
									入門医療英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	教授	笹本 龍太	平成29年4月	医療と放射線						
兼担	教授	髙橋 直也	平成29年4月	医療と画像技術						
#10	机工厂	ш <u>ж</u> — +-	亚+00-4-5	医療と放射線						
兼担	教授	岩渕 三哉		ケアの基本理念と実際 医学と医療の歴史					医学と医療の歴由	
兼担	教授	成田 美和子	1 1%425年4月	医学と医療の歴史					医学と医療の歴史 入門医療英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	教授	佐藤 英世	平成29年4月	入門医療英語	兼担	教授	大久保 真樹	平成29年4月	入門医療英語	担当教員を変更(29)
兼担	教授	小山 諭	平成29年4月	医学と医療の歴史					医学と医療の歴史	
				ケアの基本理念と実際					ケアの基本理念と実際 <mark>入門医療英語</mark>	教育上の効果を高めるため担当教
並 把	≯h+ID	生士 医田	亚成20年4月	医学序部 1					医学序部 1	員を追加(29)
兼担	教授	牛木 辰男	平成29年4月	医学序説 I 医学序説 II メディカルサイエンス					医学序説 I 医学序説 II メディカルサイエンス	
				アノイガルリイエンス					メディカルサイエンス	

		設	置時の言	計 画			変	更状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	教授	佐藤 昇	平成29年4月		0239				生命倫理	
				医事法制					医事法制 医学論文を読む (ジャーナルクラ ブ) A 医学論文を読む (ジャーナルクラ ブ) B	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	高塚 尚和	平成29年4月	医療と注					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(20)
兼担	教授	神吉智丈		先端医科学研究概説						
兼担	教授	蔵原 明弘		健康福祉学入門						
兼担	教授	福島 正義		健康福祉学入門						
兼担	教授	大内 章嗣		健康福祉学入門						
兼担	教授	齋藤 功		顔						
				「食べる」						
兼担	教授	小野 和宏	平成29年4月	健康福祉学入門					健康福祉学入門 教養を考える インターネットテュートリアル	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	大島 勇人	平成29年4月	顔						
兼担	教授	山崎 和久	平成29年4月	健康福祉学入門				 		
兼担	教授	山村 健介	平成29年4月	「食べる」	 			 		
兼担	教授	井上 誠	平成29年4月	「食べる」				<u> </u>		
兼担	教授	高橋 英樹	平成29年4月	健康福祉学入門 新潟発福祉学						
兼担	教授	泉健次	平成29年4月	「食べる」						
兼担	教授	早崎 治明	平成29年4月	「食べる」						
兼担	教授	佐伯 万騎男	平成29年4月	「食べる」					「食べる」 インターネットテュートリアル	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	小野 高裕	平成29年4月	「食べる」						
兼担	教授	加藤 景三	平成29年4月	エレクトロニクス入門					エレクトロニクス入門	科目の廃止(29)
兼担	教授	木竜 徹	平成29年4月	数理基礎演習Ⅱ 高福祉社会を支える「生活支援エ 学」入門					数理基礎演習 II 高福祉社会を支える「生活支援 II 学」入門	科目の廃止(29) 科目の廃止(29)
兼担	教授	新田 勇	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学						
兼担	教授	山内健	平成29年4月	化学実験 機能材料化学概論					化学実験 機能材料化学概論 材料科学概論	科目の廃止 (29) 科目の廃止 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	安部 隆	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学						
兼担	教授	山﨑 達也	平成29年4月	コンピュータへの招待					コンピュータへの招待	科目の廃止(29)
兼担	教授	八木 政行	平成29年4月	機能材料化学概論					機能材料化学概論 材料科学概論	科目の廃止(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	牛山 幸彦	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I 健康スポーツ科学実習 I (ゴル						
				フ) 健康スポーツ科学実習 II (スキー						
				I) 健康スポーツ科学実習 II (スキー						
				Ⅱ) 健康スポーツ科学実習Ⅱ (卓球 Ⅰ)						
兼担	教授	青木 俊樹	平成29年4月	最先端技術を支える化学 I						
兼担	教授	阿部 和久	平成29年4月	くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	教授	大河 正志	平成29年4月	高福祉社会を支える「生活支援工学」入門					高福祉社会を支える「生活支援工学」入門	科目の廃止(29)
				エレクトロニクスへの招待					エレクトロニクスへの招待	科目の廃止(29)
兼担	教授	岡崎 篤行		くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	教授	小椋 一夫		エレクトロニクスへの招待					エレクトロニクスへの招待	科目の廃止(29)
兼担	教授	加藤 大介		くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	教授	金子 隆司		最先端技術を支える化学 I						
兼担	教授	兒玉 竜也		最先端技術を支える化学 I						
兼担	教授	佐伯 竜彦		くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止 (29)
兼担	教授	佐々木 重信		エレクトロニクス入門					エレクトロニクス入門	科目の廃止(29)
兼担	教授	佐藤 孝	平成29年4月	異文化と技術 エレクトロニクスへの招待					異文化と技術 エレクトロニクスへの招待 レーザーエ学 電気電子工学	科目の廃止(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加
#1777	#/L 1917	开热 沙土	W # 00 ~ 1 P	具件総仕係を大きてルツ・						(29)
兼担	教授	佐藤 峰夫	平成29年4月	最先端技術を支える化学 I						

		設	置時の調	計 雨	1		変	更状	況	1
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	教授	清水 忠明	平成29年4月	異文化と技術 生活を支える化学技術-化学工学 への招待-	U) Aij					
兼担	教授	新保 一成	平成29年4月	エレクトロニクスへの招待					エレクトロニクスへの招待	科目の廃止(29)
兼担	教授	鈴木 孝昌	平成29年4月	異文化と技術					異文化と技術	THE OF 1 (00)
*+-	数 +型	鈴木 敏夫	双齿20年4月	エレクトロニクスへの招待 最先端技術を支える化学 I					エレクトロニクスへの招待	科目の廃止(29)
兼担	教授教授	田中 孝明		一般能材料化学概論					機能材料化学概論	科目の廃止(29)
									材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	田邊 裕治		くらしを支える機械システム工学						
兼担	教授	谷口 正之	平成29年4月	機能材料化学概論					機能材料化学概論 材料科学概論	科目の廃止(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	坪井 望	平成29年4月	物理学基礎実験					物理学基礎実験 材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	土井 希祐	平成29年4月	くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	教授	中野 敬介	平成29年4月	コンピュータへの招待					コンピュータへの招待	科目の廃止(29)
兼担	教授	西村 伸也	平成29年4月	くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	教授	林 豊彦	平成29年4月	日本手話A日本手話B技術日本語演習						
兼担	教授	福井 聡	平成29年4月	エレクトロニクス入門					エレクトロニクス入門	科目の廃止(29)
兼担	教授	藤澤 延行	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学						
兼担	教授	前田 義信	平成29年4月	数理基礎演習 I					<u>数理基礎演習 I</u>	科目の廃止(29)
兼担	教授	牧野 秀夫	平成29年4月	コンピュータへの招待					コンピュータへの招待	科目の廃止(29)
兼担	教授	山際 和明	平成29年4月	生活を支える化学技術-化学工学への招待-						
兼担	教授	山田 寛喜	平成29年4月	コンピュータへの招待					コンピュータへの招待	科目の廃止(29)
兼担	教授	松原 幸治	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学						
兼担	教授	岡 徹雄	平成29年4月	基礎数理AI 基礎数理AI エレクトロニクス入門					基礎数理A I 基礎数理A II エレクトロニクス入門 異文化と技術	科目の廃止 (29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29)
兼担	教授	平元 和彦		くらしを支える機械システム工学						
兼担	教授教授	金 熙濬		生活を支える化学技術-化学工学への招待- 基礎数理A I					基礎数理 A I	
			1 199,25 - + 173	基礎数理AⅡ					基礎数理AII 基礎数理B	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	青戸 等人	平成29年4月	コンピュータへの招待					コンピュータへの招待	科目の廃止(29)
兼担	教授	泉宮 尊司		くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	教授教授	山田 宜永		グローバル防災・復興学 トキをシンボルとした自然再生	兼担	准教授	杉山 稔恵	平成29年4月	トキをシンボルとした自然再生	担当教員を変更(29)
兼担	教授	城 斗志夫	平成29年4月	「食べる」						
兼担	教授	末吉邦		グローバル防災・復興学						
兼担	教授	西海 理之	平成29年4月	「食べる」						
兼担	教授	高橋 能彦	平成29年4月	グローバル防災・復興学					グローバル防災・復興学 新潟の農林業	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	教授	藤巻 一男	平成29年4月	税法入門				1		1
兼担	教授	中村 隆志	平成29年4月							
兼担	教授	鳴海 敬倫	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学				<u> </u>		
兼担	教授	鈴木 芳樹	平成29年4月	健康と医学						
兼担	教授	赤澤 宏平	平成29年4月	病院管理学						
兼担	教授	松原 幸夫	平成29年4月	ボランティア開発論 I ボランティア開発論 II	兼担	准教授	雲尾周	平成29年4月	ボランティア開発論 I ボランティア開発論 II	退職のため、担当教員を変更 (29) 退職のため、担当教員を変更
兼担	教授	福岡浩	平成20年4日	グローバル防災・復興学					グローバル防災・復興学	返職のため、担当教員を変更(29)
水坦	* XI叉	1地四 石	1 M2044H	✓ □					斜面災害論 災害・復興科学演習及び実習 Japanese Experiences from	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
									Various Perspectives	(29)

		設	置時の言	十 画			3	変 更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼担	教授	逸見 龍生	平成29年4月	フランス語スタンダード I 5 フランス語スタンダード II 5	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼担	教授	矢田 尚子	平成29年4月	中国語インテンシブ I 2 中国語インテンシブ II 2	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼担	教授	丹治 嘉彦	平成29年4月	現代芸術入門	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	柳沼 宏美	平成29年4月	生命論パラダイムからの美術教育	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	田中 幸弘	平成29年4月	リーガル・システムA	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	清水研作	平成29年4月	音楽(作曲)	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	郷晃	平成29年4月	情報教育論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	瀧本 哲也	平成29年4月	材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	児島 清秀		グローバル防災・復興学	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	熊野 英和	平成29年4月	変遷する社会課題と私たち〜科学 技術と地球環境	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	佐藤靖	平成29年4月	現代社会と科学技術	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	高橋 悟	平成29年4月	アカデミック英語R 1 アカデミック英語R 2	クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追
									海外フィールド体験	加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
					兼担	教授	佐藤 康行	F 平成29年4月	比較地域社会学	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
					兼担	教授	細田 あや	子 平成29年4月	感情と表象	(29) 教育上の効果を高めるため担当教
									人文系展開科目C	員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									領域融合・超域科目N 歴史学A	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	三浦淳	平成29年4月	国際教養演習	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									西洋文学LI	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									西洋文学 L Ⅱ 文学読解演習	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	HADLEY GREGORY STUART	平成29年4月	応用英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	柴田 透	平成29年4月	情報教育論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
									税のしくみから社会を考える	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	鈴木 賢治	平成29年4月	平和を考えるB 税のしくみから社会を考える	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	佐藤 亮-	- 平成29年4月	情報教育論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
									ICT活用と価値の情報化A ICT活用と価値の情報化B	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	伊野義博	平成29年4月	音楽E	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	岡野 勉	平成29年4月	情報教育論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	近藤明彦	平成29年4月	特殊講義(コンプライアンス)	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	丹羽 正尹	平成29年4月	リーガル・システムB	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	南島 和グ	、 平成29年4月	リーガル・システムB	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	咲川 孝	平成29年4月	Japanese Experiences from Various Perspectives	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	内山 美枝	子 平成29年4月	ケアの基本理念と実際	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	齋藤 正毎	平成29年4月	入門医療英語 物理学基礎実験	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)

		設	置時の言	計 画				変	更状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齡)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
<i>7</i> 1					兼担	教授	樋口	宗史	平成29年4月	医療と法	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	寺尾	豊	平成29年4月	インターネットテュートリアル	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	教授	HANN	MARIA	平成29年4月	Intercultural Communication	クォーター制移行による科目の追 加(29)
							NUN	ES		Term 3 iStep Continuation: Intercultural Communication Term 4	クォーター制移行による科目の追加 (29)
					兼担	教授	宮田	春夫	平成29年4月	Development of Environmental Policies of Japan Japanese Experiences from Various Perspectives The North and the South over the Environment and Development 開発金上国の環境と開発:事例研究	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										国際開発協力論:「開発」とは何か I 国際開発協力論:「開発」とは何か II	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										国際開発協力論:「開発」とは何か Ⅲ 人類共同体のための国際環境政策 学	
					兼担	教授	長谷川	岡	平成29年4月	医療ボランティア論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	教授	伊藤	充	平成29年4月	学校フィールドワーク A	カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加(29)
										学校フィールドワーク B	カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加(29)
兼担	准教授	丸山 健二	平成29年4月	化学基礎 A 化学基礎 A 化学基礎 家習 a 化学基礎 家習 B 格尔斯克 B 不	兼担	教授	丸山	健二	平成29年4月		平成29年4月 担当教員昇任のため(29)
兼担	准教授	古川 貢	平成29年4月	化学基礎A 化学基礎実習 a 化学基礎実習 b 量子化学演習							
兼担	准教授	小林 公一	平成29年4月	物理学入門						物理学入門 入門医療英語 物理学基礎 D 物理学基礎実験	クォーター制移行による変更(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	准教授	佐々木 進	平成29年4月	物理学基礎AⅡ 物理学基礎BⅡ						物理学基礎AⅡ 物理学基礎BⅡ 材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	卜部 厚志	平成29年4月	地学基礎 C 環境地質学入門 第環境地質学入門 第環境地質学実習 応用地質学実習 環境地質学 災害・復興科学演習及び実習	兼担	教授	福岡	姓	亚成29年4日	地学基礎 C 環境地質学入門 第四紀環境学 環境地質学実習 応用地質学実習 環境地質学 災害・復興科学演習及び実習	担当教員を変更(29)
				斜面災害論	N/IE	7212	[[[[70	1 3020 1 171	斜面災害論	担当教員を変更(29)
兼担	准教授	渡部 直喜	平成29年4月	環境地質学入門 水文地質学 地学紙論A 地学薬験A						環境地質学入門 水質化学分析法 水文地質学 地学概論A 地学実験B 地学実験B	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	准教授	寺尾 仁	平成29年4月	環境政策論 平和を考えるB(平和を考える in 新潟) くらしと環境						環境政策論 平和を考える日(平和を考える in 新潟) 平本を考える日 イトレと環境	科目名を変更(29) 科目名を変更(29) 科目の廃止(29)
兼担	准教授	本間 航介	平成29年4月	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習フィールド安全論環境政策論生態等理演習及び実習野生植物生態学実習里地里地里生生学、音楽学生をシンボルとした自然再生森・里・海フィールド実習							
	准教授	坂田 寧代		技術者倫理・自然環境関連法規						- W-A	
兼担	准教授	権田 豊	平成29年4月	卒業論文 測量学実習 フィールド科学インターンシップ グローバル防災・復興学 環境砂防学 災害・復興科学演習及び実習 防災系演習及び実習						卒素論文 測量学実習 フィールド科学インターンシップ グローバル防災・復興学 環境砂防学 環境・復興科学演習及び実習 防災系演習及び実習	

		設	置時の	計 画	1			変	更 状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任	職名	氏 (年		就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	准教授	森口 喜成	平成29年4月	卒業論文 森林遺伝育種学 森林再生学 野生植物生態学 野生動植物生態学実習	の別						
兼担	准教授	長谷川 英夫	平成29年4月	環境統計学							
兼担	准教授	元永 佳孝	平成29年4月	環境統計学							
兼担	准教授	村上拓彦	平成29年4月	卒業論文 GIS・リモートセンシング演習 リモートセンシング 環境統計学 流域環境GIS						卒業論文 GIS・リモートセンシング演習 リモートセンシング 環境統計学 流域環境GIS	
				トキをシンボルとした自然再生	兼担	助教	望月	翔太		トキをシンボルとした自然再生 地理情報システム (GIS) 概論・演習 技術者倫理・自然環境関連法規	担当教員を変更 (29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29)
兼担	准教授	吉川 夏樹	平成29年4月	水圏・水環境学 グローバル防災・復興学 環境統計学 水環境工学 流域環境GIS						本圏・水環境学 グローバル防災・復興学 環境統計学 水環境工学 流域環境GIS 新潟の農林業 地理情報システム(GIS) 概論・応	
**	**************************************	71.11.	平成29年4月							用演習	員を追加(29)
苯坦	准教授	アンドリュー・ ウィタカ	平成29年4月	流域水文学						測量学実習 流域水文学	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	准教授	安田 浩保	平成29年4月	河川工学						河川工学	
兼担	准教授	満尾 世志人	平成29年4月	希少生物保全学 自然再生学実習 里地里山再生学 トキをシンボルとした自然再生 朱鷺・自然再生フィールドワーク 森・里・海フィールド実習						希少生物保全学 自然再生学実習 里地里山再生学 トキをシンポルとした自然再生 朱鷺・自然再生フィールドワーク 森・里・海フィールド実習	
兼担	准教授	岸本 圭子	平成29年4月	希少生物保全学 自然用生学実習 里地里山再生学						希少生物保全学 自然再生学実習 里地里山再生学 トキをシンボルとした自然再生 朱鷺・自然再生フィールドワーク 森・里・海フィールド実習	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	准教授	豊田 光世	平成29年4月	自然再生学実習里地里山再生学						自然再生学実習 里地里山再生学 トキをシンボルとした自然再生 朱鷺・自然再生フィールドワーク	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29)
兼担	准教授	鈴木 哲也	平成29年4月	構造デザイン工学							
兼担	准教授	飯島 康夫	平成29年4月	地域を探る 領域融合・超域科目A	兼担	教授	#10	弘幸		地域を探る 領域融合・超域科目A	担当教員を変更(29)
				A STATE OF THE STA	NA.I	77.12	714	JA		人文超域科目 C 領域融合・超域科目 J	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	工藤 信雄	平成29年4月	感情と表象 心の科学 領域融合・超域科目 G						感情と表象 心の科学 領域融合・超域科目 G 心の科学入門	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	古賀 豊	平成29年4月	表現プロジェクト演習 N 領域融合・超域科目 P	兼担	教授	中村	隆志		表現プロジェクト演習 N 領域融合・超域科目 P	担当教員を変更(29)
				porsena Li Allesti Li I	NK1E	**************************************	4-41	PE IO		新聞を体験する一新潟日報との連 携授業一	教育課程の充実のため科目を追加(29)
兼担	准教授	杉原 名穂子	平成29年4月	感情と表象 感性学 社会学とは何か						感情と表象 感性学 社会学とは何か つながりと絆の社会学	科目の廃止(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	高橋 康浩	平成29年4月	アカデミック英語(リーディング) アカデミック英語(ライティング) 理工英語読解 人文超域科目 D						アカデミック英語 (リーディング) アカデミック英語 (ライティング) 理工英語解 及び 理工英語域科目 D アカデミック英語 R 1 アカデミック英語 R 2 アカデミック英語W キャリア形成 歴史学 A 歴史学 V	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加(29)

			設	置時の調	計 画			変	更状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 (年	名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	准教授		幸彦		アカデミック英語 (リーディング) 基礎英語					アカデミック英語(リーディン グ) 基礎英語 アカデミック英語R1 アカデミック英語R2	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による科目の追 加 (29) クォーター制移行による科目の追 加 (29)
兼担	准教授	廣部	俊也	平成29年4月	キャリア形成 音楽R	兼担	准教授 教授	高橋 康浩 中村 潔	平成29年4月 平成29年4月		担当教員を変更(29) 担当教員を変更(29)
					感性学 日本古典文学 K 日本古典文学 N 日本文化論	兼担	教授	岡村 浩	平成29年4月	感性学 日本古典文学 K 日本古典文学 N 日本文化論	科目の廃止(29) 担当教員を変更(29)
					日本文化論演習B 領域融合・超域科目 A	兼担	教授	井山 弘幸		日本文化論演習B 領域融合・超域科目A	担当教員を変更(29)
					領域融合・超域科目B					領域融合、超域科目B 人文系展開科目C 人文系展開科目E 領域融合、超域科目C 領域融合、超域科目N	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	藤石	貴代	平成29年4月	朝鮮語インテンシブ I 朝鮮語インテンシブ I 平和を考えるA 韓国サマースクール I 韓国サマースクール I 韓国サマースクール II						
兼担	准教授	堀	健彦	平成29年4月	地域を探る					地域を探る 人文超域科目 C 領域融合・超域科目 J	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	山内	民博	平成29年4月	朝鮮語インテンシブロ 人文超域科目 D 領域融合・超域科目 I 歴史学 Q					朝鮮語インテンシブII 人文超域科目 D 領域融合・超域科目 I 歴史学 Q 歴史学 A	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	福島	治	平成29年4月	感情と表象 感化性学 感性学 紛争の心理学 領域融合・超域科目G					感情と表象 感性学 心と社会 紛争の心理学 領域融合・超域科目G キャリアデザイン 心の科学入門 人文系展開科目C 領域融合・超域科目N	科目の廃止(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 物育課程の充実のため科目を追加
兼担	准教授	広川	佐保	平成29年4月	人文超域科目 D					人文超域科目 D 歴史学 P	(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	石田	美紀	平成29年4月	外国語ベーシック I (1) 独語仏語伊					 <mark>外国語ベーシック I (1) 独語仏語伊</mark>	ウォーター制移行による変更(29)
					語 イタリア語ベーシック II	兼任	講師	I. ガラオン 青木	平成29年4月	譜 イタリア語ベーシック Ⅱ	担当教員を変更(29)
					イタリア語セミナーA 表現プロジェクト演習 U 感性を表象 日本文化入門 1 感性学					イタリア語セミナーA 表現プロジェクト演習U 展生を表 日本文化入門 1 展性学	科目の廃止(29)
					領域融合·超域科目A	兼担	教授	井山 弘幸	平成29年4月	領域融合・超域科目A	担当教員を変更(29)
										イタリア語スタンダード I イタリア語スタンダード I イタリア語セミナーB	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										人文系展開科目 C 領域融合・超域科目N	後 育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	宮崎	裕助	平成29年4月	感情と表象 日本文化入門 1 感性学 現代思想論 哲学演習					感情と表象 日本文化入門 1 総性学 現代思想論 哲学演習 現代哲学演習 人文系展開科目 C 領域融合・超域科目 N	科目の廃止(29) カリキュラム構成の見直しによる 変更(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	白井	述	平成29年4月	感情と表象 乳幼児心理学 領域融合・超域科目G					感情と表象 乳幼児心理学 領域融合・超域科目G 心の科学入門 人文系展開科目C 領域融合・超域科目N	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)

			設置時	の計画	1			変	更状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢	3 就任务		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏(年前	名	就任予定年月	担当授業科目名	備考
///	准教授	土橋 善	仁 平成29	¥4月 アカデミック英語(リーディング)	V					アカデミック英語(リーディン グ)	クォーター制移行による変更(29)
				基礎英語	兼任	講師	福田 -	一雄	平成29年4月	基礎英語	担当教員を変更(29)
				理工英語読解 日本文化入門 1						理工英語読解 日本文化入門 1	
				領域融合・超域科目E						領域融合・超域科目 E アカデミック英語 L 1	クォーター制移行による科目の追
										アカデミック英語して	カイター制参打による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追
										アカデミック英語 W	加 (29)
											クォーター制移行による科目の追加(29)
										日本文化入門 2	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	青柳 かね	おる 平成29		-					アカデミック英語(リーディン グ)	クォーター制移行による変更(29)
				グ) 基礎英語	兼任	講師	廣瀬	告二	平成29年4月	- /	担当教員を変更(29)
				宗教思想史入門						宗教思想史入門	
兼担	准教授	吉田治	1代 平成29	 年4月 外国語ベーシック I (2)独語西語	露					 	- クォーター制移行による変更(29)
				語 ドイツ語インテンシブⅡ						語 ドイツ語インテンシブⅡ	クォーター制移行による変更(29)
				ドイツ語ベーシックⅡ 表現プロジェクト演習 P						<mark>ドイツ語ベーシックⅡ</mark> 表現プロジェクト演習 P	クォーター制移行による変更(29)
				233 7 . 7 . 2						外国語ベーシック I-5a (ドイツ語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
										外国語ベーシック I-6b (ドイツ語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
										^{四ノ} ドイツ語インテンシブ II 2	クォーター制移行による科目の追
										ドイツ語ベーシック Ⅱ 4	加(29) クォーター制移行による科目の追
											n (29)
兼担	准教授	市橋孝	道 平成29	¥4月 理工英語読解						理工英語読解 アカデミック英語 R 1	クォーター制移行による科目の追
										アカデミック英語R2	加(29) クォーター制移行による科目の追
										基礎英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										フィリピンALLC英語研修	員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
											(29)
兼担	准教授	甲斐 義	明 平成29	〒4月 理工英語読解 表現プロジェクト演習T							
				日本文化入門 1							
兼担	准教授	中村 5	元 平成29	平4月 地域を探る 人文超域科目 D						地域を探る 人文超域科目 D	
				歴史学 K						歴史学K	# 本部組の本中のも は利見す 流転
										人文超域科目 C	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										領域融合·超域科目 J	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										歴史学A	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	高橋 早	·苗 平成29	年4月 日本古典文学 N						日本古典文学N	
兼担	准教授	中本 真	人 平成29		-					地域を探る	
				表現プロジェクト演習Q						表現プロジェクト演習Q 人文系フロンティア	教育課程の充実のため科目を追加
										人文超域科目 C	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
										領域融合・超域科目J	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
											(29)
兼担	准教授	キム・ジュニ	ニアン 平成29	平4月 発展英語 朝鮮語セミナーB						発展英語 朝鮮語セミナーB	
				表現プロジェクト演習U						表現プロジェクト演習U	
兼担	准教授	阿部 ふぐ	く子 平成29	¥4月 コミュニケーション・ドイツ語 (ドイツ語セミナーD						コミュニケーション・ドイツ語 C ドイツ語セミナーD	
				哲学への招待						哲学への招待	カリキュラム構成の見直しによる
										感情と表象	変更(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										哲学入門	員を追加(29) カリキュラム構成の見直しによる
44.15	-11 41 122					47.100				ATTREE A ARTERIA	科目の追加(29)
兼担	准教授	新美 亮	·輔 平成29	年4月 領域融合・超域科目A	兼担	教授	井山	公幸	平成29年4月	領域融合・超域科目A	担当教員を変更(29)
				領域融合・超域科目G						領域融合・超域科目G 心の科学入門	教育課程の充実のため科目を追加
										人文系展開科目B	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
										領域融合・超域科目Q	(29) 教育課程の充実のため科目を追加
											(29)
兼担	准教授	村上 正	和 平成29	₹4月 歴史学 G						歴史学G 歴史学A	教育課程の充実のため科目を追加
											(29)
兼担	准教授	津森 圭	平成29	₹4月 フランス語スタンダード I	1					フランス語スタンダード I フランス語スタンダード I	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
				フランス語スタンダードⅡ						フランス語スタンダードⅡ フランス語インテンシブ I 1	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追
										フランス語インテンシブⅡ1	加(29) クォーター制移行による科目の追
											л а (29)
_				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

			設	置時の調	计 画			変	更状		
専・兼担・兼任の別	職名	氏 (年		就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
	准教授	干野	真—	平成29年4月	外国語語ペーシック I (4) 中語朝語 / / ド / / / / / / / / / / / / / / / /	333				ド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29)
					中国語オプショナルA					中国語オブショナルA コミュニケーション・中国語 E 中国語セミナー D 中国語インテンシブ I I 中国語インテンシブ II	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) クォーター制移行による科目の追 加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼担	准教授	小林	繁子	平成29年4月	歴史学S						
兼担	准教授	角谷	聰	平成29年4月	中国語スタンダード I 中国語スタンダード I					中国語スタンダードI 中国語スタンダードII 中国語スタンダードI6 中国語スタンダードI6	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追 加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼担	准教授	岡田	祥平	平成29年4月	情報教育論						
兼担	准教授	本間	伸輔	平成29年4月	アカデミック英語(ライティン グ)					アカデミック英語(ライティン グ) アカデミック英語 R 1 アカデミック英語 R 2 アカデミック英語 W	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼担	准教授	中村	和吉	平成29年4月	情報教育論						
兼担	准教授	下保	敏和	平成29年4月	情報教育論 ICT活用と価値の情報化A ICT活用と価値の情報化B						
兼担	准教授	大庭	昌昭	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I 健康スポーツ科学講義						
兼担	准教授	森	恭	平成29年4月	健康スポーツ科学講義					健康スポーツ科学講義 健康スポーツ科学実習 I	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	准教授	石垣	健二	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 II (ゴルフ)					健康スポーツ科学実習 I (ゴルフ) 健康スポーツ科学実習 I	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	准教授	鈴木	賢太	平成29年4月	音楽F	兼担	講師	鈴木 愛美	平成29年4月	音楽F	担当教員を変更(29)
兼担	准教授	田中			コミュニケーション・ドイツ語 D コミュニケーション・ドイツ語 H 美術史						
	准教授	杉澤		平成29年4月							
兼担	准教授	岩奇	勝成	平成29年4月	リーガル・システム A 医療と法	兼担	教授	田中 幸弘	平成29年4月	リーガル・システム A 医療と法	担当教員を変更(29)
兼担	准教授	栗田	佳泰	平成29年4月	リーガル・システムB	兼担	准教授	五十嵐 さま	平成29年4月	リーガル・システムB	担当教員を変更(29)
										医療と法	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	准教授	木南	直之	平成29年4月	リーガル・システムA					リーガル・システムA 日本事情社会系A	クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼担	准教授	神田	豊隆	平成29年4月	特殊講義(戦後政治)					特殊講義(戦後政治) リーガル・システムB	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	准教授	増井	英紀	平成29年4月	リーガル・システムB	兼担	准教授	土屋武	平成29年4月	リーガル・システムB	担当教員を変更(29)
兼担	准教授	道上	真有	平成29年4月	ロシア政治経済入門						
兼担	准教授	土屋	太祐	平成29年4月	中国語スタンダード I 中国語スタンダード II					中 国語スタンダード I 中 国語スタンダード II 中国語スタンダード I 2	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追
										中国語スタンダード I 4 中国語スタンダード II 2	加(29) クオーター制移行による科目の追加(29) クオーター制移行による科目の追加(29)
#10	*# #L 1m	d, m	70 >	平成29年4月	745706## /0 -					中国語スタンダードⅡ4	クォーター制移行による科目の追加 (29)
兼担	准教授	ШШ	陽子	〒成2₹年4月	アカデミック英語(リーディング) グ) 理工英語読解 発展英語					アカデミック英語(リーディング) ザー 理工英語読解 発展英語 アカデミック英語R1 アカデミック英語R2	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29)
Щ				1	l	.	1	1	1	l	1

		=n	= u+ o =	-1 =	т —		-	т _и	20	
専・兼		設(置時の言	it 🗎	専任・		変	更 状	況 T	
担・兼任の	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	兼担· 兼任	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
別	准教授	石川 耕三	平成20年4日	アジア経済入門	の別		(1 60)	 		

兼担	准教授	関島 香代子	平成29年4月	大学生のための役に立つ育児学						
兼担	准教授	渡邊 岸子	平成29年4月	ケアの基本理念と実際						
兼担	准教授	坂井 さゆり	平成29年4月	ケアの基本理念と実際				1		
兼担	准教授	関井 愛紀子	平成29年4月	ケアの基本理念と実際				+		
兼担	准教授	山崎 芳裕	平成29年4月	医療と画像技術		<u> </u>				
×1112_		2218		医療と放射線						
兼担	准教授	松田 康伸	平成29年4月	医療と画像技術				+		
兼担	准教授	富山 智香子	平成29年4月	医学と医療の歴史	 		ļ	+		
	准教授	雲尾周		ボランティア開発論Ⅰ		<u> </u>	<u> </u>	-		
JK1E	/正弘]又	安ル 内	1 700-0-171	ボランティア開発論Ⅱ						
兼担	准教授	黒川 孝一	平成29年4月	健康福祉学入門				+		
				新潟発福祉学						
兼担	准教授	森田 修一	平成29年4月	顏						
兼担	准教授	STEGAROIU ROXANA	平成29年4月	健康福祉学入門				+		
兼担	准教授	八木 稔	平成29年4月	健康福祉学入門	-			+		
	准教授	中川 兼人	平成29年4日	健康福祉学入門			ļ			
					$ldsymbol{ldsymbol{\sqcup}}$	<u> </u>	<u> </u>			
	准教授	柴田 佐都子		健康福祉学入門						
兼担	准教授	岩城 護	平成29年4月	コンピュータ基礎演習 高福祉社会を支える「生活支援工					コンピュータ基礎演習 高福祉社会を支える「生活支援工	科目の廃止(29) 科目の廃止(29)
				学」入門					学」入門	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
兼担	准教授	戸田 健司	平成29年4月	最先端技術を支える化学 I	\vdash			+		
兼担	准教授	小川 純	平成29年4月	エレクトロニクスへの招待	 			+	エレクトロニクスへの招待	科目の廃止(29)
兼担	准教授	山家 清之		エレクトロニクス入門					エレクトロニクス入門	科目の廃止(29)
兼担	准教授	飯島 淳彦	平成29年4月	研究者の仕事と生活	兼担	准教授	中野 享香	平成29年4月	研究者の仕事と生活	担当教員を変更(29)
				技術日本語演習					技術日本語演習	
兼担	准教授	村山 敏夫	平成29年4月	健康スポーツ科学実習Ⅱ(ゴル				†		
				フ) 健康スポーツ科学実習 II (スキー						
				I) 健康スポーツ科学実習 II (スキー						
				П)						
				健康スポーツ科学講義						
兼担	准教授	田中 幸治	平成29年4月	音楽E	兼担	教授	伊野 義博		音楽E	担当教員を変更(29)
									音楽(ピアノ)	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										(29)
兼担	准教授	小浦方 格	平成29年4月	地理情報システム(GIS)概論・演習					地理情報システム (GIS) 概論・演習	
				ー 地理情報システム (GIS) 概論・応 用演習	兼任	講師	長谷川 普一	平成29年4月	世理情報システム (GIS) 概論・応 用演習	担当教員を変更(29)
兼担	准教授	馬場・暁	平成29年4月	エレクトロニクスへの招待 エレクトロニクス入門					エレクトロニクスへの招待 エレクトロニクス入門	科目の廃止(29) 科目の廃止(29)
- 新田	准教授	大木 基史	平成29年4月				ļ		化学実験	科目の廃止(29)
JK1E	/正弘]又	八小 巫丈	1 190,20 - 471	10千天秋					材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加
										(29)
兼担	准教授	大嶋 拓也	平成29年4月	くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	准教授	狩野 直樹	平成29年4月	最先端技術を支える化学I						
兼担	准教授	黒野 弘靖	平成29年4月	くらしと環境	\vdash			+	くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	准教授	坂本 秀一	平成29年4月	異文化と技術	\vdash	\vdash	 	+		
				くらしを支える機械システム工学			1			
兼担	准教授	清水 英彦	平成29年4月	情報機器操作入門	兼担	准教授	山本 征法	平成29年4月	情報機器操作入門	担当教員を変更(29)
				エレクトロニクス入門				+	エレクトロニクス入門	科目の廃止(29)
兼扣	准教授	菅原 晃	平成29年4月	エレクトロニクス入門	\vdash		 	+	エレクトロニクス入門	科目の廃止(29)
					$ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{eta}}}$	<u> </u>	<u> </u>	 	- > 1 == > > > 1	= -> // (= -> /
	准教授	田村 武夫		くらしを支える機械システム工学			<u> </u>	1		
兼担	准教授	村松 正吾	平成29年4月	エレクトロニクスへの招待			1		エレクトロニクスへの招待	科目の廃止(29)
兼担	准教授	横山 誠	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学						
兼担	准教授	大平 泰生	平成29年4月	エレクトロニクス入門				†	エレクトロニクス入門	科目の廃止(29)
兼担	准教授	櫻井 篤	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学	\vdash	\vdash	 	+		
	准教授	佐々木 朋裕	平成29年4日	異文化と技術	—	<u> </u>	 	+		
NV 1	. E. TA IX	הבילו החודם	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	くらしを支える機械システム工学			1			
兼担	准教授	菅野 政明	平成29年4月	基礎数理A I	-			+	基礎数理A I	
				基礎数理AⅡ			1		基礎数理AⅡ 基礎数理B	教育上の効果を高めるため担当教
							1		金妮双往日	教育工の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	准教授	高橋 剛	平成29年4月	基礎数理AI	\vdash	\vdash	 	+	基礎数理AI	
				基礎数理A II			1		基礎数理AⅡ 基礎数理B	教育課程の充実のため科目を追加
1							1			(29)
1			T-00-40	くらしと環境	lacksquare		+	+	くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	准教授	斎藤 豪	平成29年4月	くりしと環境					1 5 5 4 1/1/10	11 = 11 00 = 1-17
	准教授 准教授	斎藤 豪 中村 孝也		くらしと環境				1	くらしと環境	科目の廃止(29)

		設	置時の言	計 画			変	更状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	准教授	由井 樹人	平成29年4月	化学実験	07/19				化学実験 材料科学概論	科目の廃止(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	今村 孝	平成29年4月	高福祉社会を支える「生活支援工 学」入門					高福祉社会を支える「生活支援工学」入門	科目の廃止(29)
兼担	准教授	岡 寿樹	平成29年4月	エレクトロニクス入門					エレクトロニクス入門	科目の廃止 (29)
兼担	准教授	金 ミンソク	平成29年4月	エレクトロニクス入門					エレクトロニクス入門	科目の廃止(29)
兼担	准教授	三俣 哲	平成29年4月	化学実験					化学実験 材料科学概論	科目の廃止(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	大竹 雄	平成29年4月	くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止(29)
兼担	准教授	高橋 剛	平成29年4月	基礎数理AI基礎数理AI					基礎教理A I 基礎数理B 基礎数理B	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	山本 征法	平成29年4月	基礎数理A I 基礎数理A Ⅱ					基礎数理AI 基礎数理AII 情報機器操作入門 基礎数理B	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	原田 直樹	平成29年4月	グローバル防災・復興学						
兼担	准教授	並川 努	平成29年4月	心理学概論						
兼担	准教授	澤邊 潤	平成29年4月	コミュニティ・インターンシップ 学校フィールドワーク					コミュニティ・インターンシップ 学校フィールドワーク 人間関係論	カリキュラム構成の見直しによる 変更(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	布施 直美	平成29年4月	ピアサポート入門						
兼担	准教授	黒田毅	平成29年4月	健康と医学						
兼担	准教授	片岡 香子	平成29年4月	地学C(マグマと火山)						
兼担	准教授	三河 賢治	平成29年4月	情報教育論 ネットワーク機器操作入門 UNIXリテラシー演習 コンピュータセキュリティ入門						
兼担	准教授	青山 茂義	平成29年4月	情報教育論 ネットワーク機器操作入門 UNIXリテラシー演習 コンピュータセキュリティ入門						
	准教授	是立 祐子 	平成29年4月	グローバルコミュニケーション アクティブラーニングⅢ 日本語 B 日本本語 F 日本本語教育 I ー A タ文化共生社会体験 in AUSTRALIA I タ文化共生社会体験 in AUSTRALIA ブローバルコミュニケーション アクティブラーニング I 日本語のG 日本年記述 日本記述 日本年記述 日本語 日本日記述 日本日 日本日 日本日 日本日 日本日 日本日 日本日 日本日 日本日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日					社会人としての日本語・作文 A 社会人としての日本語・作文 B 社会人としての日本語・作文 C 社会人としての日本語・作文 D 集中日本語 O C 集中日本語 1 C 日本事情グローバル 多文化共生社会体験 in AUSTRAL IA I タ文化共生社会体験 in AUSTRAL IA I グローバルコミュニケーション アクティブラーニング II 日本語G 日本事情人文系 B	カリキュラム構成の見直しによる変更(29) カリキュラム構成の見直しによる変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) カリキュラム構成の見直しによる科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クオーター制移行による教目の追加(29) クオーター制移行による教目の追加(29)
				日本事情人又来日 日本語教育 I — A 日本語教育 I — B					日本語教育 I ー A 日本語教育 II ー B グローバルコミュニケーション A グローバルコミュニケーション C アクティブラーニング B 社会人の日本語・オーラルコミュ	科目の追加(29)

		設	置時のi	計 画			変	更状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	准教授	張	平成29年4月	The China-Japan-US Trilateral Relations シンガポール・スプリングセミナー シンガポール・スプリングセミナー準備講座					The China-Japan-US Trilateral Relations シンガポール・スプリングセミナー シンガポール・スプリングセミナー 準備譲座 International Relations in the Asia-Pacific Chinese Politics and Diplomacy Regionalism in the Asia-Pacific Region	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	A. ホップ	平成29年4月	Asia-Pacific ドイツ語インテンシブ I ドイツ語インテンシブ I					Asia-Pacific ドイツ語インテンシブ I ドイツ語インテンシブ II	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
				コミュニケーション・ドイツ語 B コミュニケーション・ドイツ語 F ドイツ語 セミナー B	兼任	講師	畑 志津子	平成29年4月	コミュニケーション・ドイツ語 B コミュニケーション・ドイツ語 F ドイツ語・マーション・ドイツ語 F ドイツ語・イン・フ エ ドイツ語・イン・アンシブ I 1 ドイツ語・イン・アンシブ I 2 ドイツ語・イン・アンシブ I 2 ドイツ語・イン・アンシブ I 3 ドイツ語・イン・アンシブ I 3	担当教員を変更 (29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クオーター制移行による科目の追加(29) クオーター制移行による科目の追加(29) クオーター制移行による科目の追加(29) クオーター制移行による科目の追加(29)
兼担	准教授	G. オニール	平成29年4月	応用英語 發展英語 Combination Class: Content & Skills 1					応用英語 参展英語 Combination Class: Content & Skills 1 Lopic Based Presentation Skills Combination Class: Content & Skills 1 Lopic Based Presentation Skills Combination Class: Content & Skills 1 Lopic Based Research Project Class Skills 2 Topic Based Research Project Class Step Continuation: Academic Presentations Term 3 iStep Continuation: Advanced Academic Writing A Term 3 iStepContinuation: Advanced Academic Writing A Term 3 iStepContinuation: Advanced Academic Writing B Term 4 iStepContinuation: Advanced Academic Writing B Term 3 iStepContinuation: Advanced Academic Writing B Term 4 iStepContinuation: Advanced Academic Writing C Term 3 iStepContinuation: Scientific Method for Academic Writing C Term 4 iStep Continuation: Scientific Method for Academic Writing C Term 4 iStep Continuation: Scientific Method for Academic Writing C Term 4 iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 4 iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 4 iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 4 iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 3 iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 3 iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 4 iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 3 iStep Continuation: Speaking: Segmental Pronunciation Term 3 iStep Continuation: Speaking: Suprasegmental Pronunciation Term 4 iStep Continuation: Speaking: Suprasegmental Pronunciation Term 3 iStep Continuation: Speaking: Suprasegmental Pronunciation Term 4 iStep Continuation: Speaking: Step Continuation: Speaking: Step Continuation: Speaking: Step Continuation: Speaking: Step A. C. E. (Academic Writing I) P. A. C. E. (Academic Reading I) P. A. C. E. (Presentation Skills) Academic Listening & Speaking:	フォーター制移行による変更 (29) フォーター制移行による変更 (29) フォーター制移行による変更 (29) フォーター制移行による変更 (29) フォーター制移行による科目目の追 フォーター制移行による科目目の追 コカル(29) フォーター制移行による科目目の追 コカル(29) フォーター制移行による科目目の追 コカル(29) フォーター制移行による科目目の追 コカル(29) フォーター制移行による科目目の追 コカル(29) フォーター制移行による科目目の追 コカル(29) フォーター制移行による科目目の追 コカル(29) フォーター制移行による科目目の追 コカル(29) フォーター制移行による科目目の追 コカル(29) カカル(29) カル(29)

			設	置時の調	計画	l			変 更 状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 (年	名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名(年 齢	就任予完任日		備考
兼担	准教授	西條	秀俊	平成29年4月	キャリアを共に考える-自己理解・ 他者理解 キャリア意識形成と自己成長 社会とキャリア選択A 社会とキャリア選択B	37779				キャリアを共に考える-自己理解・ 他者理解 キャリア意識形成と自己成長 社会とキャリア選択A 社会とキャリア選択日 1・2年生対象 長期・企業実践型 ブログラム I 1・2年生対象 長期・企業実践型 ブログラム I	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	中野	享香	平成29年4月	研究者の仕事と生活						
兼担	准教授	五島	譲司	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ) 情報リテラシー概論					アカデミック英語(リーディン グ) 情報リテラシー概論	クォーター制移行による変更 (29)
					ユーザのための数学					ユーザのための数学	
兼担	准教授	S. プ・	ライヤー	平成29年4月	Combination Class: Content & Skills 1 Topic Based Presentation Skills					Combination Class: Content & Skills 1 Topic Based Presentation Skills	クォーター制移行による変更 (29) ・クォーター制移行による変更 (29)
					Combination Class: Content & Skills 2 Intercultural Communication 1					Combination Class: Content & Skills 2 Intercultural Communication 1	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
					Content Lecture Language Lab 2 Topic Based Research Project Class					Content Lecture Language Lab 2 Topic Based Research Project Class	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29)
										iStep Continuation: Advanced Academic Listening & Speaking Term 3	クォーター制移行による科目の追加(29)
										iStep Continuation: Advanced Academic Listening & Speaking Term 4 iStep Continuation: Advanced	クォーター制移行による科目の追加(29)
										Presentations Term 3 iStep Continuation: Advanced Presentations Term 4	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
										iStep Continuation: Advanced Topic Based Speaking Term 3 iStep Continuation: Advanced	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追
										Topic Based Speaking Term 4 iStep Continuation: Intercultural Communication Term 3	加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
										iStep Continuation: Intercultural Communication Term 4	クォーター制移行による科目の追 加(29)
										P. A. C. E. (Academic Listening & Speaking) P. A. C. E. (Academic Reading I)	科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる
										P.A.C.E. (Academic Writing I) P.A.C.E. (Oral Communication)	科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる
											科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加(29)
										P.A.C.E. (Academic Reading II) P.A.C.E. (Research Writing Skills)	カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加(29)
										P. A. C. E. (Research Skills) P. A. C. E. (Presentation Skills)	カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる
					Academic Listening & Speaking (S. P. A. C. E. Phase 1) Academic Reading (S. P. A. C. E.					Academic Listening & Speaking (S. P. A. C. E. Phase 1) Academic Reading (S. P. A. C. E.	科目の追加(29) カリキュラム構成の見直しによる 変更(29)
					Academic Reading (S. F. A. C. E. Phase 1) Academic Writing (S. P. A. C. E. Phase 1)					Phase 1) Academic Writing (S.P.A.C.E. Phase 1)	カリキュラム構成の見直しによる 変更(29) カリキュラム構成の見直しによる 変更(29)
					Content Lecture & Language Lab 1 (S. P. A. C. E. Phase 2) Topic Based Research Skills					Content Lecture & Language Lab 1 (S. P. A. C. E. Phase 2) Topic Based Research Skills	カリキュラム構成の見直しによる 変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
					Topic Based Ora Communication					Topic Based Ora Communication	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる 変更(29)
兼担	准教授	後藤	康志	平成29年4月	学校フィールドワーク			†		学校フィールドワーク	カリキュラム構成の見直しによる 変更(29)
										学校フィールドワーク A 学校フィールドワーク B	をとにが カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加 (29) カリキュラム構成の見直しによる
										新潟地域研究	科目の追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
										教養を考える	(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼担	准教授	古田	徹也	平成29年4月	感性学					感性学	退職及び科目の廃止(29)
兼担	准教授	林(まるみ	平成29年4月	大学生のための役に立つ育児学	兼担	准教授	関島 香	弋子 平成29年4月	大学生のための役に立つ育児学	退職のため、担当教員を変更 (29)
兼担	准教授	石橋	悠人	平成29年4月	歴史学W					歴史学W	退職及び科目の廃止(29)
						兼担	准教授	天野 達		健康スポーツ科学実習I	教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29)
						兼担	准教授准教授	田寺 さる		リーガル・システムB リーガル・システムB	教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
						제시 기보	作权议	7118 (2)	1 成20年4月) NW 2A 1 A B	教育工の効果を高めるため担当教 員を追加(29)

		設	置時の言	+ 画				変	更状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 : (年 [名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼担	准教授	内田	千秋	平成29年4月	日本事情社会系A リーガル・システムA	クォーター制移行による科目の追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29)
										特殊講義(手形小切手法)	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	土屋	武	平成29年4月	リーガル・システムB	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	伊藤	龍史	平成29年4月	英語で学ぶマーケティングの基礎	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	藤田	憲		ユーロ圏経済入門	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授		科行		組織行動論入門	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授		—IE		くらしを支える機械システム工学	教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29)
					兼担	准教授	中野	智仁	平成29年4月	材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授		雅之		くらしを支える機械システム工学	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	酒匂:	宏樹	平成29年4月	平和を考えるB 基礎数理B	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
					兼担	准教授	杉山	稔恵	平成29年4月	トキをシンボルとした自然再生	(29) 教育上の効果を高めるため担当教
					兼担	准教授	半藤	逸樹	平成29年4月	変遷する社会課題と私たち~科学技術と地球環境	員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	田中	一裕	平成29年4月	教養教育としての教育学入門	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	小路	晋作	平成29年4月	変遷する社会課題と私たち〜科学 技術と地球環境	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	堀籠	崇	平成29年4月	組織マネジメント論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	秋孝	€道	平成29年4月	アカデミック英語R1	クォーター制移行による科目の追加(29)
										アカデミック英語R2	クォーター制移行による科目の追加(29)
										基礎英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	猪俣	質可	平成29年4月	外国語ベーシック I-7b (イタリア語) 外国語ベーシック I-8a (イタリア	加(29) クォーター制移行による科目の追
										語) イタリア語ペーシック Ⅱ -	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	江畑 :	冬生	平成29年4月	アカデミック英語 R 1 アカデミック英語 R 2	クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追
										基礎英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										日本文化入門 1	員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
										少数民族の言語と文化 人文系展開科目 C	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加
										領域融合・超域科目N	(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	太田:	紘史	平成29年4月	アカデミック英語 R 1	クォーター制移行による科目の追加 (29)
										アカデミック英語R2 基礎英語	クォーター制移行による科目の追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										心の哲学	教育工の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
										人文系展開科目C	(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										領域融合・超域科目N	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	加賀谷	真梨	平成29年4月	地域を探る 表現プロジェクト演習 Q	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										人文超域科目C	員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
										領域融合・超域科目J	(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	小泉	明子	平成29年4月	平和を考えるB	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	前田	洋介	平成29年4月	情報教育論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	岡村	仁一	平成29年4月	アカデミック英語R1 アカデミック英語R2	クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追
										基礎英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
											員を追加(29)

		設	置時の言	† 画			変	更状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼担	准教授	伏木 忠義	平成29年4月	くらしと数理	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	興治 文子	平成29年4月	情報教育論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	岸本 功	平成29年4月	情報教育論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	世取山 洋介	平成29年4月	平和を考えるB	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	若槻 良宏	平成29年4月	特殊講義(再生手続)	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	大島 梨沙	平成29年4月	リーガル・システムA	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	渡邉 修	平成29年4月	日本事情社会系A	クォーター制移行による科目の追加 (29)
					兼担	准教授	石畝 剛士	平成29年4月	リーガル・システムA	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	田中 良弘	平成29年4月	リーガル・システムB	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	内藤雅一	平成29年4月	英語による経済数学 英語による入門マクロ経済学	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	高宮 浩司	平成29年4月	ゲーム理論への招待	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	有元 知史	平成29年4月	英語で学ぶ企業分析入門	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	李 鎔範	平成29年4月	医療と放射線	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	西山 秀昌	平成29年4月	インターネットテュートリアル	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	郷右近 展之	平成29年4月	最先端技術を支える化学 I	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	准教授	RUDDICK MICHAEL	平成29年4月	iStep Continuation: Advanced Presentations Term 3 iStep Continuation: Advanced Reading Term 3 iStep Continuation: Advanced Reading Term 4 iStep Continuation: Intercultural Communication Term 3 Presentation 1 Presentation 2	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼担	准教授	柴田 幹夫	平成29年4月	治と経済	教育課程の充実のため科目を追加 (29) クォーター制移行による科目の追 加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
					兼担	准教授	藤田 益子	平成29年4月	コミュニケーション・中国語G コミュニケーション・中国語H 中国語セミナーK 中国語やきナーL 中国語学特殊講義 HSK(漢語水平寿試) 受験対策講座 II HSK(漢語水平寿試) 受験対策講座 II	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	准教授	*		アカデミック英語R 1 アカデミック英語R 2 発展英語 実践英語セミナー カナダ・サマーセミナー I カナダ・サマーセミナー I オックスフォード大学英語研修	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加(29)
					兼担	准教授	能登 宏 趣 典子		ピアサポート入門	教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
					兼担	准教授	櫻井 典子	平成29年4月	ダブルホーム活動演習 リーダーシップ基礎演習 リーダーシップ実践演習 ダブルホーム活動入門	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)

		設	置時の調	計 画				変	更 状	況	
専・兼担・兼任の	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年		就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	講師	田中 誠二	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I 健康スポーツ科学実習 I (ソフトボール) 健康スポーツ科学実習 I (ゴルフ) 健康スポーツ科学実習 I (スキーI) 健康スポーツ科学実習 I (スキーI) 健康スポーツ科学実習 I (スキーII)	05/29						
				情報教育論							
兼担	講師	吉田 純平		リーガル・システムA							
兼担	講師	佐藤 弘恵	平成29年4月	健康と医学							
兼担	講師	大島 邦子	平成29年4月	「食べる」							
兼担	講師	村山 賢一	平成29年4月	健康と医学	兼担	講師	七里	佳代	平成29年4月	健康と医学	退職のため、担当教員を変更 (29)
					兼担	講師	鈴木	愛美	平成29年4月	音楽F	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	講師	橋口	祐介	平成29年4月	医療と法	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	講師	牧佐	智代	平成29年4月	リーガル・システムA	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	講師	七里	佳代	平成29年4月	メンタルヘルスを考える 臨床心理学	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加
										健康と医学	(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	助教	伊藤 亮司	平成29年4月	環境政策論							X C Z (27)
兼担	助教	阿部 晴恵	平成29年4月	希少生物保全学						希少生物保全学	
				野生動植物生態学実習森・里・海フィールド実習						野生動植物生態学実習 森・里・海フィールド実習	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼担	助教	稲葉 一成	平成29年4月	測量学 測量学実習 土環境工学							
兼担	助教	望月 翔太	平成29年4月		#40	VII. 247. 140	+4 -	47-de	T #20#4B	卒業論文	47.44.8.4. 本本 (00)
				GIS・リモートセンシング演習 流域環境GIS	兼担	准教授	刊上	拍肜	平成29年4月	GIS・リモートセンシング演習	担当教員を変更(29)
				派 攻球 現 13						流域環境GIS GIS・リモートセンシング演習 トキをシンボルとした自然再生	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29)
兼担	助教	大橋 慎太郎	平成29年4月	測量学実習							
兼担	助教	駒形 千夏	平成29年4月	フランス語ペーシック II コミュニケーション・フランス語 H 表現プロジェクト演習 D フランス語オブショナル A						フランス語ペーシック II コミュニケーション・フランス語 H 表現プロジェクト演習 D フランス語オプショナル A フランス語ペーシック II 2	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による科目の追 加 (29)
兼担	助教	須川 賢洋	平成29年4月	情報リテラシー概論						情報リテラシー概論 日本事情社会系A 特殊講義 (ITと法と経済) 医療と法	ウォーター制移行による科目の追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29)
兼担	助教	川西 裕也	平成29年4月	朝鮮語オプショナルA 歴史学 I							
兼担	助教	石田 真由美	平成29年4月	ケアの基本理念と実際							
兼担	助教	田中 美央	平成29年4月	大学生のための役に立つ育児学	兼担	准教授	関島	香代子	平成29年4月	大学生のための役に立つ育児学	担当教員を変更(29)
				医学と医療の歴史	兼担	助教	坂上	百重	平成29年4月	医学と医療の歴史	担当教員を変更(29)
兼担	助教	西方 真弓	平成29年4月	医学と医療の歴史							
兼担	助教	岩佐 有華		ケアの基本理念と実際							
兼担	助教	吉田 秀義		医療と画像技術							
兼担	助教	諏訪間 加奈		健康福祉学入門							
兼担	助教	米澤 大輔	平成29年4月	健康福祉学入門	兼担	教授	高橋	英樹	平成29年4月	健康福祉学入門	担当教員を変更(29)
兼担	助教	中島 俊一		健康福祉学入門 新潟発福祉学							
兼担	助教	榎本 洸一郎		コンピュータ基礎演習						コンピュータ基礎演習	科目の廃止 (29)
兼担	助教	棚橋 重仁	平成29年4月	プログラミング基礎演習 数理基礎演習 I 数理基礎演習 II						プログラミング基礎演習 数理基礎演習 I 数理基礎演習 II	科目の廃止(29) 科目の廃止(29) 科目の廃止(29)
兼担	助教	柄沢 直之	平成29年4月	コンピュータ基礎演習						コンピュータ基礎演習	科目の廃止(29)
兼担	助教	崔森悦	平成29年4月	エレクトロニクスへの招待						エレクトロニクスへの招待	科目の廃止(29)
		i									

		設	置時の調	計 画				変	更状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年		就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼担	助教	プラムディタJ.A.	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学	兼担	准教授	川崎	一正	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学	担当教員を変更(29)
兼担	助教	牛田 晃臣	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学	兼担	准教授	寒川	雅之	平成29年4月	くらしを支える機械システム工学	担当教員を変更(29)
兼担	助教	粟生田 忠雄	平成29年4月	土環境工学						土環境工学	
				平和を考えるB(平和を考える in 新潟)						平和を考えるB(平和を考える in 新潟) 新潟)	
兼担	助教	吉田 智佳子	平成29年4月	研究者の仕事と生活	兼担	准教授	中野	享 悉	平成29年4日	平和を考えるB 研究者の仕事と生活	科目名を変更(29) 担当教員を変更(29)
					NIE.	是扒及	11:27	78	1 75020 1 171	W) 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	
兼担	助教	宮北和之		情報教育論 ネットワーク機器操作入門 UNIXリテラシー演習 コンピュータセキュリティ入門							
兼担	助教	伊藤 浩介		音と音楽をめぐる科学的教養							
兼担	助教	為末 真吾	平成29年4月							化学実験	退職及び科目の廃止(29)
兼担	助教	オズソイラルメルベ	平成29年4月	グローバル防災・復興学			アシルス ムハメ・ シッ	ットラ	平成29年4月	グローバル防災・復興学	担当教員を変更(29)
					兼担	助教	星	隆	平成29年4月	最先端技術を支える化学Ⅰ	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	助教	落合	秋人	平成29年4月	材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	助教	村上	貴洋	平成29年4月	材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	助教	石川	亮佑	平成29年4月	材料科学概論	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	助教	齋藤	瑞穂	平成29年4月	人文超域科目C	教育課程の充実のため科目を追加
										領域融合・超域科目J	(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼担	助教	坂上	百重	平成29年4月	医学と医療の歴史	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	助教	宇都宮	悟	平成29年4月	入門医療英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	助教	後藤	淳	平成29年4月	医療ボランティア論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼担	助教	髙澤	場二郎	平成29年4月	社会とキャリア選択A	教育上の効果を高めるため担当教
										1・2年生対象 長期・企業実践型 プログラム I	員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										1・2年生対象 長期・企業実践型 プログラムⅡ	
兼任	講師	山口 まり	平成29年4月	科学史							
兼任	講師	野村 俊広	平成29年4月	新素材の物性							
兼任	講師	モルナー ラヨー シュ	平成29年4月	数理解析特別講義							
兼任	講師	篠原 雅史	平成29年4月	構造数理特別講義							
兼任	講師	巽 啓司	平成29年4月	応用数理特別講義							
兼任	講師	大西 明		物理学特論 I							
兼任	講師	林 青司		物理学特論Ⅱ							
兼任	講師	秋山良		物理学特論Ⅲ							
兼任	講師	名嘉 節		物理学特論IV 物理学特論V							
兼任	講師	Thomas E. Browder 中村 文隆		物理学特論VI							
兼任	講師講師	瀧宮 和男	平成29年4月								
兼任	講師	坂口 和靖	平成29年4月								
兼任	講師	宮村一夫	平成30年4月								
兼任	講師	末木 啓介		化学特論Ⅳ							
兼任	講師	剣持 直哉	平成29年4月	生物学特論 I							
兼任	講師	西田 郁夫	平成29年4月	生物学特論Ⅱ							
兼任	講師	豊島 公栄	平成29年4月	生物学特論Ⅲ							
兼任	講師	吉川 清次		生物学特論IV							
兼任	講師	唐原 一郎		生物学特論Ⅴ							
兼任	講師	尾田 正二		生物学特論Ⅵ						-	
兼任	講師	稲場 土誌典		石油地質学							
兼任	講師	下村 博之		土木地質学							
兼任	講師	Wallis, Simon		地球科学特別講義Ⅰ							
兼任	講師	鈴木 雄太郎	平成29年4月	地球科学特別講義Ⅱ							

		設	置時の言	th in	I		変	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	磯部 栄介	平成29年4月	地球科学特別講義Ⅲ	07/39					
兼任	講師	星名 賢之助	平成29年4月	物質科学A						
兼任	講師	房 文慧	平成29年4月	環境経済システム論I						
兼任	講師	富松裕	平成29年4月	自然環境科学特論C						
兼任	講師	篠田 太郎	平成29年4月	自然環境科学特論D						
兼任	講師	宮武 健治	平成30年4月	自然環境科学特論A						
兼任	講師	近藤 満	平成30年4月	自然環境科学特論B						
兼任	講師	細江 まゆみ	平成29年4月	環境経済システム論I						
兼任	講師	鈴木 昭	平成29年4月	新潟発福祉学						
兼任	講師	阿部 裕孝	平成29年4月	健康スポーツ科学実習I						
兼任	講師	G. アオキ	平成29年4月						アカデミック英語(リスニング)	クォーター制移行による変更(29)
				アカデミック英語(ライティン グ)					アカデミック英語(ライティン グ)	クォーター制移行による変更(29)
									アカデミック英語 L 1	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語L2	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語W	クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	G. ディック	平成29年4日	アカデミック英語(リスニング)					アカデミック英語(リスニング)	クォーター制移行による変更(29)
WIT.	Did Cal	u. 1477	1 10.20 - 471	アカデミック英語 (ライティング) アカデミック英語 (ライティング)					アカデミック英語(ライティン グ)	クォーター制移行による変更(29)
				グ) 発展英語 英語表現セミナーA					グ) 発展英語 英語表現セミナーA	
				実践英語					実践英語	E . E MITOCIE I 7 TI E 6 Y
									アカデミック英語 L 1	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語L2	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語W	クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼任	講師	G. デロシェ	平成29年4月	アカデミック英語(リスニング)					アカデミック英語(リスニング)	クォーター制移行による変更(29)
				アカデミック英語(ライティン グ)					アカデミック英語(ライティン グ)	クォーター制移行による変更(29)
				応用英語					応用英語 アカデミック英語L1	クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語L2	加(29) クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語W	加(29) クォーター制移行による科目の追
									発展英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										員を追加(29)
兼任	講師	L. リース	平成29年4月	アカデミック英語 (リスニング) アカデミック英語 (ライティン					アカデミック英語(リスニング) アカデミック英語(ライティン	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
				グ)					グ) アカデミック英語 L 1	クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語L2	加 (29) クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語W	加 (29) クォーター制移行による科目の追
									ブガブミック 英 語 W	加(29)
兼任	講師	小林 スサナ	平成29年4月	スペイン語スタンダード I スペイン語スタンダード II					スペイン語スタンダードI	
				スペイン語スタンダードⅢ					スペイン語スタンダードⅡ スペイン語スタンダードⅢ スペイン語スタング	
				スペイン語スタンダードIV スペイン語ベーシック II					スペイン語スタンダードIV スペイン語ベーシック II	
				コミュニケーション・スペイン語 A					コミュニケーション・スペイン語 A	
				コミュニケーション・スペイン語					コミュニケーション・スペイン語 B	
				スペイン語セミナーA					スペイン語セミナーA スペイン語セミナーB	教育課程の充実のため科目を追加
700- F-4	5# A~	D = 400	TI	71 7 16 4 7 10 7 10 7						(29)
兼任	講師	P. ライリー	平成29年4月	アカデミック英語 (リスニング) 実践英語					アカデミック英語(リスニング) 実践英語	クォーター制移行による変更(29)
									アカデミック英語 L 1	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語 L 2	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語W	クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼任	講師	G. トゥーミー	平成29年4月	アカデミック英語(ライティン					アカデミック英語(ライティン	クォーター制移行による変更(29)
				グ)	I				グ) アカデミック英語L1	クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語L2	加(29) クォーター制移行による科目の追
					I				アカデミック英語W	加(29) クォーター制移行による科目の追
										加 (29)
兼任	講師	D. ウィラワン	平成29年4月	外国語ベーシック I (4) 中語朝語() ドネシア語					<u>外国語ベーシックⅠ(4)中語朝語(</u> / ト ゙ネンア語	クォーター制移行による変更(29)
				インドネシア語ベーシックⅡ					↑ 77760 インドネシア語ベーシック II 外国語ベーシック I −3b(インドネ	クナーター制発行にトス利用の19
									シア語)	加 (29)
									外国語ベーシック I -4a (インドネ シア語)	クォーダー制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	肖 航	平成29年4月	中国語インテンシブI					中国語インテンシブエ	クォーター制移行による変更(29)
				中国語インテンシブⅡ ■	I				中国語インテンシブⅡ 中国語インテンシブ I 2	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追
									中国語インテンシブⅡ2	加(29) クォーター制移行による科目の追
										םל (29)

		設	置時の言	计 画			変	更状	況	
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	応 雋	平成29年4月	中国語スタンダードI 中国語スタンダードI コミュニケーション・中国語 B コミュニケーション・中国語 F 上海語演習	33,,				中国語スタンダードI 中国語スタンダードI 日ミュニケーション・中国語 B コミュニケーション・中国語 F 上海語演習 中国語スタンダード I 5	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	権 英秀	平成29年4月	外国語ペーシック I(4)中語朝語ペック I(4)中語朝語ペーシック I(4)中語朝語インテンシブ I 朝鮮語インテンシブ I 朝鮮語ペーシック I)コミュニケーション・朝鮮語 B コミュニケーション・朝鮮語 Cコミュニケーション・朝鮮語 D 朝鮮語 D 朝鮮語 セミナー A					外国語ペーシック I (4) 中語朝語 (4) 上 1/15 朝鮮語インテンシブ I 朝鮮語 インテンシブ I 朝鮮語 インテンシブ I 明鮮語 エニケーション・朝鮮語 A コミュニケーション・朝鮮語 B ロコミュニケーション・朝鮮語 B 回語ペーシック I -11b (朝鮮語) 外国語ペーシック I -12a (朝鮮語) 朝鮮語 スタンダード I 3 朝鮮語 スタンダード I 3	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	姜 傑裕	平成29年4月	中国語ベーシックⅡ					中国語ベーシックⅡ コミュニケーション・中国語J	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
兼任	講師	梁 淑珉		外国語ベーシック I (3) 独語仏語中語					外国語ペーシック I (3) 独語仏語中語 外国語ペーシック I -3a (中国語) 外国語ペーシック I -4b (中国語) 中国語スタンダード I I 中国語スタンダード II	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	L. レイサム		アカデミック英語 (リスニング) アカデミック英語 (ライティング) グ) 発展英語					アカデミック英語(リスニング) アカデミック英語(ライティング) グリー 発展英語 アカデミック英語 L 1 アカデミック英語 L 2 アカデミック英語W	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	J. フィコー	平成29年4月	応用英語 発展英語					応用英語 発展英語 アカデミック英語 L 1 アカデミック英語 L 2 アカデミック英語W	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	劉 靚	平成29年4月	中国語スタンダード I 中国語スタンダード II					中国語スタンダードI 中国語スタンダードI2 中国語スタンダードI2 中国語スタンダードI4 中国語スタンダードII2 中国語スタンダードII4	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	福沢 榮司	平成29年4月	ドイツ語ベーシックⅡ					ドイツ語ペーシック II ドイツ語スタンダード I 13 ドイツ語スタンダード II 13 ドイツ語ペーシック II 4	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	福田 一雄	平成29年4月	理工英語読解					理工英語読解 基礎英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼任	講師	原一馬	平成29年4月	情報機器操作入門	兼任	講師	甲斐(慎一	平成29年4月	情報機器操作入門	担当教員を変更(29)
兼任	講師	畑 志津子	平成29年4月	ドイツ語スタンダードII 表現プロジェクト演習 P					ドイツ語スタンダード I ドイツ語スタンダード I 表現プロジェクト演習 P コミュニケーション・ドイツ語 B ドイツ語スタンダード I 9 ドイツ語スタンダード I 2 ドイツ語スタンダード I 2	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼任	講師	長谷川 達也	平成29年4月	日本手話A 日本手話B						

			設	置時の言	十 画			変	更状		
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	平野	絹枝	平成29年4月	アカデミック英語 (リスニング) 基礎英語 アカデミック英語 (ライティン グ)					アカデミック英語 (リスニング) 基礎英語 アカデミック英語 (ライティング) アカデミック英語 R 1 アカデミック英語 R 2 アカデミック英語 L 1 アカデミック英語 L 2 アカデミック英語 W	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追クオーター制移行による科目の追り インター制移行による科目の追加 (29)
兼任	講師	廣瀬	浩二	平成29年4月	アカデミック英語(リスニング) アカデミック英語(ライティン グ)					アカデミック英語 (リスニング) アカデミック英語 (ライティング) グリー アカデミック英語 R 1 アカデミック英語 R 2 アカデミック英語 L 1 アカデミック英語 L 2 基礎英語	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	本間	多香子	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ) 基礎英語					アカデミック英語(リーディング) ダ) 基礎英語 アカデミック英語R1 アカデミック英語R2 アカデミック英語W	クォーター制移行による変更(29) ウォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師講師	星風間	一平 彩香	平成29年4月 平成29年4月	情報機器操作入門 アカデミック英語(リーディン					アカデミック英語(リーディン	クォーター制移行による変更 (29)
					グ) 基礎英語 アカデミック英語(ライティン グ) 理工英語読解	兼任	講師	山崎 祥子	平成29年4月	ゲー ボカデミック英語 (ライティン ゲ) 理工英語読解 アカデミック英語 R 1 アカデミック英語 R 2	クォーター制移行による変更(29) 担当教員を変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	堅田	里栄	平成29年4月	社会とキャリア選択A						
兼任	講師	計良			健康スポーツ科学実習 I						
兼任	講師	木村			アカデミック英語 (リーディング) グ) アカデミック英語 (リスニング) 基礎英語 アカデミック英語 (ライティング)					アカデミック英語(リーディング) - アカデミック 英語(リスニング) 基礎英語 アカデミック英語(ライティング) アカデミック英語R1 アカデミック英語R2 アカデミック英語L1 アカデミック英語L1 アカデミック英語L2 アカデミック英語W	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29)
兼任	講師	小林	敦彦	平成29年4月	ドイツ語スタンダード I ドイツ語ペーシック II ドイツ語ペーシック II コミュニケーション・ドイツ語 A					ドイツ語スタンダードI ドイツ語スタンダードII ドイツ語ベーシックII コミュニケーション・ドイツ語A ドイツ語スタンダードII6 ドイツ語スタンダードII8 ドイツ語スタンダードII8 ドイツ語スタンダードII8 ドイツ語スタンダードII3 ドイツ語スタンダードII3 ドイツ語スタンダードII3	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29)
兼任	講師	近ち	口弥子	平成29年4月	外国語ペーシック I (2) 独語西語露語 語 スペイン語ペーシック II					外国語ペーシック I (2) 独語西語露 語 スペイン語ペーシック I 外国語ペーシック I -5b (スペイン 語) 外国語ペーシック I -6a (スペイン 語)	クォーター制移行による科目の追 加(29)

		設	置時の調	十 画			変	更状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	小林 りり子	平成29年4月	ドイツ語スタンダード I ドイツ語スタンダード II ドイツ語ベーシック II					ドイツ語スタンダード I ドイツ語スタンダード II ドイツ語ベーシック II	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
									ドイツ語スタンダード I 3	クォーター制移行による科目の追加(29)
									ドイツ語スタンダードⅡ3	クォーター制移行による科目の追 加(29)
										クォーター制移行による科目の追加(29)
										クォーター制移行による科目の追加(29)
									ドイツ語スタンダード I 7	クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	小飯塚 眞理子	平成29年4月	表現プロジェクト演習 F						
兼任	講師	倉持 有香子	平成29年4月	ドイツ語スタンダード I ドイツ語スタンダード II					ドイツ語スタンダードⅠ ドイツ語スタンダードⅡ	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
									ドイツ語スタンダード I 1	クォーター制移行による科目の追加(29)
										クォーター制移行による科目の追加(29)
										クォーター制移行による科目の追加(29)
										クォーター制移行による科目の追加(29)
									ドイツ語スタンダード I 8 ドイツ語スタンダード II 10	クォーター制移行による科目の追加(29) カナーター制移行による科目の追
										加(29) クォーター制移行による科目の追
									ドイツ語スタンダード II 8	加(29) クォーター制移行による科目の追
										л п (29)
兼任	講師	丸山 美里		外国語ベーシック I (3) 独語仏語中語 教養の心理学					<u>外国語ベーシック I (3) 独語仏語中</u> 語	クォーター制移行による変更(29)
兼任	講師	益谷 真	十成29年4月	対人行動の心理学						
兼任	講師	民部 裕洋	平成29年4月	情報機器操作入門	兼任	講師	加賀 大嗣	平成29年4月	情報機器操作入門	担当教員を変更(29)
兼任	講師	羽生 英一	平成29年4月	地域に生きる思想					地域に生きる思想	科目の廃止 (29)
兼任	講師	中谷 昌弘	平成29年4月	ロシア語スタンダード I ロシア語スタンダード II					ロシア語スタンダード I ロシア語スタンダード I	
兼任	講師	中澤 陽平	平成29年4月	情報機器操作入門	兼任	講師	春日 悟	平成29年4月	情報機器操作入門	担当教員を変更(29)
兼任	講師	沼岡 努	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ)					アカデミック英語(リーディン グ) 	クォーター制移行による変更(29)
				基礎英語					基礎英語 アカデミック英語R1	クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語R2	加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	岡本 亮子	平成29年4月	ドイツ語インテンシブI					ドイツ語インテンシブ I	クォーター制移行による変更(29)
				ドイツ語インテンシブ Ⅱ ドイツ語セミナーA					ドイツ語インテンシブⅡ ドイツ語セミナーA ドイツ語インテンシブ I 3	クォーター制移行による変更(29)
										クォーター制移行による科目の追加(29) カオーター制移行による科目の追り
										加(29) クォーター制移行による科目の追
										加(29) クォーター制移行による科目の追
										л п (29)
兼任	講師	太田 正之	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ)					アカデミック英語(リーディン グ)	クォーター制移行による変更(29)
									基礎英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼任	講師	岡崎 まり子	平成29年4月	フランス語スタンダード I フランス語スタンダードⅡ					フランス語スタンダードI フランス語スタンダードⅡ	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
									外国語ベーシック I −1b (フランス語)	加 (29)
										加 (29)
										クォーター制移行による科目の追加(29) カオーター制移行による科目の追
										カイーター制を行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追
										加(29) クォーター制移行による科目の追
										加(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語ベーシック Ⅱ1	加(29) クォーター制移行による科目の追
										加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼任	講師	佐藤 愛子	平成29年4月	理工英語読解					理工英語読解 アカデミック英語 R 1	クォーター制移行による科目の追
										カイフー制を打による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追
									基礎英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
									パフォーマンスの外国語	員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
兼任	講師	佐藤 朗子	平成29年4月	心理学						(29)
aK1±	마마 타마	佐際 助丁	1 19925-471	いせす						

		設	置時の調	計 画				変 更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	樱澤 亜伊	平成29年4月	朝鮮語スタンダード I 朝鮮語スタンダードⅡ					朝鮮語スタンダードⅠ 朝鮮語ス タンダードⅡ 朝鮮語スタンダードⅠ 1 朝鮮語スタンダードⅡ 1	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	斎藤 裕	平成29年4月	情報機器操作入門	兼任	講師	小形 優	人 平成29年4月	情報機器操作入門	担当教員を変更(29)
兼任	講師	詹 秀娟	平成29年4月	コミュニケーション・中国語 A コミュニケーション・中国語 D					コミュニケーション・中国語 A コミュニケーション・中国語 D 中国語スタンダード I 1	クォーター制移行による科目の追 加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼任	講師	関 雅夫	平成29年4月	日本国憲法B					日本国憲法B	カリキュラム構成の見直しによる
				日本国憲法D					日本国憲法D 日本国憲法	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる 変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
** 1=	-# AT	## **	亚宁00年4日	1±+n4# 0010 /6 3 00						科目の追加(29)
兼任	講師	芹澤 琢磨		情報機器操作入門					マカギミック茶舗 (リーギ・)	クォーター制移行による変更(29)
兼任	講師	次分 報序	平成29年4月	アカデミック英語(リーディング) グ) 基礎英語					アカデミック英語(リーディン グ) 基礎英語 アカデミック英語R 1 アカデミック英語R 2	クォーター制移行による契更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	塩野谷 明	平成29年4月	健康スポーツ科学講義						
兼任	講師	高橋 歩	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ) アカデミック英語(ライティン グ)					アカデミック英語 (リーディン グ) アカデミック英語 (ライティン グ) アカデミック英語 R 1 アカデミック英語 R 2 基礎英語 アカデミック英語 W	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による科目の追 加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加 (29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼任	講師	武久 智一	平成29年4月	理工英語読解						
兼任	講師	高橋 正平	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ)					アカデミック英語(リーディン グ)	クォーター制移行による変更(29)
				基礎英語	兼担	教授	恩田 公	夫 平成29年4月	基礎英語	担当教員を変更(29)
兼任	講師	長 和重	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ)					アカデミック英語(リーディン グ)	クォーター制移行による変更(29)
				基礎英語	兼担	教授	大竹 芳	夫 平成29年4月		担当教員を変更(29)
				アカデミック英語(ライティング) グ) 発展英語					アカデミック英語(ライティン グリー 発展英語 アカデミック英語R 1 アカデミック英語R 2 アカデミック英語W	クォーター制移行による英更(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) フォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	若杉 透	平成29年4月	健康スポーツ科学実習I						
兼任	講師	渡辺 正	平成29年4月	日本手話 A 日本手話 B						
兼任	講師	弥田 久美子	平成29年4月	アカデミック英語(リーディング) アカデミック英語(リスニング) アカデミック英語(ライティング)					アカデミック英語 (リーディング) アカデミック英語 (リスニング) アカデミック英語 (ライティング) アカデミック英語 R 2 アカデミック英語 L 1 アカデミック英語 L 2 基礎英語 アカデミック英語W	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29)

		設	置時の言	计 画				変	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年		就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	山田 容子	平成29年4月	外国語ベーシック I (1) 独語仏語伊語 ドイツ語ベーシック II						語 ドイツ語ベーシック II	クォーター制移行による変更 (29) クォーター制移行による変更 (29)
										外国語ベーシック I-7a (ドイツ 語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
										外国語ベーシック I −8b (ドイツ 語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
										ドイツ語スタンダード I 11	クォーター制移行による科目の追加(29)
										ドイツ語スタンダード II 11	クォーター制移行による科目の追加(29)
										ドイツ語スタンダード I 10 ドイツ語スタンダード II 10	クォーター制移行による科目の追加 (29) カナーター制移行による科目の追
										ドイツ語スタンダード 17	カイーター制修行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追
										ドイツ語スタンダード II 7	加(29) クォーター制移行による科目の追
										ドイツ語スタンダード I 4	加(29) クォーター制移行による科目の追
										ドイツ語スタンダード Ⅱ 4	加(29) クォーター制移行による科目の追
										ドイツ語ベーシック Ⅱ 2	加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼任	講師	八木 瑞香	平成29年4月	外国語ベーシック I (1) 独語仏語伊						<u>外国語ベーシックⅠ(1)独語仏語伊</u> ***	クォーター制移行による変更(29)
				語 フランス語スタンダード I						語 フランス語スタンダードエ	クォーター制移行による変更(29)
				プランス語スタンダードⅡ プランス語ベーシックⅡ コミュニケーション・プランス語						フランス語スタンダードエ フランス語ベーシックエ コミュニケーション・フランス語	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
				ロミュニケーション・フランへ記 C						ロミューケーション・フランへ語 C	
兼任	講師	山崎 祥子	平成29年4月	アカデミック英語(リーディン グ)						アカデミック英語(リーディン グ)	クォーター制移行による変更(29)
				アカデミック英語(リスニング) 基礎英語						ッ) アカデミック英語(リスニング) 基礎英語	クォーター制移行による変更(29)
				アカデミック英語(ライティン グ)						アカデミック英語(ライティン グ)	クォーター制移行による変更(29)
										アカデミック英語R1	クォーター制移行による科目の追 加(29)
										アカデミック英語R2	クォーター制移行による科目の追加(29)
										理工英語読解	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
兼任	講師	山口 浩二	平成29年4月	健康スポーツ科学実習I							
兼任	講師		平成29年4月	情報機器操作入門	兼担	准教授	山本	征法	平成29年4月	情報機器操作入門	担当教員を変更(29)
兼任	講師	吉川 逸男	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I							
兼任	講師	結城 未来	平成29年4月	社会とキャリア選択B	兼担	准教授	西條	秀俊	平成29年4月	社会とキャリア選択B	担当教員を変更(29)
兼任	講師	佐々木 充	平成29年4月	登 届苯连						発展英語	
N/II	D1-3 D11	E CAL DE	1,74=1 1 7,7	日本文化入門 1						日本文化入門 1 アカデミック英語R 1	クォーター制移行による科目の追
										アカデミック英語R2	加(29) クォーター制移行による科目の追
										基礎英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										宮崎アニメにおける文明と自然	員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加
#17	5# AT	+m = 5011+	亚产20左4日	外国語ベーシック I (3) 独語仏語中						外国語ベーシック I (3) 独語仏語中	(29)
兼任	講師	吉田 和比古	十成29年4月	所国語ペーシック I (3) 独語仏語中語 ドイツ語ペーシック II						外国語ペーシック I (3) 独語仏語中 語 ドイツ語ペーシック II	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
										イイン品へ フラフェ 外国語ベーシック I -1a(ドイツ 語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
										外国語ベーシック I-2b (ドイツ 語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
										ドイツ語ベーシック Ⅱ 2	クォーター制移行による科目の追加(29)
兼任	講師	鈴木 由加利	平成29年4月	医療ボランティア論							
兼任	講師	富山 栄子	平成29年4月	コミュニケーション・ロシア語B							
兼任	講師	五十嵐 敦子	亚成20年4日	コミュニケーション・ロシア語 C 新潟発福祉学							
兼任	講師	小林 京子		新潟発福祉学 新潟発福祉学							
兼任	講師	島田 久幸		新潟発福祉学							
兼任	講師	伊藤 巨志		健康スポーツ科学実習Ⅱ(スキー							
				I) 健康スポーツ科学実習 II (スキー II)							
兼任	講師	大橋 正春	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 II (野外活動)							
兼任	講師	C. 金子	平成29年4月	アカデミック英語(リスニング) アカデミック英語(ライティン							クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
				グ) Intercultural Communication 2							クォーター制移行による変更(29)
				実践英語						実践英語 アカデミック英語L1	クォーター制移行による科目の追 *n (00)
										アカデミック英語L2	加(29) クォーター制移行による科目の追
										アカデミック英語W	加(29) クォーター制移行による科目の追 tn(29)
										発展英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
											Sec € 1997/14 (4.07)

		設	置時の言	计 画			変	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	松田 由美子	平成29年4月	日本語D					日本語 A 日本語 D	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29)
				日本語 E 日本語 H					日本語 E. 日本語 H. N 2 作文 A	クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による変更(29) クォーター制移行による科目の追
									N 2 作文B	加(29) クォーター制移行による科目の追
									N 2 作文 C	加(29) クォーター制移行による科目の追
									N 2 作文 D	加(29) クォーター制移行による科目の追
									N 2 聴解B	加(29) クォーター制移行による科目の追
									N 2 聴解 D	加(29) クォーター制移行による科目の追
									N 3 聴解B	加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
									N3聴解D	カイスター制移行による科目の追加(29)
									N3読解A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N3読解C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									社会人としての日本語・作文B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									社会人としての日本語・作文D	クォーター制移行による科目の追加(29)
									社会人としての日本語・作文日	クォーター制移行による科目の追加(29)
									社会人としての日本語・作文F 集中日本語OA	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追
									集中日本語OC	加(29) クォーター制移行による科目の追
									集中日本語 1 A	加(29) クォーター制移行による科目の追
									集中日本語 1 B	加(29) クォーター制移行による科目の追
									集中日本語 1 C	加(29) クォーター制移行による科目の追
									集中日本語 1 D	加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
兼任	講師	池田 ルース	平成29年4月	アクティブラーニング I					<u>アクティブラーニング I</u>	カリキュラム構成の見直しによる
									アクティブラーニングA	変更(29) カリキュラム構成の見直しによる
									日本と外国人	科目の追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									集中日本語 O A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 0 C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 1 C	クォーター制移行による科目の追加 (29)
兼任	講師	岩佐 明彦	平成29年4月	くらしと環境					くらしと環境	科目の廃止(29)
					兼任	講師	天野 祐子	平成29年4月	中国語スタンダード I 7	クォーター制移行による科目の追加(29)
									中国語スタンダードⅡ7	クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼任	講師	N. ドーファ ン	平成29年4月	コミュニケーション・フランス語 B	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									フランス語セミナーA	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									フランス語セミナーB	教育課程の充実のため科目を追加(29)
									フランス語インテンシブ I 1	クォーター制移行による科目の追加(29)
									プランス語インテンシブ I 2 プランス語インテンシブ II 1	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語インテンシブ II 2	加(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語スタンダード 13	加(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語スタンダード I 5	加(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語スタンダードⅡ2	加(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語スタンダードⅡ3	加(29) クォーター制移行による科目の追 tn(20)
									フランス語スタンダードⅡ5	加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
					兼任	講師	S. ドルカ	平成29年4月	アカデミック英語L1	クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語L2	加(29) クォーター制移行による科目の追 tn(20)
									アカデミック英語W	加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
					兼任	講師		平成29年4月	ロシア語インテンシブ I	教育上の効果を高めるため担当教
							ル		ロシア語インテンシブⅡ	員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										員を追加(29)

		設	置時の言	† 画	Ī		変	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
<i>"</i>					兼任	講師	M. 湊元	平成29年4月	外国語ベーシック I-9a(フランス語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
									ス語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
									コミュニケーション・フランス語 A	教育課程の充実のため科目を追加(29)
									コミュニケーション・フランス語 E コミュニケーション・フランス語	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加
									F フランス語スタンダード I 1	(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語スタンダード I 4	加(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語スタンダードⅡ1	加(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語スタンダードⅡ4	加(29) クォーター制移行による科目の追
									フランス語ベーシック Ⅱ1	加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
									フランス語ベーシック Ⅱ2	カル (29) クォーター制移行による科目の追加 (29)
					兼任	講師	ペルヴェルシ マリオ	平成29年4月	イタリア語スタンダードI	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									イタリア語スタンダードⅡ	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									イタリア語スタンダードⅢ	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									イタリア語スタンダードⅣ	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	G. ケント	平成29年4月	アカデミック英語L1	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語L2	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語W	クォーター制移行による科目の追加(29)
									応用英語 80周末音	教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29)
									発展英語	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	R. プラーソ ル	平成29年4月	ロシア語スタンダード I	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
							,		ロシア語スタンダードⅡ	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
									コミュニケーション・ロシア語A	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									ロシア語セミナーB	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	I. ガラオン 青木	平成29年4月	アカデミック英語 L 1	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語L2	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語W chanter	クォーター制移行による科目の追加(29)
									応用英語 英語表現セミナーB	教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29) クォーター制移行による科目の追
									英語表現セミナーC	加(29) クォーター制移行による科目の追
									イタリア語ベーシックⅡ	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										員を追加(29)
					兼任	講師	M. カルトロ ン	平成29年4月	コミュニケーション・フランス語 D	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
									コミュニケーション・フランス語 G	教育課程の充実のため科目を追加(29)
									フランス語スタンダードⅡ2	クォーター制移行による科目の追加(29)
									フランス語スタンダード I 2	クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼任	講師	к. エバート	平成29年4月		教育課程の充実のため科目を追加(29)
									ドイツ語インテンシブ I 1 ドイツ語インテンシブ II 1	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追
									ドイツ語インテンシノ II I I I I I I I I I I I I I I I I I	カイラー制を行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追
									ドイツ語スタンダード 19	加(29) クォーター制移行による科目の追
									ドイツ語スタンダードⅡ13	加(29) クォーター制移行による科目の追
									ドイツ語スタンダード I 9	加(29) クォーター制移行による科目の追
					兼任	講師	В. ムリノ ス	平成29年4月	アカデミック英語L1	加(29) クォーター制移行による科目の追
					Page lake	20,244		=- 1 1/1	アカデミック英語L2	加(29) クォーター制移行による科目の追
									アカデミック英語W	加(29) クォーター制移行による科目の追
									発展英語	加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	M. スーマ	平成29年4月	アカデミック英語L1	クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語L2	加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
									アカデミック英語W	カル(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼任	講師	後藤 泰則	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
		·			-				i	

		設	置時の言	† 画				変	更状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年		就任予定年月	担当授業科目名	備考
<i>"'</i>					兼任	講師	後藤	輝孝	平成29年4月	物理学への招待B	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	朴伯	多禧	平成29年4月	朝鮮語スタンダード I 2 朝鮮語スタンダード II 2	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼任	講師	長谷川	普一	平成29年4月	地理情報システム (GIS) 概論・応 用演習	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	姫路	環	平成29年4月	健康スポーツ科学実習Ⅱ(スキー I) 健康スポーツ科学実習Ⅱ(スキー Ⅱ)	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	星野	Ξ喜夫	平成29年4月	アカデミック英語R1 アカデミック英語R2 基礎英語	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
					兼任	講師	和泉	薫	平成29年4月	新潟から考える雪の科学と文化	員を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	石本	貴之	平成29年4月	新潟産業フィールドワーク	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	萱場	和彰	平成29年4月	キャリアデザイン 表現プロジェクト演習 G	教育上の効果を高めるため担当教 貝を追加(29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	甲斐	慎一	平成29年4月	情報機器操作入門	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	加賀	大嗣	平成29年4月	情報機器操作入門	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	春日	悟	平成29年4月	情報機器操作入門	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	北原	圭一	平成29年4月	中東イスラーム言語文化入門	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	木島	愛	平成29年4月	コミュニケーション・フランス語 B フランス語セミナーA フランス語セミナーB	教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29) 教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	後藤	岩奈	平成29年4月	中国語スタンダード I 5 中国語スタンダード I 6 中国語スタンダード II 5 中国語スタンダード II 6	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼任	講師	小山	良一	平成29年4月	アカデミック英語R1 アカデミック英語R2 基礎英語	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教員を追加(29)
					兼任	講師	一戸	信哉	平成29年4月	情報リテラシー概論	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	岡崎	照男	平成29年4月	ドイツ語スタンダード I II ドイツ語スタンダード I I ドイツ語スタンダード III ドイツ語スタンダード II I	クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) クォーター制移行による科目の追加(29) フォーター制移行による科目の追加(29)
					兼任	講師	小野寺	焦	平成29年4月	健康スポーツ科学実習I	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	小山田	淳	平成29年4月	社会とキャリア選択A	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	小形	優人	平成29年4月	情報機器操作入門	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師			平成29年4月		教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	金子	麻里	平成29年4月	フランス語スタンダード I 3 フランス語スタンダード II 3	クォーター制移行による科目の追加 (29) クォーター制移行による科目の追加 (29)
					兼任	講師	佐藤	文男	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)

		設	置時の言	十 画	I			変	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 歯	名 伶)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	講師	斯日言	5楞	平成29年4月	外国語ベーシック I -11a (中国語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
										外国語ベーシック I-12b (中国 語)	クォーター制移行による科目の追加(29)
										中国語ベーシック Ⅱ	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
										中国語セミナーA	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										中国語セミナーC	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										中国語インテンシブ [1	クォーター制移行による科目の追加(29)
										中国語インテンシブⅡ1	クォーター制移行による科目の追加(29)
										中国語スタンダード I3	クォーター制移行による科目の追加(29)
										中国語スタンダードⅡ3	クォーター制移行による科目の追 加(29)
					兼任	講師	杉原	見	平成29年4月	教養を考える	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	鈴木	秀知	平成29年4月	健康スポーツ科学講義	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	高橋	努	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	竹田 和	中	平成29年4月	地域から文化を考える	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
										文化財と歴史で探る地域の社会と 文化Ⅲ	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	高木	裕	平成29年4月	フランスの歴史と文学	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	寺田	人	平成29年4月	顏	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	渡邊「	E敬	平成29年4月	コンピュータセキュリティ入門	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	栗原	隆	平成29年4月	人間学入門	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										哲学入門	カリキュラム構成の見直しによる 科目の追加(29)
										倫理学入門	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	丁马	Ē	平成29年4月	コミュニケーション・中国語C	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										中国語セミナーB	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	種田利	口義	平成29年4月	新聞を体験する一新潟日報との連 携授業-	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	仁平	喪明	平成29年4月	顏	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	井上 郎	明子	平成29年4月	表現プロジェクト演習H	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	鈴木	孝庸	平成29年4月	平家物語と琵琶語り	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
										和漢混淆文の文学世界	教育課程の充実のため科目を追加 (29)
					兼任	講師	山崎	健	平成29年4月	健康スポーツ科学講義	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	野村(爹 一	平成29年4月	顏	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	花田 身	晃治	平成29年4月	「食べる」	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	齊藤	カ	平成29年4月	顏	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	かづきこ	れい	平成29年4月	顏	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	井上 12	党子		新潟発福祉学	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)
					兼任	講師	伊藤	稔	平成29年4月	健康スポーツ科学実習 I	教育上の効果を高めるため担当教 員を追加(29)

	設置時の計画			† a	Ī					
専・兼担・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	講師	和田 悦子	平成29年4月	N 2 作文B	クォーター制移行による科目の追加 (29)
									N 2 作文 D	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N2聴解A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N2聴解C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 2 読解B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 2 読解 D	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N3作文A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N3作文C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 4 作文 A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 4 作文B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N4作文C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 4 作文D	クォーター制移行による科目の追加(29)
									旭町日本語2A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									旭町日本語2B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									旭町日本語2C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									旭町日本語2D	クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼任	講師	涌井 祐子	平成29年4月	N3聴解A	クォーター制移行による科目の追加 (29)
									N3聴解C	カイス クォーター制移行による科目の追加 (29)
									漢字・語彙A	カイス (26) クォーター制移行による科目の追加 (29)
									漢字・語彙B	カル(と3) クォーター制移行による科目の追加(29)
					兼任	講師	佐々木 香織	平成29年4月	JLPT-N1 A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									JLPT-N1 B	カイス クォーター制移行による科目の追加 (29)
									JLPT-N1 C	カイスタックオーター制移行による科目の追加(29)
									JLPT-N1 D	か(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
									旭町日本語 1 A	カイスタックオーター制移行による科目の追加(29)
									旭町日本語 1 B	か(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
									旭町日本語1C	カイスタックオーター制移行による科目の追加(29)
									旭町日本語1D	カー(と9) クォーター制移行による科目の追 加(29)
					兼任	講師	近藤 優美	平成29年4月	N3作文B	クォーター制移行による科目の追 tn (20)
							1		N 3作文D	加(29) クォーター制移行による科目の追 tn (20)
							1		N3読解B	加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
									N3読解D	カル (29) クォーター制移行による科目の追 加 (29)
					兼任	講師	原口 こずえ	平成29年4月	N 4 聴解 A	クォーター制移行による科目の追
							1		N 4 聴解 B	加(29) クォーター制移行による科目の追
							1		N 4 聴解 C	加(29) クォーター制移行による科目の追
							1		N 4 聴解 D	加(29) クォーター制移行による科目の追
							1		N 4 読解B	加(29) クォーター制移行による科目の追
							1		N 4 読解 D	加(29) クォーター制移行による科目の追
							1		漢字・語彙C	加(29) クォーター制移行による科目の追
							1		漢字・語彙D	加(29) クォーター制移行による科目の追
										加 (29)

		設置時の計画					変	更 状	況	
専・兼 担・兼 任 の 別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	講師	センビリング 愛	平成29年4月	N 2 作文 A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 2 作文 C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N3作文A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 3 作文B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N3作文C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N3作文D	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N3聴解B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N3聴解D	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 4 聴解B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 4 聴解 D	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 4 読解 A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 4 読解 C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 O A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 0 C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 1 A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 1 B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 1 C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 1 D	クォーター制移行による科目の追 加(29)
					兼任	講師	廣川 智	平成29年4月	JLPT-N1 A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									JLPT-N1 B	加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
									JLPT-N1 C	カイスター制移行による科目の追加(29)
									JLPT-N1 D	カイスター制移行による科目の追加(29)
									N 2 聴解B	カイスター制移行による科目の追加(29)
									N 2 聴解 D	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 2 読解 A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 2 読解B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 2 読解 C	クォーター制移行による科目の追加(29)
									N 2 読解 D	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 O A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 0 C	クォーター制移行による科目の追加(29)
1									集中日本語 1 A	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 1 B	クォーター制移行による科目の追加(29)
									集中日本語 1 D	クォーター制移行による科目の追加 (29)
					兼任	講師	斉藤 恵里	平成29年4月	N 4 作文 A	クォーター制移行による科目の追 tn (20)
1									N 4作文B	加(29) クォーター制移行による科目の追 tn/20)
1									N 4 作文 C	加(29) クォーター制移行による科目の追 tn(20)
1									N 4作文D	加(29) クォーター制移行による科目の追 tn(20)
1									漢字・語彙A	加(29) クォーター制移行による科目の追 tn/20)
1									漢字・語彙B	加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
1									漢字・語彙C	加(29) クォーター制移行による科目の追加(29)
									漢字・語彙D	加(29) クォーター制移行による科目の追 加(29)
1					兼任	講師	吉原 久夫	平成29年4月	数学基礎B 1	教育上の効果を高めるため担当教
1									数学基礎B2	員を追加(29) 教育上の効果を高めるため担当教
										員を追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「股復時の計画」には当該学部等の試任時における選年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の選年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ 製可で設置された学部等の享任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学改置・学校法人書議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。
 AC教員書査を受けずに享任教員として授業等を担当することは出来ません。
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定しる記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置 基準上の必要専任教員数	
20	10
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

		設置時の	計画			現在(報行	吉書提出時	持)の状況		現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講師	助教計		教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
39	34	1	18	92	38	35	1	13	87	39	34	1	18	92
(38)	(35)	(1)	(13)	(87)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める定年 年齢(歳)	報告書提出時(上記 (A))の教員のう ち、定年を延長して採 用している教員数	完成年度時(上記(B))の教 員うち、定年を延長して採用す る教員数
65	0	0
歳	名	0

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充	状況		就	任辞退	(未京	(任)の	理由	1	
			必修	課題研究A	1									
			必修	課題研究B	1									
			必修	課題研究C	1									
			必修	課題研究D	1									
	*/_ 1777		選択	電磁気学IA	1			: 00.				Ŀ /~	(00)	
1	教授	山田裕	選択	電磁気学IB	1			平成29	牛!月死	_ (O)	この木別	i.1±	(29)	
			選択	物理学実験B	1									
			選択物理学実験D ①											
			選択	現代物理学セミナーA	1									
			選択	現代物理学セミナーB	1									
			必修	課題研究A	1									
			必修	課題研究B	1									
			必修	課題研究C	1									
			必修	課題研究D	1									
2	助教	吉田 賢市	選択	量子力学IA	1			/µh → -=	かって	トナル	計红功、	日 / 1	20)	
2	助叙	百田 真巾	選択	量子力学IB	1		- 他大学採用のため就任辞退 (29)							
			選択	計算物理学A	1									
選択 計算物理学B ①														
			選択	現代物理学セミナーA	D理学セミナーA ①									
			選択	現代物理学セミナーB	1		1							
			選択	系統動物学	1									
			選択	臨海実習[1									
			必修	生物学総合演習	1									
			選択	内分泌学演習	1									
			選択	課題研究』(生物学)	1									
3	助教	安房田 智司	選択	課題研究Ⅱ(生物学)	1			₩₩₩	如田の	トナム	就任辞证	艮 ('	20.)	
٥	助叙	女房田 省可	選択	環境生物学野外実習B	1			他人士	广休用0.) (= \(\alpha\)	机缸缸	<u>IX</u> (2	29)	
			選択	環境生物学野外実習C	1									
			必修	フィールド安全論	1									
			選択	系統分類学	1									
			選択	水圏生態学	2									
			選択	海洋フィールド生物学実習	2									
			合計 (A)				後	任補充状法	兄の生言	+ (P	.)			
京	优任を辞	退した教員数	1	D合計 (a) + (b) + (c)	①の合計	- 数 (a)	į,	2の合				合計	数 ((c)
			必修	10 科目	必修		科目	必修		科目				
			選択	22 科目	選択		科目	選択	2	科目	選択		0	
	3	人	自由	0 科目	自由		科目	自由	0	科目	自由		0	
			計	32 科目	計	30	科目	計	2	科目	計		0	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合,赤字にて記入するとともに, 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職(ż	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充	E状況			辞任等の)理由	
				該当なし									
			_						46	1-15 1 15 1			
				1	合計(C)				後	任補充状況	兄の集計(D)	
		辞任	し	た教員数	担当科目数の)合計 (a) + (b) + (c)	①の合言	十数(a)		②の合	計数(b)	③の合計	∤数 (c)
					必修	科目	必修		科目	必修	科目	必修	科目
					選択	科目	選択		科目	選択	科目	選択	科目
				人	自由	科目	自由		科目	自由	科目	自由	科目
			計	科目	計		科目	計	科目	計	科目		

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

	合計	後任補充状況の集計 (B) + (D)											
辞任等した教	人員数	担当科目数0	O合計 (a)	+ (b) + (c)	①の合詞	计数(a)	②の合	②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
		必修	10	科目	必修	10 科	必修	: 0	科目	必修	0	科目	
		選択	22	科目	選択	20 科1	選択	2	科目	選択	0	科目	
3	人	自由	0	科目	自由	0 科	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	32	科目	計	30 科1	計	2	科目	計	0	科目	

- (注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した専任教員が担当予定の授業科目は,他の専任教員または兼担教員が担当する等,学生の履修に支障はない。 また、学生には開講年度のシラバス等において担当教員名を周知予定。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区分	留	意	事	項	等	履	行	状	況	未履行事項について の実施計画
設置時	該当なし									
(平成29年4月)										
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)										
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)										
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)										

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - · 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

〈理学部 理学科〉

(1) 設置計画変更事項等

設置	時の計画	変更内容・状況,今後の見通しなど
		該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。 (記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成28年度 新理学部教育実施WG (共通教育部会および学生支援部会) 委員13名

教育推進委員会 委員7名

学務委員会 (内規は下記参照) 委員17名 平成29年度

教育推進委員会 (兼 理学部共通教育運営委員会) 委員7名

〇新潟大学理学部学務委員会内規

平成16年6月16日 理学部長裁定

(趣旨)

第1条 この内規は、新潟大学理学部教授会規程(平成16年理規程第2号)第9条の規定に基づき、新潟大学理学部学務委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し、必 要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。 (1) 理学部規程の改廃に関すること。

- (2) カリキュラム, 時間割及び試験の実施に関すること。
- (3) 教育実習及び教員職員免許に関すること。
- (4) 学生の身分に関すること。
- (5) 特別講義に関すること。
- (6) 日本学生支援機構奨学生及びその他団体奨学生等に関すること。 (7) 学生の課外活動及び厚生に関すること。
- (8) 学生自治会及び学生相談に関すること
- (9) その他教務及び厚生補導全般に関すること。
- (組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 数学プログラム、物理学プログラム、化学プログラム、生物学プログラム、地質科学プログラムおよび自然環境科学プログラムから輪番により選出された委員2人(2) 各プログラムから選出されたプログラム担当の教員各1人から2人
- (3) 数学プログラム、物理学プログラム、化学プログラム、生物学プログラム、地質科学プログラムから選出されたクラス担当教員各1人
- (4) 自然環境科学プログラム又はフィールド科学人材育成プログラムから選出されたクラス担当教員1人

第4条 前条第1号に規定する委員の任期は、2年とする。

2 前条第2号に規定する委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。 2~4 (略)

(会議)

第6条 委員長は、必要あるときにその都度委員会を招集し、その議長となる。

(委員以外の者の出席) 第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を認めることができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、自然科学系事務部において処理する。 附 則 1 この内規は, 平成16年6月16日から施行し, 平成16年5月1日から適用する。

附 則(平成18年3月15日) ~ 附 則(平成18年3月15日) (略) 附 則(平成29年3月15日)

1 この内規は、平成29年4月1日から実施する。 2 フィールド科学人材育成プログラムの教員は他プログラムの委員を兼任することができる。

委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成28年度 新理学部教育実施WG 8回開催(部会は多数開催)

教育推進委員会 4回開催

平成29年度 学務委員会 毎月開催

教育推進委員会 3月から2回開催

c 委員会の審議事項等

平成28年度

理学部共通ベーシック科目の開講時間割

理学スタディ・スキルズと総合カアクティブ・ラーニングの授業内容

アドバイザー制度

フロンティア・スタディ・プロジェクト

主専攻プログラムの選択方法・決定方法

転プログラムの条件

先取り履修科目

各主専攻プログラムの専門力・総合カプログラム履修モデルの作成

アクティブ・ラーニングの履修登録割振り方法アクティブ・ラーニングで使う講義室

3つのポリシーの公表に向けた検討

理学部規程, 別表第1, 別表第2の改訂 主専攻プログラム選択要件

平成29年度理学部授業科目開設計画

平成29年度「履修の手引き」の改訂

平成29年度「理学部履修ガイド」の作成

主専攻プログラム別1年次1学期履修推奨科目一覧の作成

クラス編成

新入生ガイダンス日程および内容

主専攻プログラムごとの履修相談室設置

平成20年度

新入生に対するアンケート内容および実施方法

アクティブ・ラーニング科目履修決定方法

② 実施状況

a 実施内容

クラス主任担当者会議を開催した。

クラス主任、クラス相談員説明会を開催した。

プログラム相談員会議を開催した。

アクティブ・ラーニング担当者会議開催した。 改組後の教育の周知のために理学部FDを2回、理学部SDを1回開催した。

委員会、FD、SDの開催に加え、それぞれの担当者教員グループ間でメーリングリスト機能を使って情報をシェア することで、課題の周知・把握に努めた。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

クラス主任担当者第1回会議 (平成28年11月30日, 参加者 8人) クラス主任担当者第2回会議 (平成28年12月26日, 参加者 8人) クラス主任担当者第3回会議 (平成29年3月8日, 参加者 9人)

クラス主任, クラス相談員第1回説明会 (平成29年1月19日, 参加者40人) クラス主任, クラス相談員第2回説明会 (平成29年3月22日, 参加者45人)

プログラム相談員第1回会議 (平成28年11月14日, 参加者12人) プログラム相談員第1回会議 (平成29年 2月 7日, 参加者10人)

アクティブ・ラーニング担当者会議(平成29年1月31日,参加者10人)

理学部FD (平成28年10月20日開催, 56名参加) 理学部FD (平成29年3月22日開催, 52名参加) 新理学部教育の概要、理学部共通教育の概要と課題

平成29年度の入試解析

理学部SD(平成29年3月14日開催, 23名参加) 理学部改組と新潟大学の現状 理学部の新教育プログラムと支援体制

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

新学期スタート前の会議、打ち合わせにより、大きな混乱なく2日間に渡るガイダンスが終了した。 6つのクラスでは,理学スタディ・スキルズ第1回授業後,それぞれ懇談会を開催し,教員学生間,学生間の 懇親に努めた

学務係前に共用のレポートボックスを設置して、クラスごとの授業のレポートの提出がスムースに行える工夫 をした。

学生約35名のクラスに教員6名がアドバイザーとして就くことで、きめ細かい履修指導が可能となった 主専攻プログラムごとに学務情報システム上でフォーラムを設置し,学生がネットワークを介して履修相談で きる環境を整えた。

主専攻プログラムの選択意向調査を複数回実施し、主専攻プログラム配属に向けてクラス相談員が個別に 学生指導を行うことにした

共通基礎実習の選択意向調査を実施し、平成29年度2学期の基礎実習科目の授業数および平成30年度開 設計画の見直しを行う。

アクティブ・ラーニングの選択意向調査を実施し、新入生全員がアクティブ・ラーニング科目を履修できるよ うに調整することにした。

クラス相談窓口を設置し、常時、学生からの相談に対応できるようにした。 主専攻プログラムごとに履修相談室を設置し、主専攻プログラムのカリキュラムに沿った履修指導を行った 理学スタディ・スキルズで各主専攻プログラムのガイダンスを行い、学生に各主専攻プログラムに対する理解 を促した。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

全ての授業・実習科目では、授業最終回のとき、授業評価アンケートを実施する予定である。 加えて、理学部独自に、入試制度、理学部共通ベーシック科目、理学部共通コア科目、自然系共通専門基礎 科目、理学部専門科目に対する満足度に対してアンケート調査を行う予定である。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

授業評価アンケートの結果は学内ホームページ上に公開され、学生を含む学内関係者は結果を見ることができる。

理学部独自のアンケートについては、教育推進委員会により解析結果がまとめられ、分析結果とともに、理学部ホームページ上に公開され、また教員への周知のためのFDを開催する。

各主専攻プログラムにおいては、担当教員の授業評価を解析し、プログラム主担当教員によるFDを開催する。 各主専攻プログラムにおいては、学生との懇談会を毎年開催し、授業のみならず、学修環境についても意見を 徴収する。

各主専攻プログラムの教育改善の取り組みは、理学部FDにおいて報告を受け、理学部教員全体で共有する。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 自己点検・評価等に関する事項
- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

新たな理学共通カリキュラムの導入や、多様な能力を有する学生を確保するための入学者選抜の実施など、概ね設置計画のとおり進めており、設置の趣旨・目的は良好に達成できている。引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ・大学全体の自己点検・評価は毎年実施しており、改組後の当該学部に関する自己点検・評価結果については、 学年進行終了後(平成33年度以降),速やかに公表予定。
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価結果を大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成26年度に機関別認証評価を受審しており、次回、平成33年度までに評価機関の評価を受審予定。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

0	設置	計画履行状況報告書						
	a ホ	ームページに公表の有無	(有	無)		
	b 公	表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成29年	7月	末日)		